

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
及び
在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和2年3月
おいらせ町

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の方法	1
4	調査の実施時期	1
5	配布・回収の結果	1
6	報告書の表記及び注意点について	2

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1	調査対象者の基本属性	3
	(1) 調査票記入者	3
	(2) 年齢	3
	(3) 性別	4
	(4) 地区	4
2	ご家族や生活状況について	5
	問1 あなたのご家族や生活状況について	5
	問2 からだをうごかすことについて	9
	◆運動器の機能低下について	11
	◆転倒リスクについて	12
	◆閉じこもり傾向について	14
	問3 からだをうごかすことについて	18
	◆口腔機能の低下について	20
	◆低栄養状態について	23
	問4 毎日の生活について	25
	◆認知機能の低下について	26
	◆IADLの低下について	28
	問5 地域での活動について	31
	問6 たすけあいについて	34
	問7 健康について	38
	◆うつ傾向について	40
	問8 終活について	44
	問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	45
	問10 おいらせ町の介護保険料について	46

III 在宅介護実態調査

1	A票 調査対象者本人について	53
	(1) 調査表記入者	53
	(2) 世帯	53
	(3) 性別	54
	(4) 年齢	54
	(5) 要介護度	55
	(6) 地区	55
	(7) 施設等への入所・入居の検討状況	56
	(8) 現在抱えている傷病について	57

(9) 介護保険サービスを利用について	58
(10) 介護保険サービスを利用状況について	59
(11) 介護保険サービスを利用していない理由	61
(12) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて.....	62
(13) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて.....	63
(14) 訪問診療について	64
(15) 介護保険料について	64
(16) 介護保険料と介護サービスのあり方について	65
(17) 健康づくりのために気をつけていること	66
(18) 終活について	67
(19) ご家族やご親族の方からの介護について	68
2 B票 主な介護者について	69
(1) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか.....	69
(2) 主な介護者	70
(3) 主な介護者の性別	70
(4) 主な介護者の年齢	71
(5) 主な介護者の方が行っている介護等について	72
(6) 主な介護者の方が不安を感じる介護等について	73
(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について	74
(8) 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか.....	75
(9) 仕事と介護の両立に効果がある支援について	76
(10) 今後も働きながら介護を続けていけそうか	77

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者の介護保険施策等に関する意識と生活実態等を把握することにより、介護保険事業計画策定の基礎資料とする。

2 調査の対象

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和元年12月1日現在、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方を調査の対象とし、年齢、男女比など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出した。

●在宅介護実態調査

令和元年12月1日現在、介護保険の要支援・要介護の認定を受けている方を調査の対象とし、年齢、男女比、要介護度など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出した。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

令和2年1月中旬～令和2年2月下旬

5 配布・回収の結果

種 類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,200 件	1,000 件	83.3%
在宅介護実態調査	300 件	231 件	77.0%

※はがきによる督促1回実施

6 報告書の表記及び注意点について

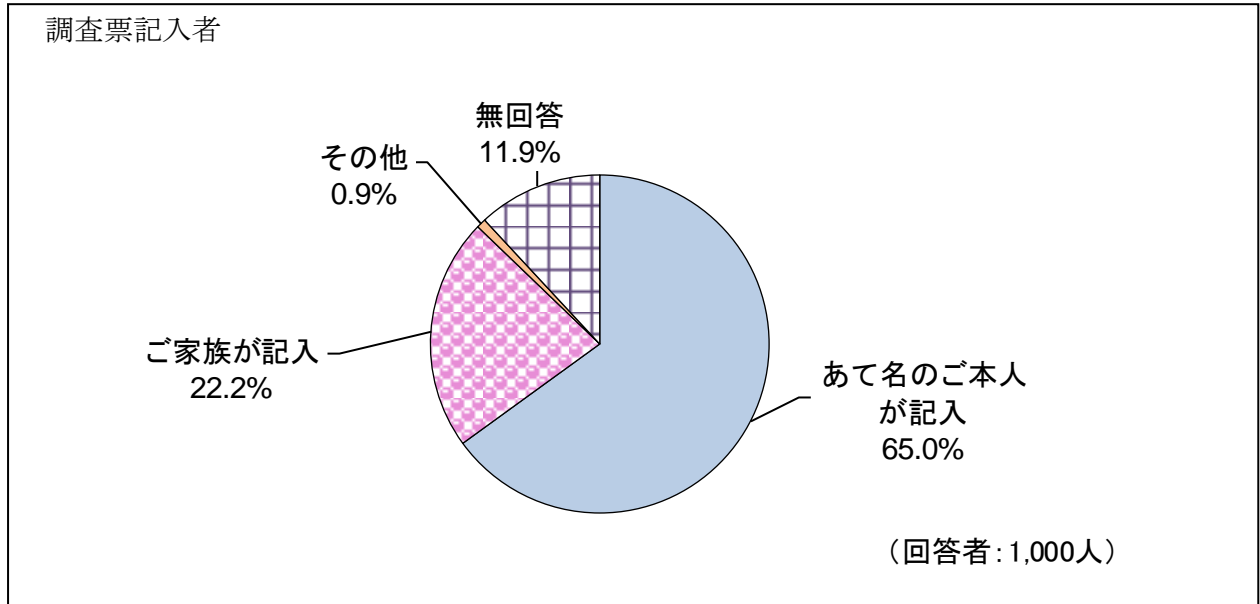
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「回答者」と表記し、その数を表している。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

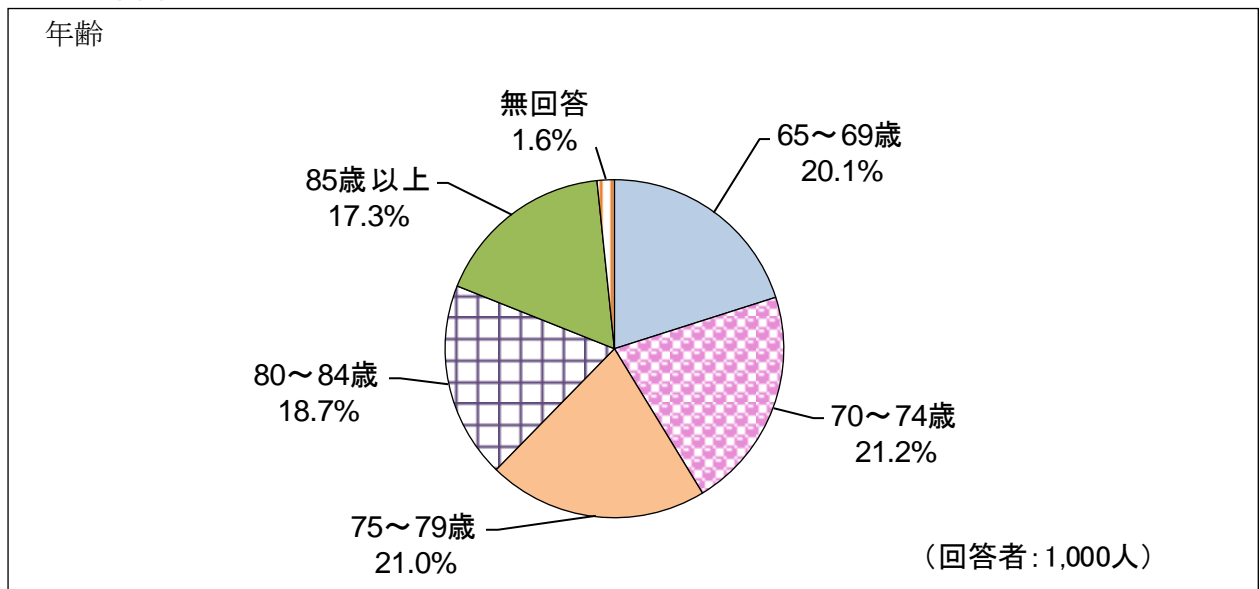
1 調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者



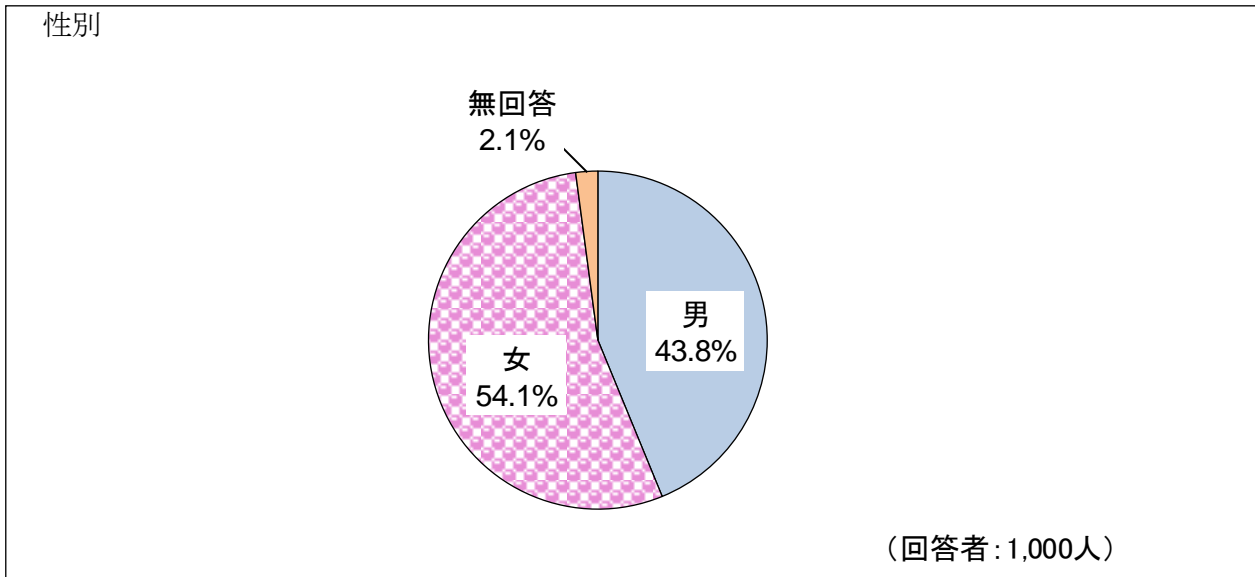
調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が65.0%、「ご家族が記入」が22.2%となっている。

(2) 年齢



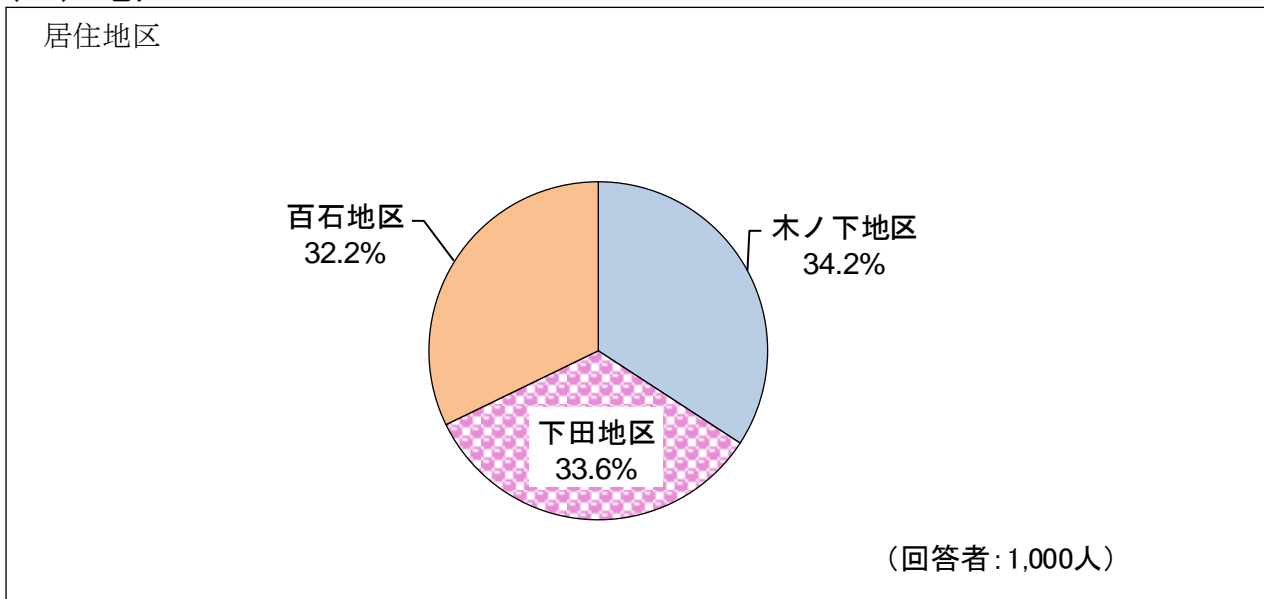
年齢は、「70～74歳」が21.2%で最も多く、次いで「75～79歳」(21.0%)、「65～69歳」(20.1%)、「80～84歳」(18.7%)、「85歳以上」(17.3%)となっている。

(3) 性別



性別は、「男」が43.8%、「女」が54.1%となっている。

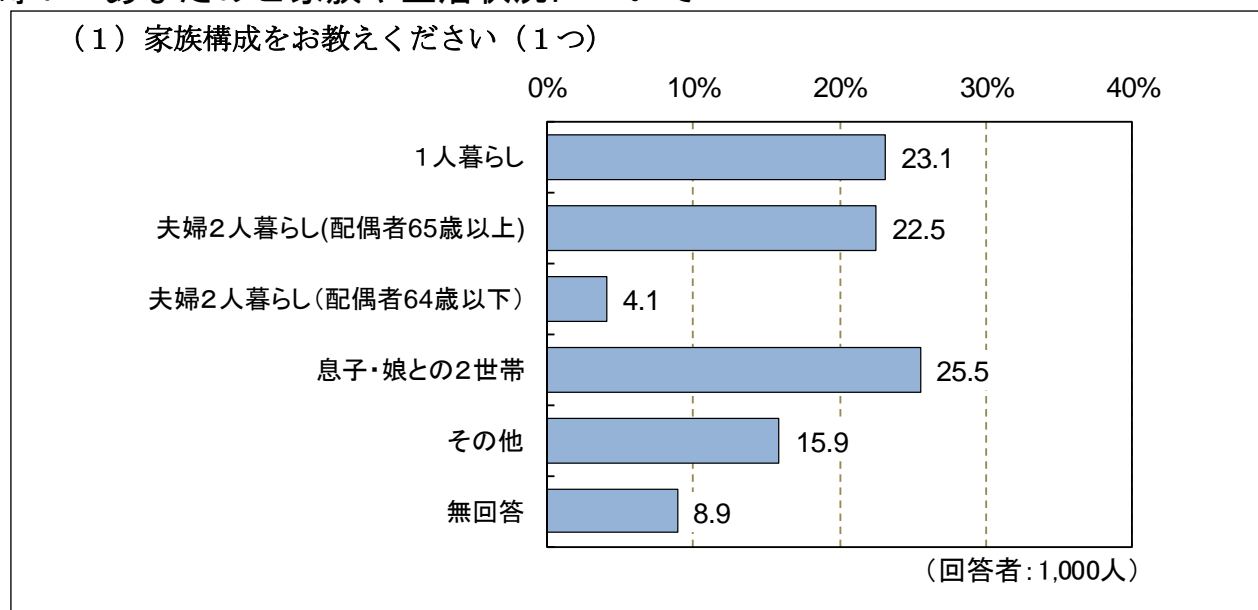
(4) 地区



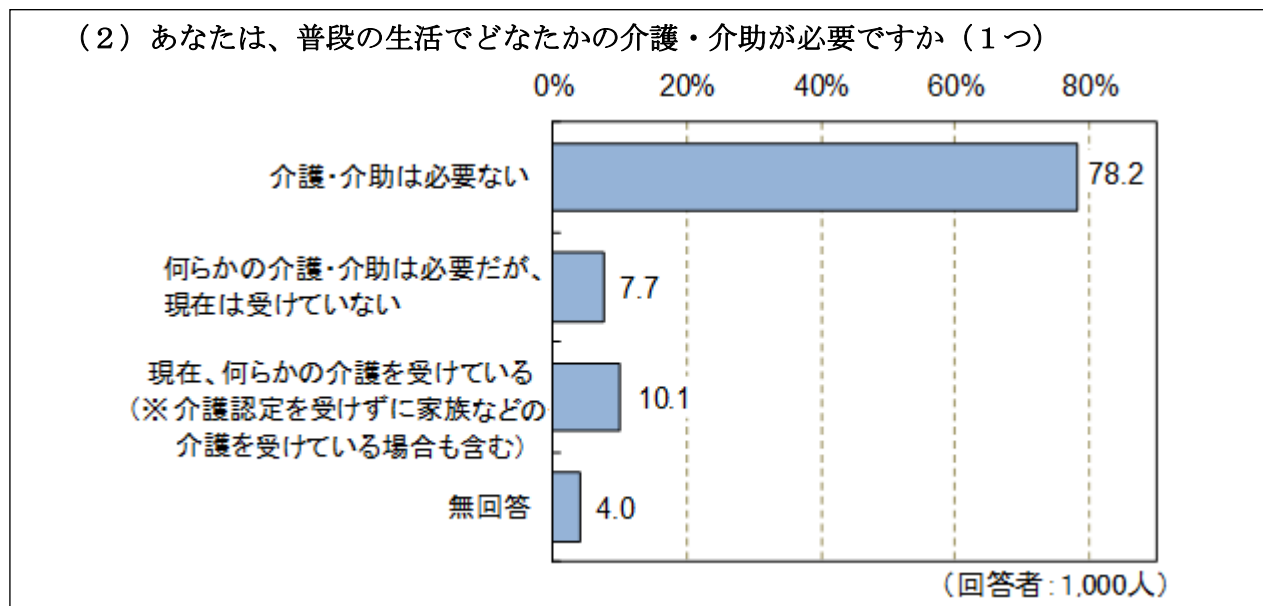
居住地区は、「木ノ下地区」が34.2%と最も多く、次いで「下田地区」(33.6%)、「百石地区」(32.2%)となっている。

2 ご家族や生活状況について

問1 あなたのご家族や生活状況について

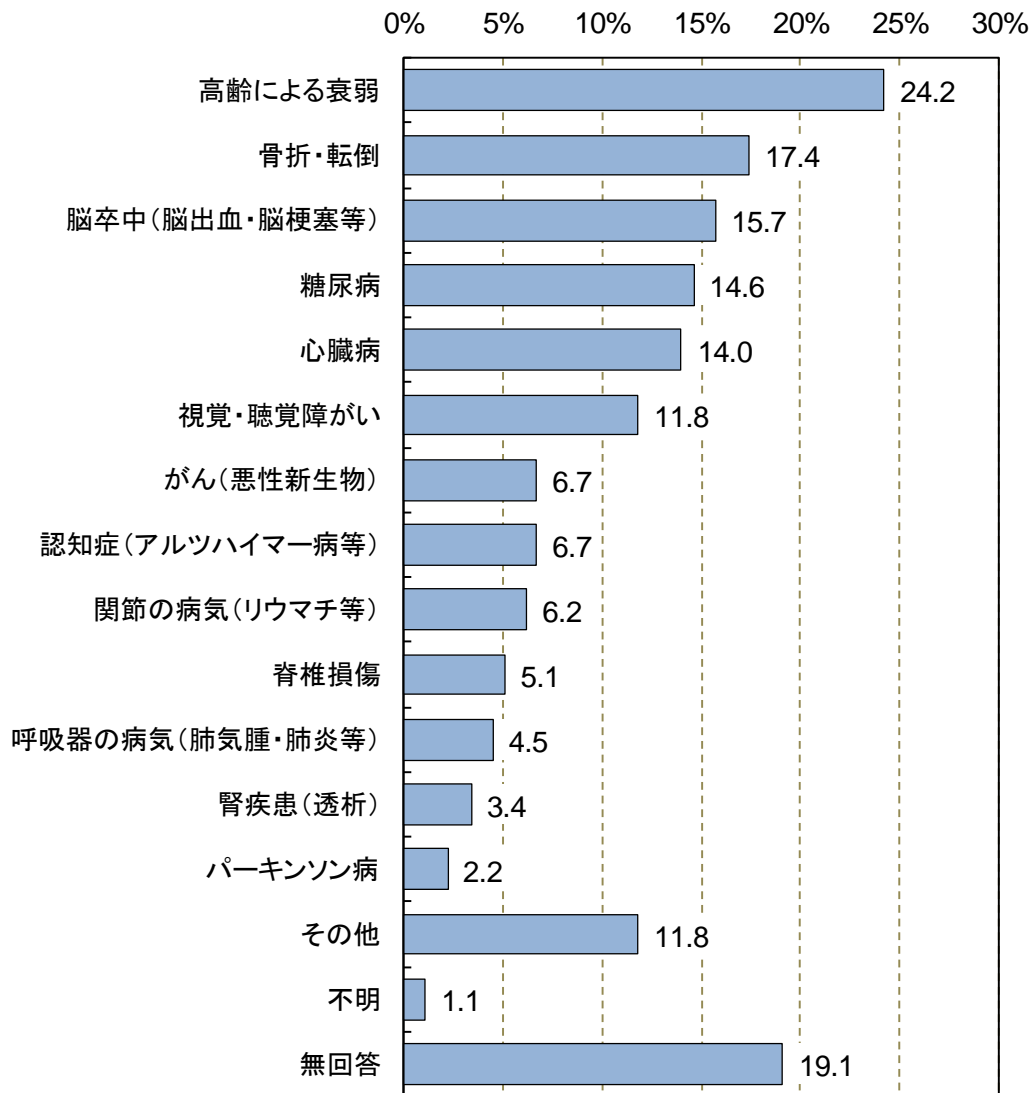


家族構成は、「息子・娘との2世帯」が25.5%と最も多く、次いで「1人暮らし」(23.1%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(22.5%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.1%)となっている。



普段の生活で介護・介助が必要かでは、78.2%が「介護・介助は必要ない」と回答している。その他「現在、何らかの介護を受けている(※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(10.1%)、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(7.7%)となっている。

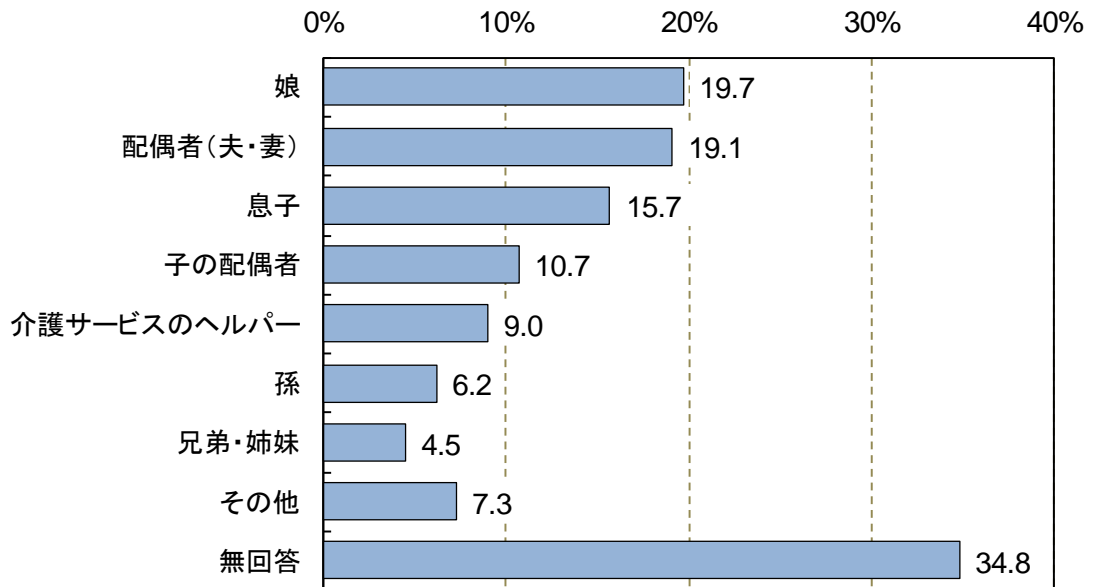
(2) -①【(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、
「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)



(回答者: 178人)

(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した178人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねると、「高齢による衰弱」が24.2%で最も多く、次いで「骨折・転倒」(17.4%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(15.7%)と続いている。

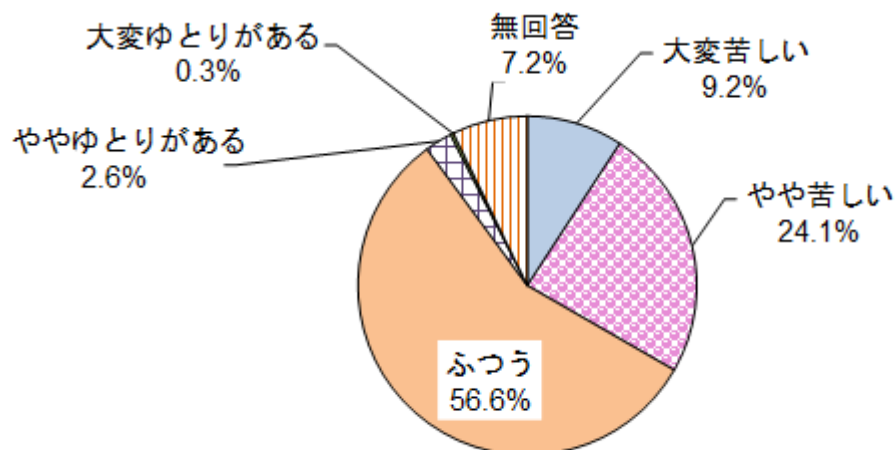
(2) -②【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお回答した方のみ】主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)



(回答者:178人)

(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した178人に、主な介護者・介助者を尋ねると、「娘」が19.7%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」(19.1%)、「息子」(15.7%)、「子の配偶者」(10.7%)と続いている。

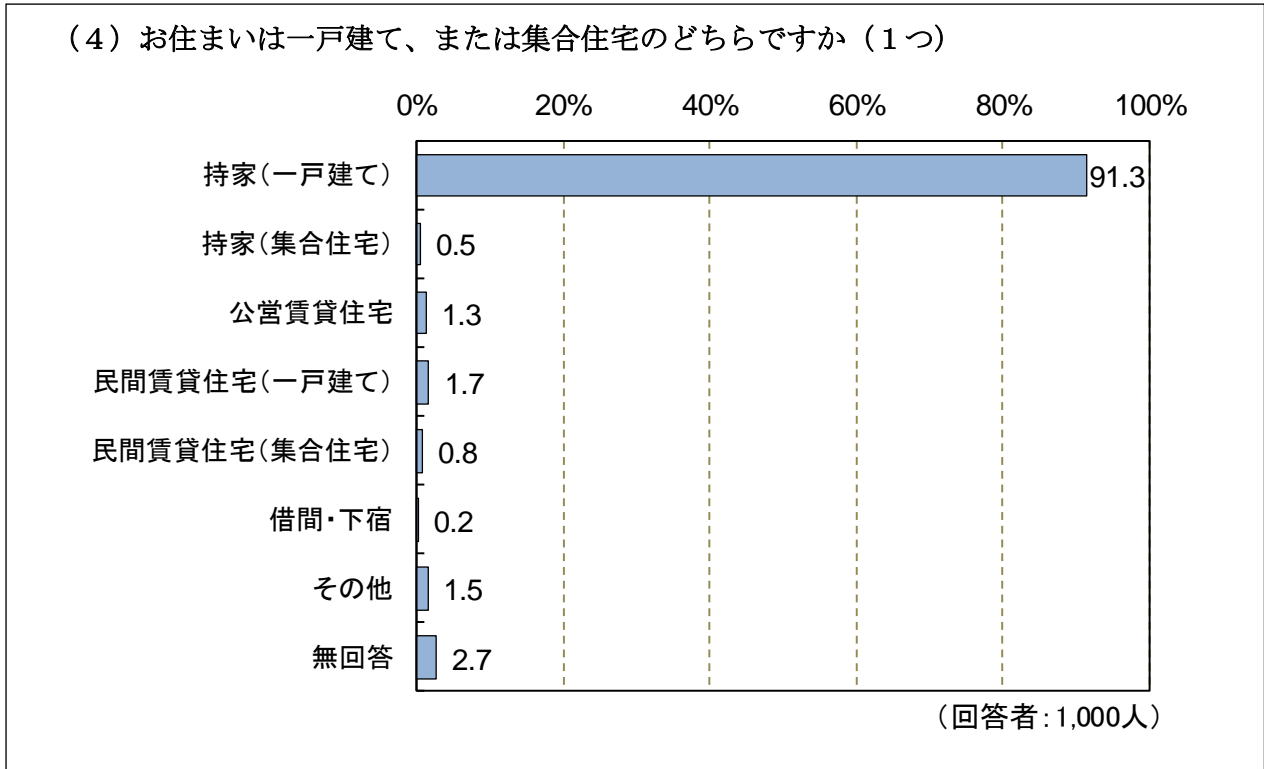
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つ)



(回答者:1,000人)

現在の暮らしの状況では、「ふつう」という回答が56.6%で最も多くなっている。

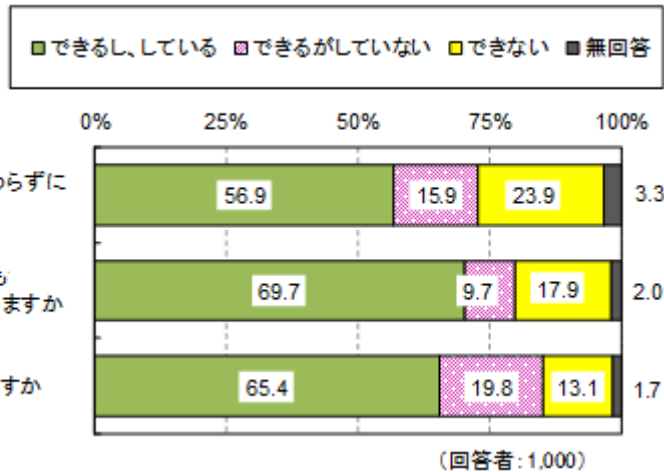
また、「大変苦しい」(9.2%)、「やや苦しい」(24.1%)を合わせると、33.3%が苦しいと回答している。



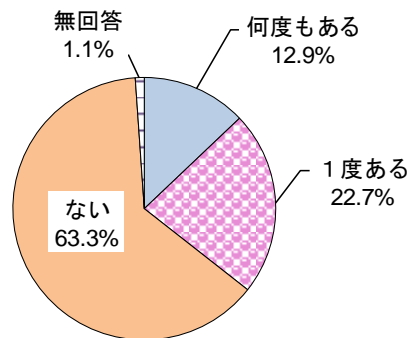
一戸建てか集合住宅かについては、「持家(一戸建て)」が91.3%と圧倒的に多くなっている。

問2 からだをうごかすことについて

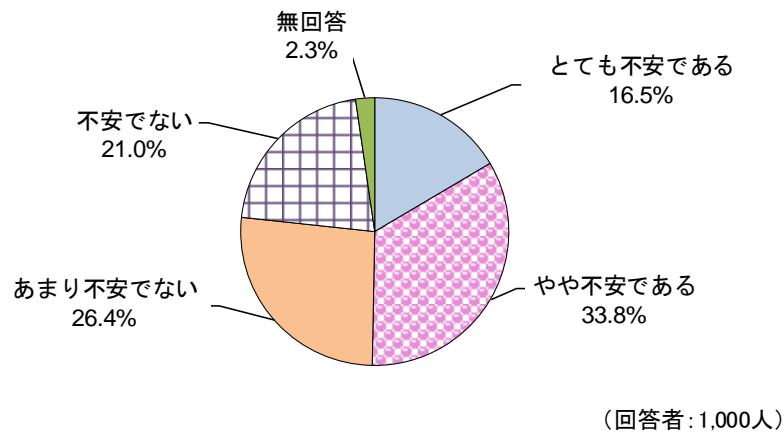
- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
 (3) 15分位続けて歩いていますか (それぞれ1つ)



- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つ)



- (5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つ)

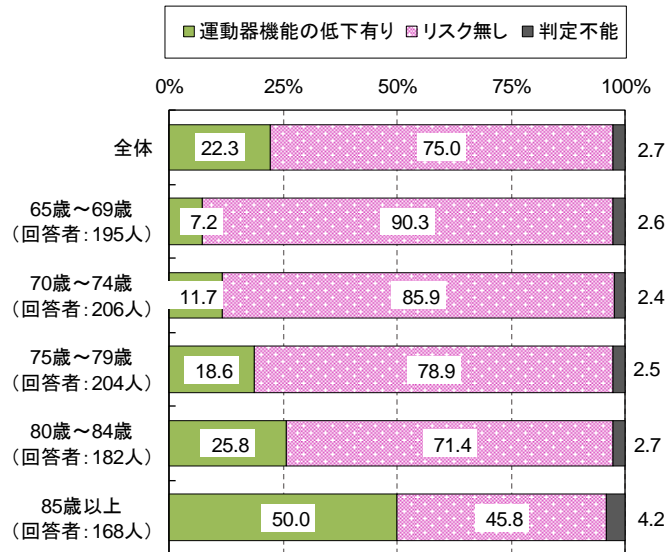


(1) (2) (3) (4) (5) は運動器の機能低下を問う設問です。各項目の該当割合は、「①階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか」(23.9%：「できない」)、「②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか」(17.9%：「できない」)、「③15分位続けて歩いているか」(13.1%：「できない」)、「過去1年間に転んだ経験があるか」(12.9%：「何度もある」、22.7%：「1度ある」)、「転倒に対する不安は大きいか」(16.5%：「とても不安である」、33.8%「やや不安である」)となっており、これらの設問で、3問以上該当すると、運動機能が低下していると判定される。

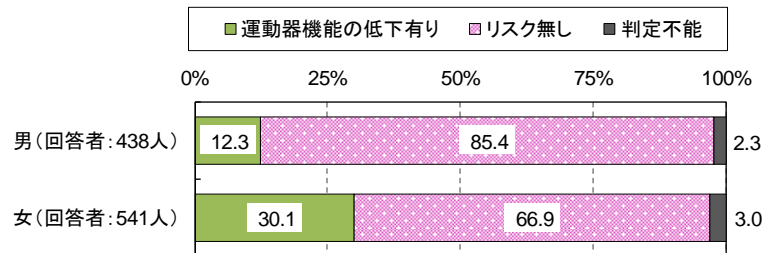
また、「過去1年間に転んだ経験があるか」において(12.9%：「何度もある」、22.7%：「1度ある」)と回答した場合は、転倒リスクがあると判定される。

◆運動器の機能低下について

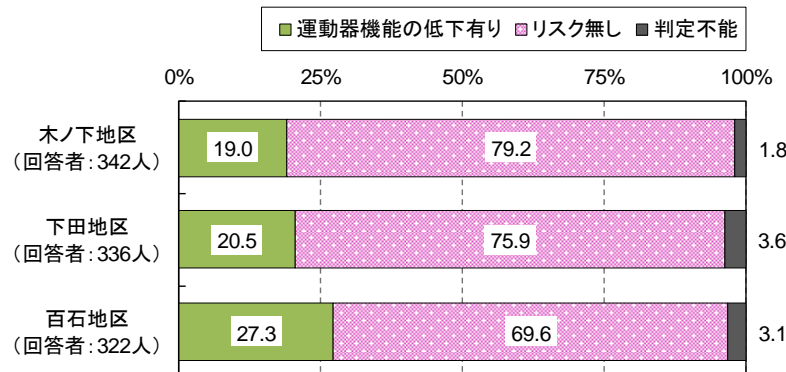
●年齢別運動器の機能低下状況



●男女別運動器の機能低下状況



●居住地区別運動器の機能低下状況



運動器の機能低下は、全体の22.3%が該当者となっている。

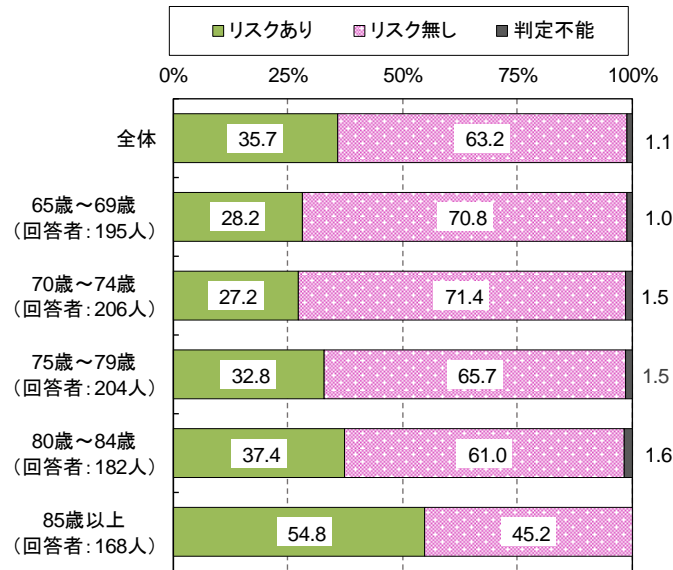
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の50.0%が該当者となっている。

男女別では、「男」の12.3%、「女」の30.1%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

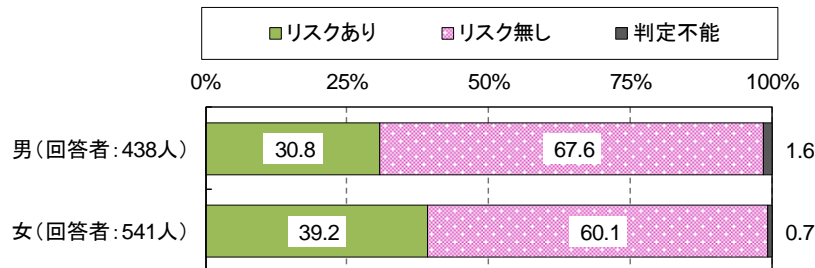
居住地区別では、「百石地区」の27.3%が最も多く、「下田地区」(20.5%)、「木ノ下地区」(19.0%)となっている。

◆転倒リスクについて

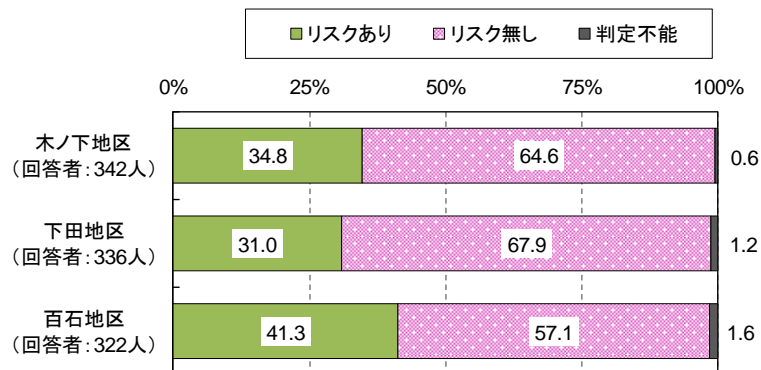
●年齢別転倒リスク状況



●男女別転倒リスク状況



●居住地区別転倒リスク状況

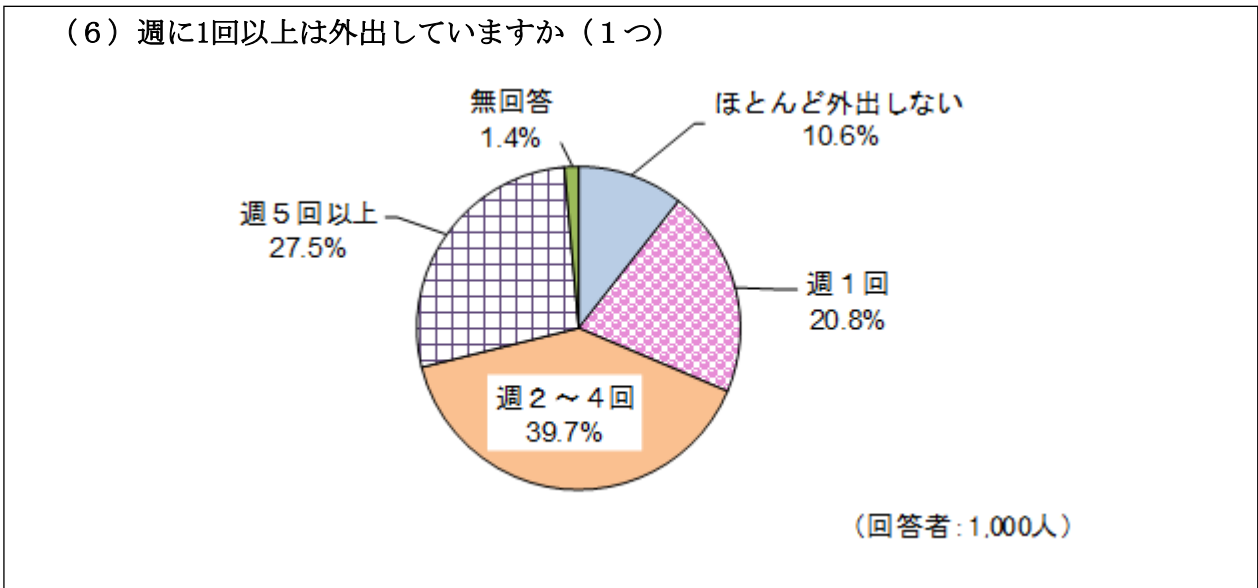


転倒リスクは、全体の35.7%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の54.8%が該当者となっている。

男女別では、「男」の30.8%、「女」の39.2%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

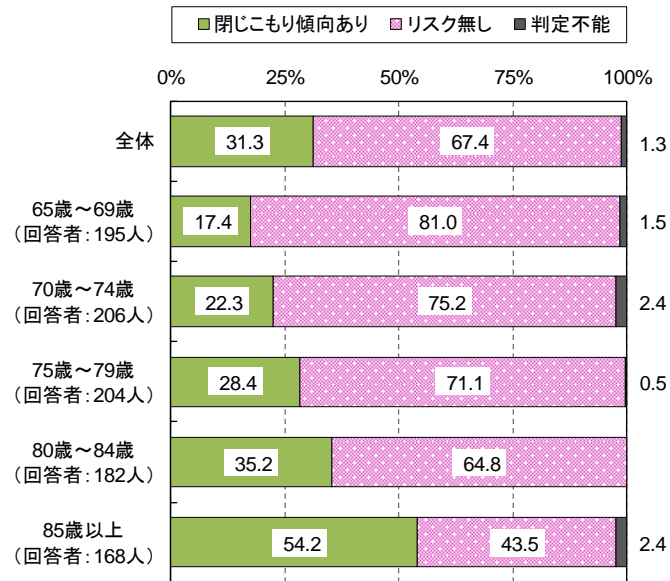
居住地区別では、「百石部地区」の41.3%が最も多く、「木ノ下地区」(34.8%)、「下田地区」(31.0%)となっている。



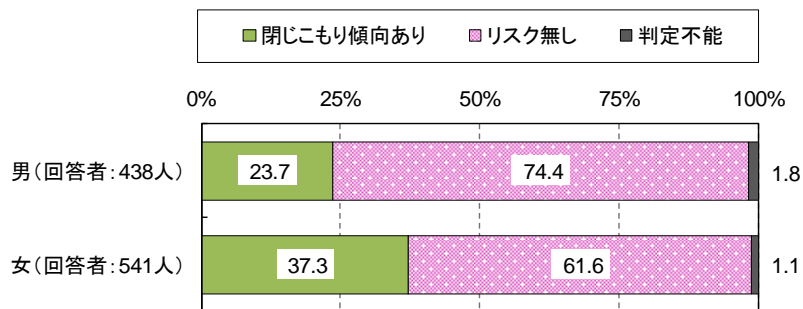
(6) は、閉じこもり傾向を問う設問です。「週に1回以上は外出しているか」において (10.6% : 「ほとんど外出していない」、20.8% : 「週1回」) と回答した場合は、閉じこもりリスクがあると判定される。

◆閉じこもり傾向について

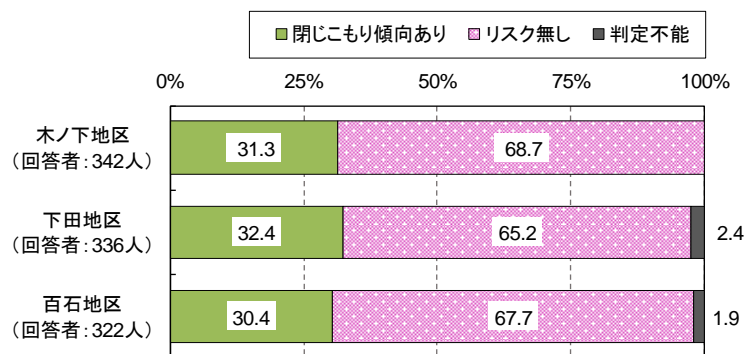
●年齢別閉じこもり傾向



●男女別閉じこもり傾向



●居住地区別閉じこもり傾向



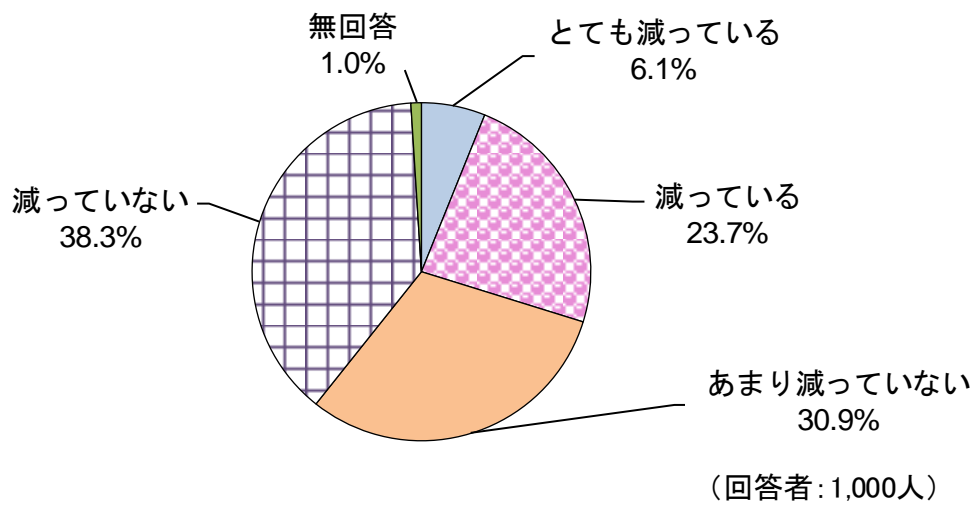
閉じこもり傾向は、全体の31.3%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の54.2%が該当者となっている。

男女別では、「男」の23.7%、「女」の37.3%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

居住地区別では、「下田地区」の32.4%が最も多く、「木ノ下地区」(31.3%)、「百石地区」(30.4%)となっている。

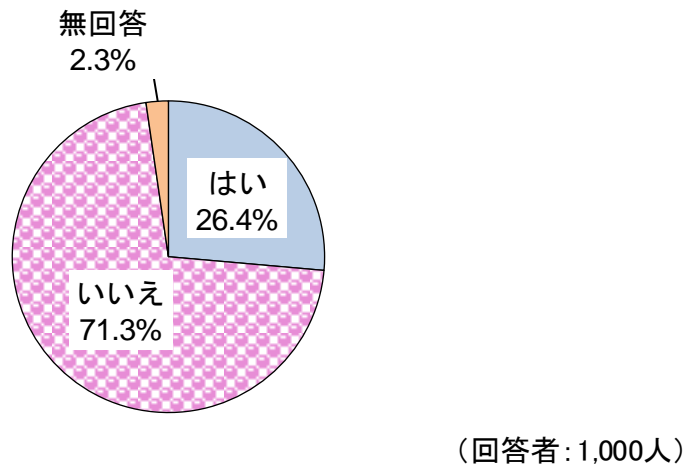
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つ)



昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(6.1%)、「減っている」(23.7%)を合わせると、29.8%が減っている回答している。

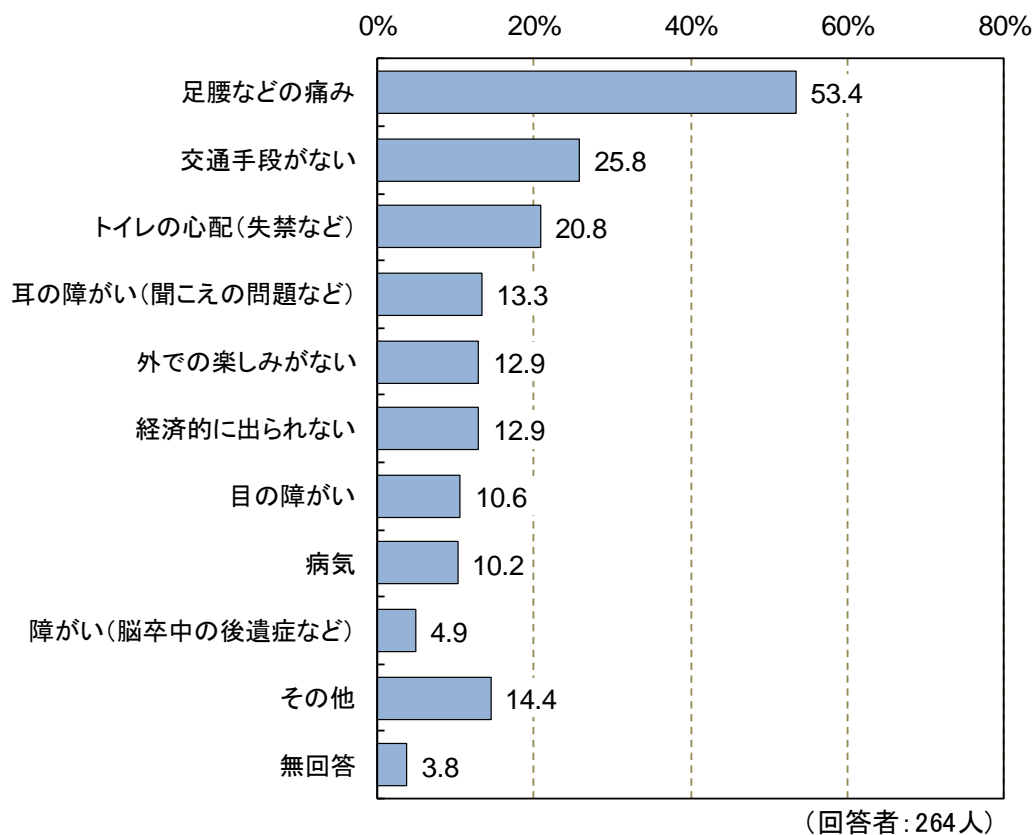
また、「減っていない」(38.3%)、「あまり減っていない」(30.9%)を合わせると、69.2%が減っていないと回答している。

(8) 外出を控えていますか (1つ)

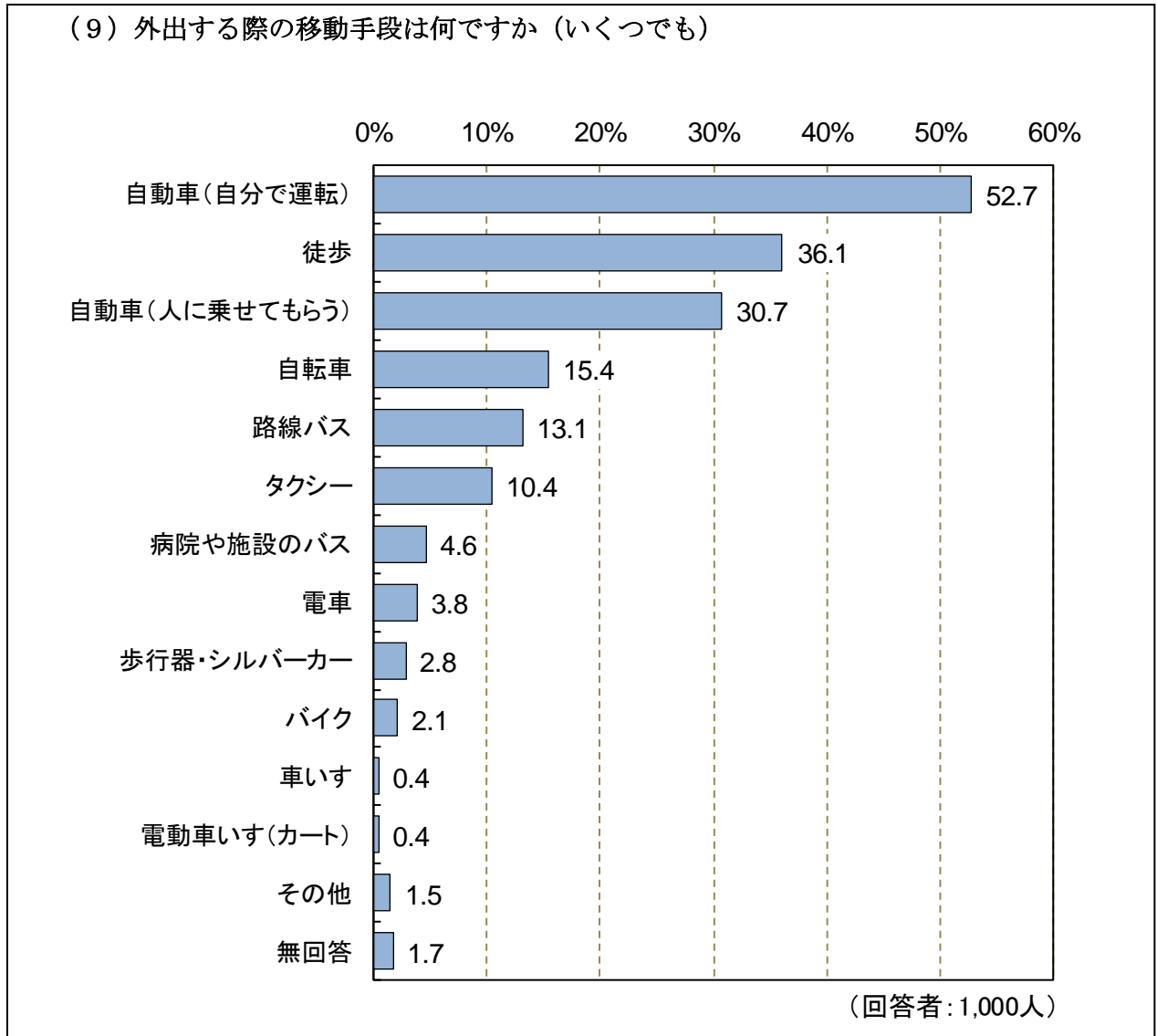


外出を控えているかは、「はい」が26.4%、「いいえ」が71.3%となっている。

(8) -①【(8)で「1. はい」と答えた方(外出を控えている方)のみ】
 外出を控える理由は、次のどれですか(いくつでも)



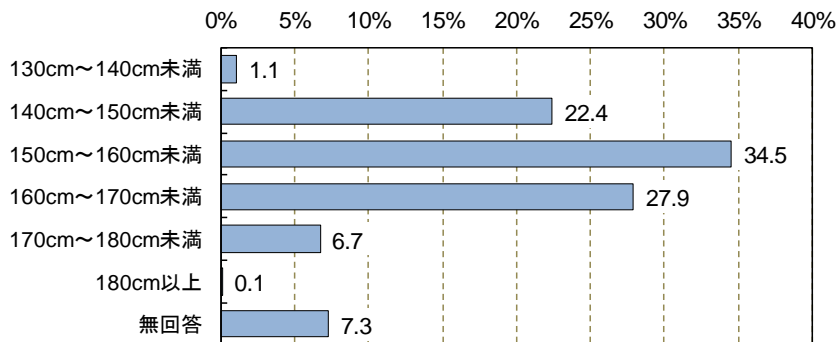
(8)で外出を控えていると回答した264人に、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が53.4%と最も多く、次いで「交通手段がない」(25.8%)、「トイレの心配(失禁など)」(20.8%)と続いている。



外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が52.7%で最も多く、次いで「徒歩」(36.1%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(30.7%)と続いている。

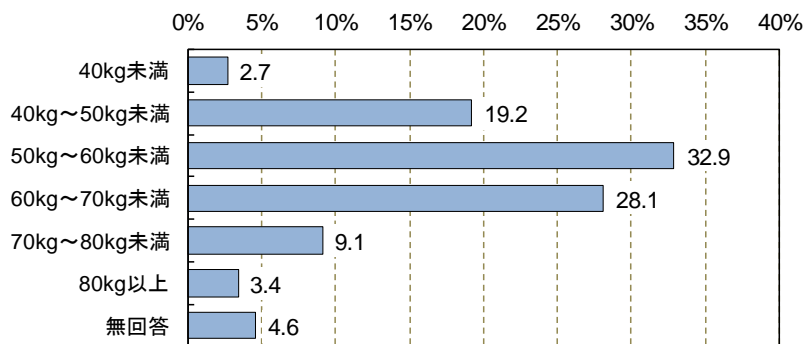
問3 からだをうごかすことについて

(1) あて名ご本人の身長、体重をお答えください
身長



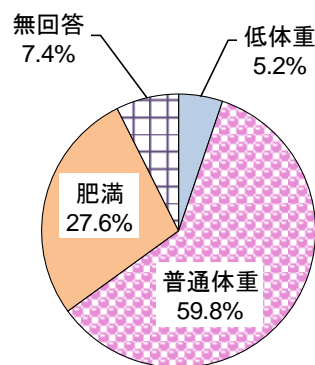
(回答者:1,000人)

体重



(回答者:1,000人)

BMI



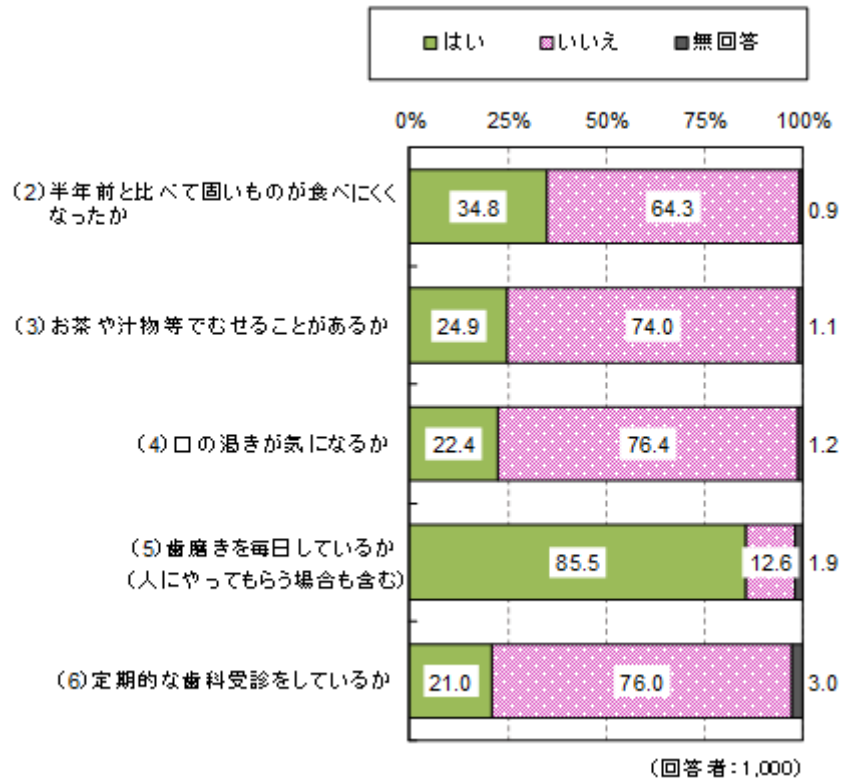
(回答者:1,000人)

身長は、「150~160cm未満」が34.5%で最も多く、次いで「160~170cm未満」(27.9%)、「140~150cm未満」(22.4%)などとなっている。

体重は、「50~60kg未満」が32.9%で最も多く、次いで「60~70kg未満」(28.1%)、「40~50kg未満」(19.2%)などとなっている。

BMIについては、「18.5~25未満(普通体重)」が59.8%で最も多く、次いで「25以上(肥満)」(27.6%)、「18.5未満(低体重)」(5.2%)となっている。

- (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか
 (4) 口の渇きが気になりますか
 (5) 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか
 (6) 定期的な歯科受診をしていますか (それぞれ1つ)



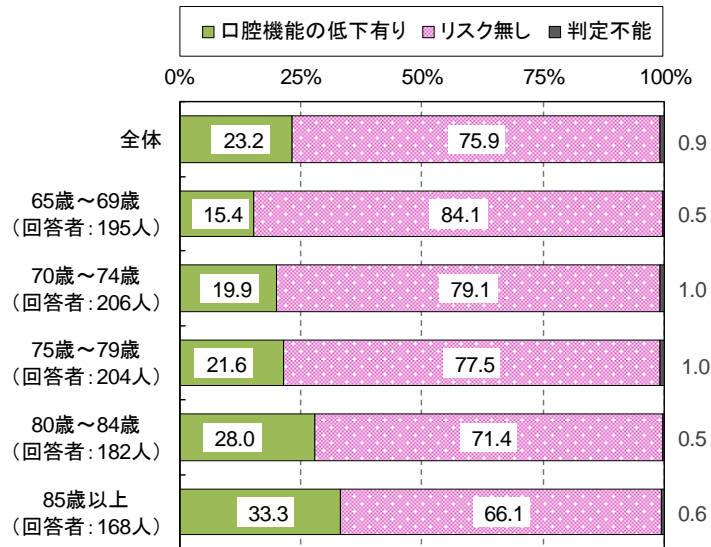
(2) は咀嚼機能の低下を問う設問です。「(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか」(34.8% : 「はい」) と回答した場合は、咀嚼機能の低下があると判定される。

また、「(3) お茶や汁物等でむせることがあるか」(24.9% : 「はい」)、「(4) 口の渇きが気になるか」(22.4% : 「はい」) と回答した場合は、(2) に加え、(3) (4) の設問で、2問以上に該当すると、口腔機能が低下していると判定される。

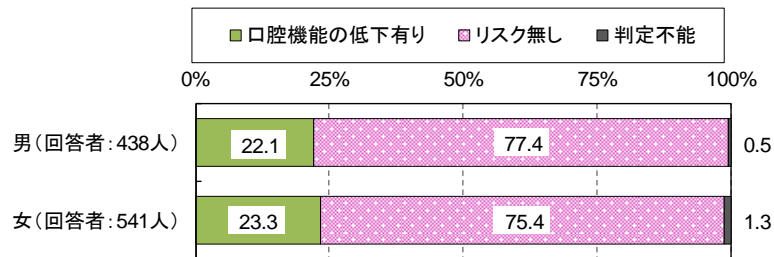
その他、「(5) 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日しているか」では「はい」が85.5%、「(6) 定期的な歯科受診をしているか」では「はい」が21.0%となっている。

◆口腔機能の低下について

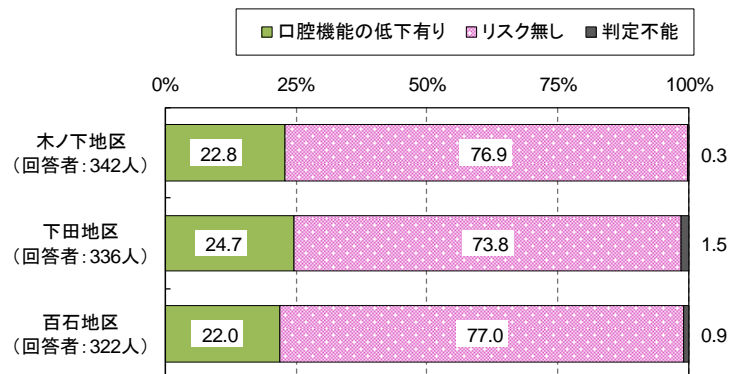
●年齢別口腔機能の低下状況



●男女別口腔機能の低下状況



●居住地区別口腔機能の低下状況



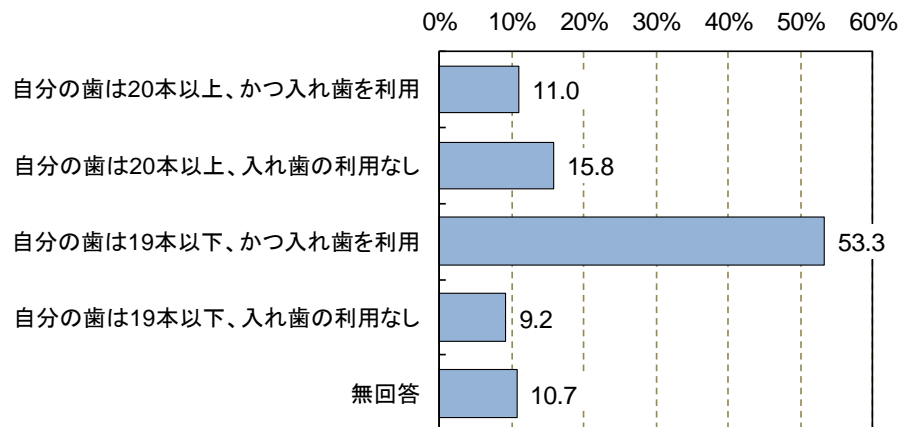
口腔機能低下は、全体の23.2%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上の33.3%が該当者となっている。

男女別では、「男」の22.1%、「女」の23.3%が該当者となっている。

居住地区別では、「下田地区」の24.7%が最も多く、「木ノ下地区」(22.8%)、「百石地区」(22.0%)となっている。

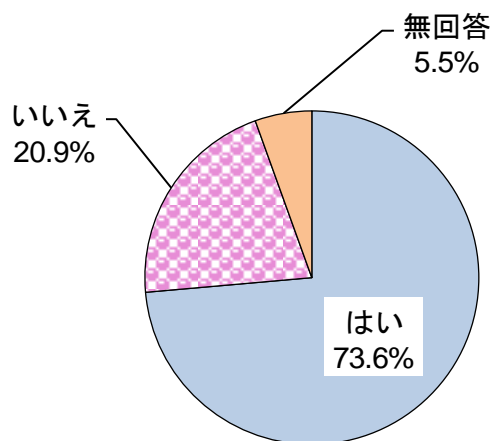
(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (1つ)



(回答者:1,000人)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が53.3%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(15.8%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.0%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.2%)となっている。

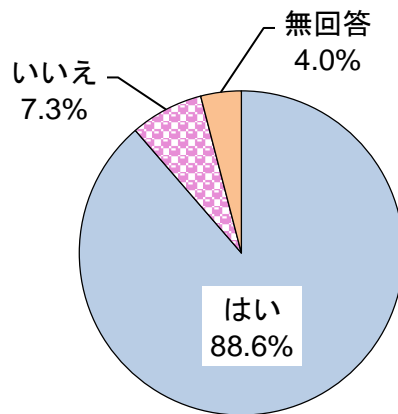
(7) - ① 噛み合わせはいいですか (1つ)



(回答者:1,000人)

現在の歯の噛み合わせはいいかは、「はい」が73.6%、「いいえ」が20.9%となっている。

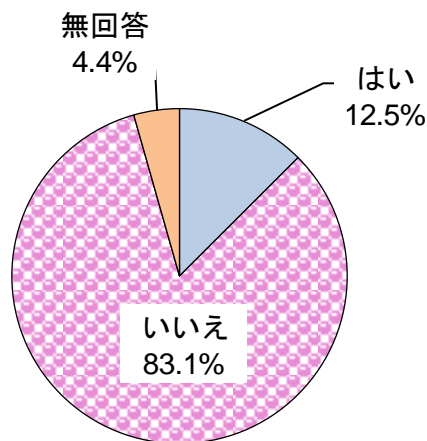
(7) -②【(7)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方のみ】
 毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つ)



(回答者: 643人)

(7)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した643人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねると、88.6%が「はい」と回答している。

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つ)

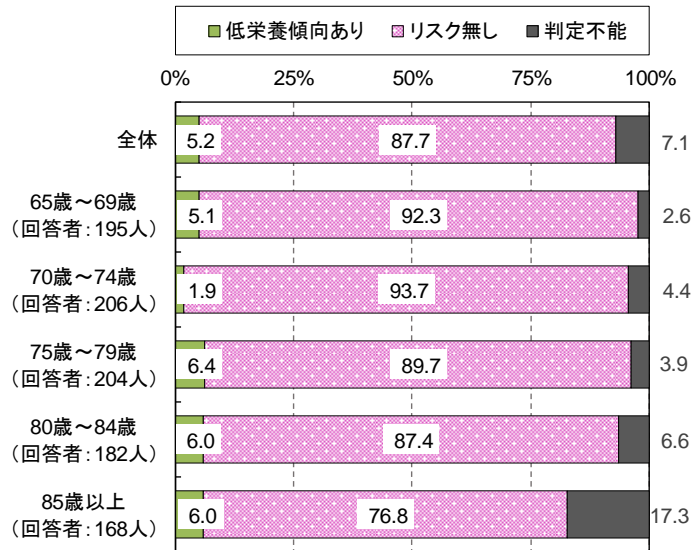


(回答者: 1,000人)

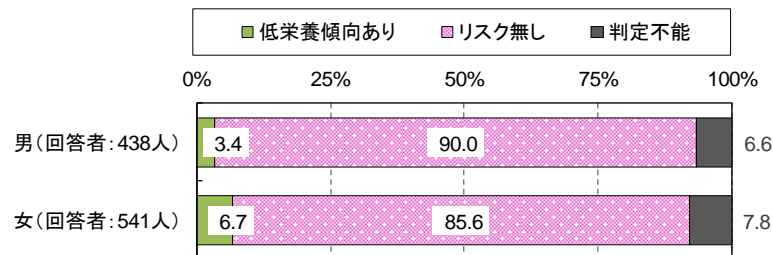
(8)は低栄養状態を問う設問です。(1)におけるBMI 18.5以下に該当し、「(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか」で(12.5%:「はい」)と回答した場合は、低栄養状態と判定される。

◆低栄養状態について

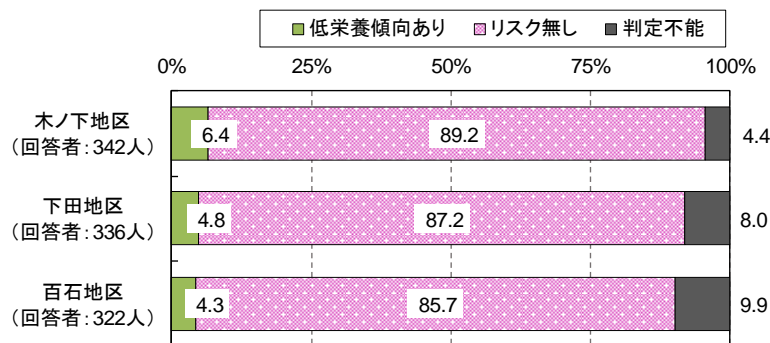
●年齢別低栄養傾向の状況



●男女別低栄養傾向の状況



●居住地区別低栄養傾向の状況

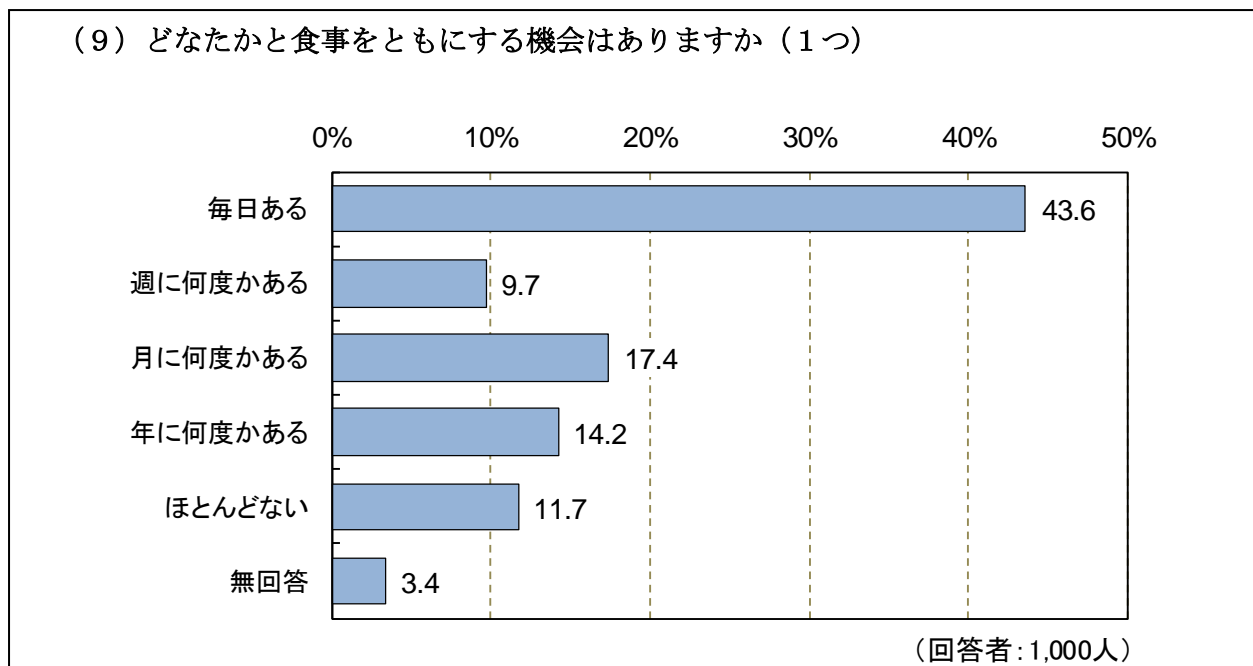


低栄養傾向の状況は、全体の5.2%が該当者となっている。

年齢別では、80歳から85歳以上で、6.0%が該当者となっている。

男女別では、「男」の3.4%、「女」の6.7%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

居住地区別では、「木ノ下地区」の6.4%が最も多く、「下田地区」(4.8%)、「百石地区」(4.3%)となっている。

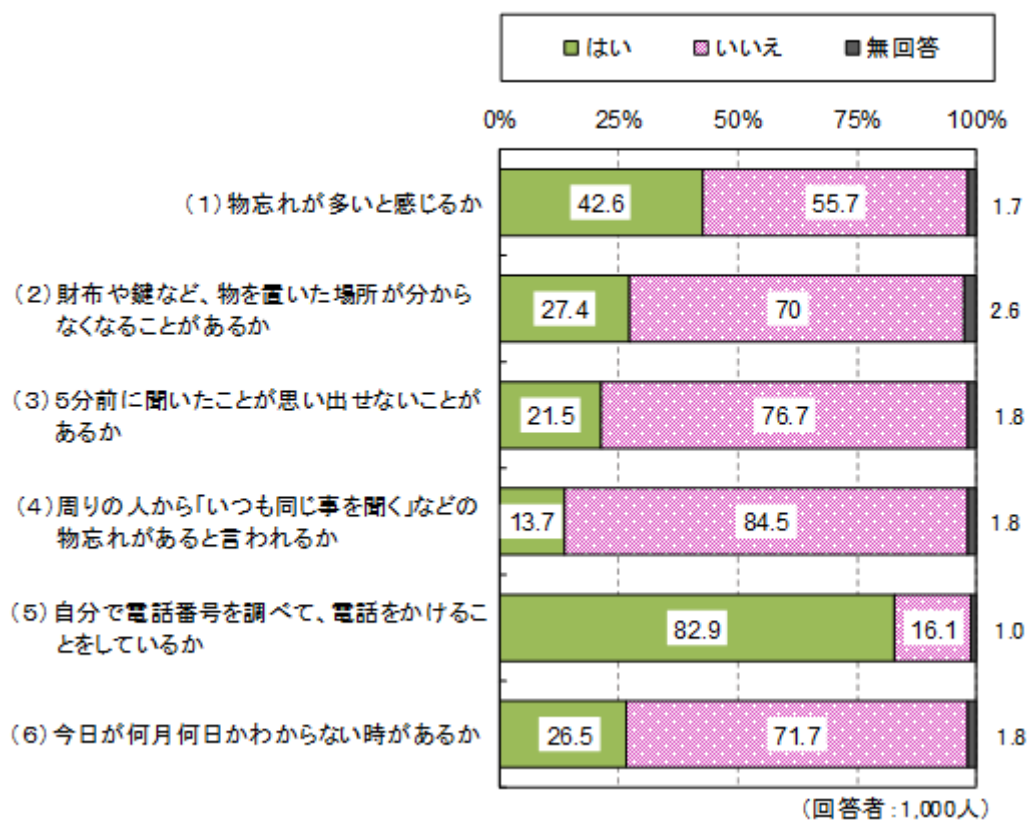


どなたかと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が43.6%と最も多く、次いで「月に何度かある」(17.4%)、「年に何度かある」(14.2%)、「週に何度かある」(9.7%)となっている。

また、「ほとんどない」という回答も11.7%あった。

問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じますか
 (2) 財布や鍵など、物を置いた場所が分からなくなることがありますか
 (3) 5分前に聞いたことが思い出せないことがありますか
 (4) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか
 (5) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
 (6) 今日が何月何日かわからない時がありますか (それぞれ1つ)

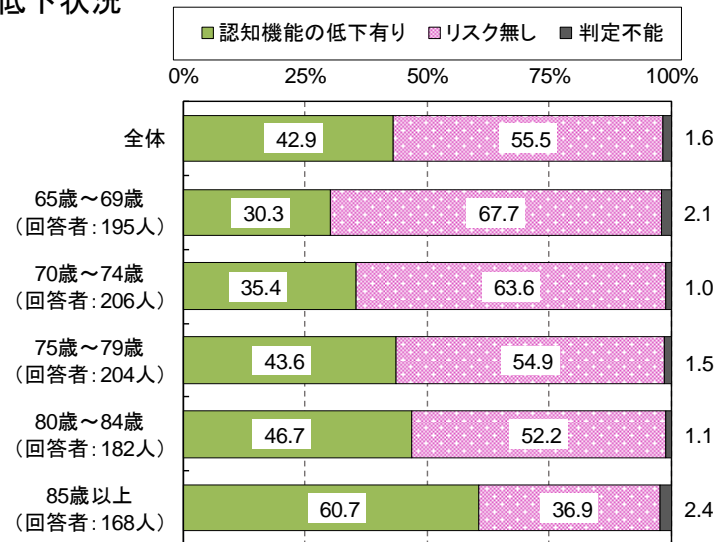


(1) は認知機能の低下を問う設問です。「(1) 物忘れが多いと感じるか」(42.6% : 「はい」) と回答した場合は、認知機能の低下があると判定される。

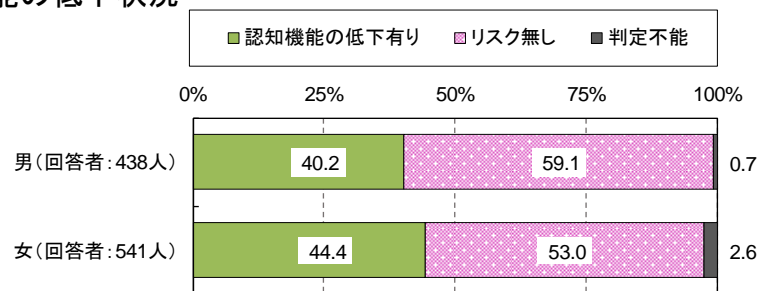
その他、「(2) 物を置いた場所が分からなくなることがあるか」では「はい」が27.4%、「(3) 5分前に聞いたことが思い出せないことがあるか」では「はい」が21.5%、「(4) 「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされるか」では「はい」が13.7%、「(5) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか」では「はい」が82.9%、「(6) 今日が何月何日かわからない時があるか」では「はい」が26.5%となっている。

◆認知機能の低下について

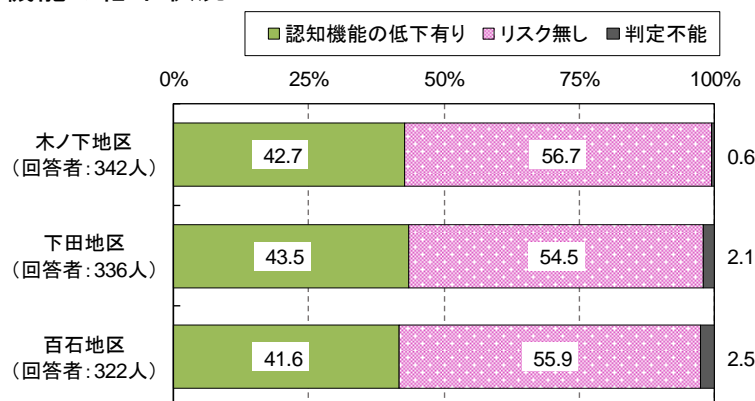
●年齢別認知機能の低下状況



●男女別認知機能の低下状況



●居住地区別認知機能の低下状況



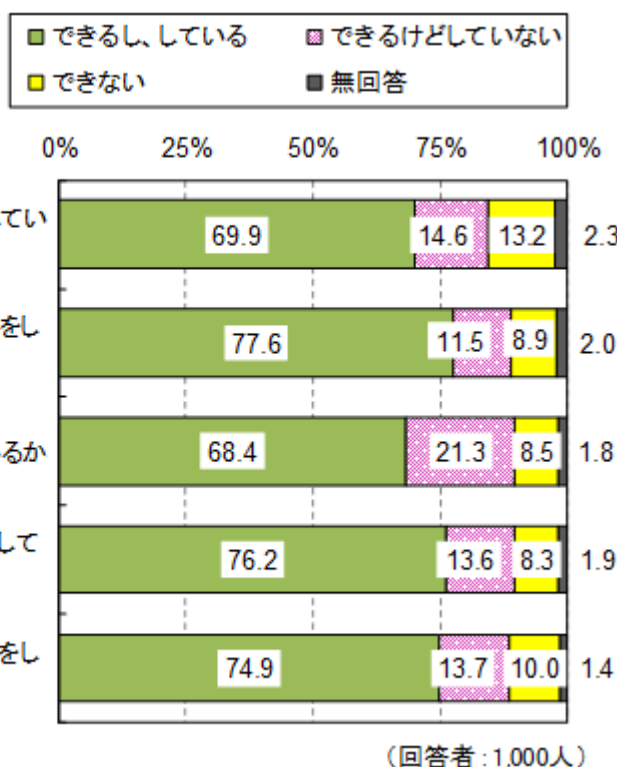
認知機能の低下は、全体の42.9%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の60.7%が該当者となっている。

男女別では、「男」の40.2%、「女」の44.4%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

居住地区別では、「下田地区」の43.5%が最も多く、「木ノ下地区」(42.7%)、「百石地区」(41.6%)となっている。

- (7) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)
 (8) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
 (9) 自分で食事の用意をしていますか
 (10) 自分で請求書の支払いをしていますか
 (11) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (それぞれ1つ)

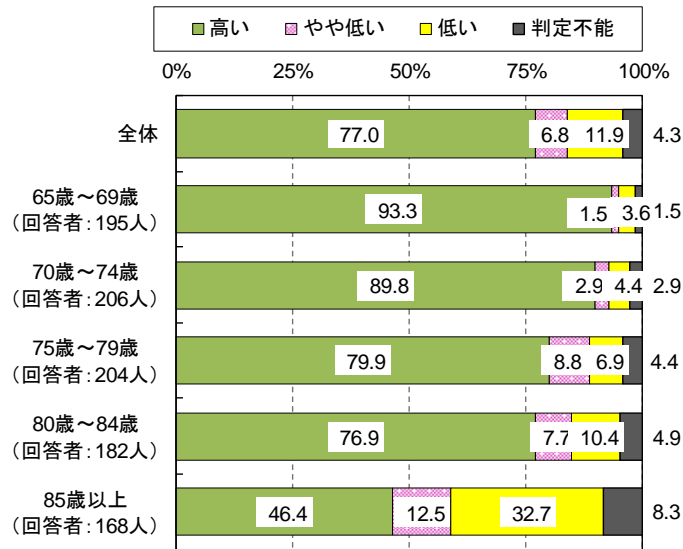


この設問は、IADLの低下を問う設問です。(7)～(11)の項目について、「1. できるし、している」、「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します。(5点: 高い、4点: やや低い、3点以下: 低い)。「(7) バスや電車で一人で外出しているか (自家用車でも可)」(69.9%: 「できるし、している」、14.6%: 「できるけどしていない」)、「(8) 自分で食品・日用品の買物をしているか」(77.6%: 「できるし、している」、11.5%: 「できるけどしていない」)、「(9) 自分で食事の用意をしているか」(68.4%: 「できるし、している」、21.6%: 「できるけどしていない」)、「(10) 自分で請求書の支払いをしているか」(76.2%: 「できるし、している」、13.6%: 「できるけどしていない」)、「(11) 自分で預貯金の出し入れをしているか」(74.9%: 「できるし、している」、13.7%: 「できるけどしていない」)となっている。

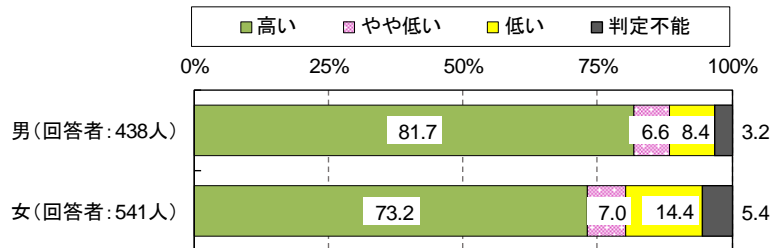
その他、「④自分で掃除機やほうきを使って掃除ができるか」(78.9%: 「できるし、している」、15.5%: 「できるけどしていない」)となっている。

◆ I A D L の低下について

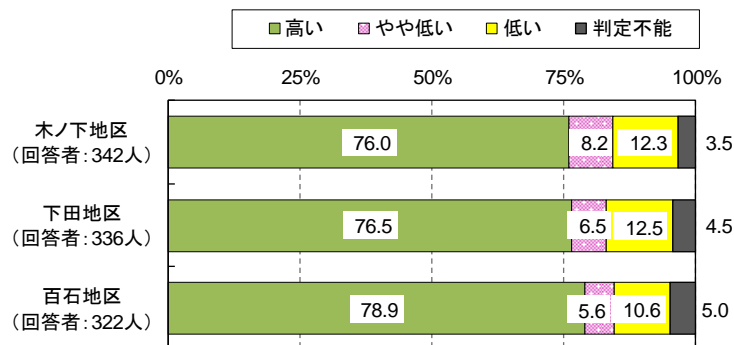
● 年齢別 I A D L の低下状況



● 男女別 I A D L の低下状況



● 居住地区別 I A D L の低下状況

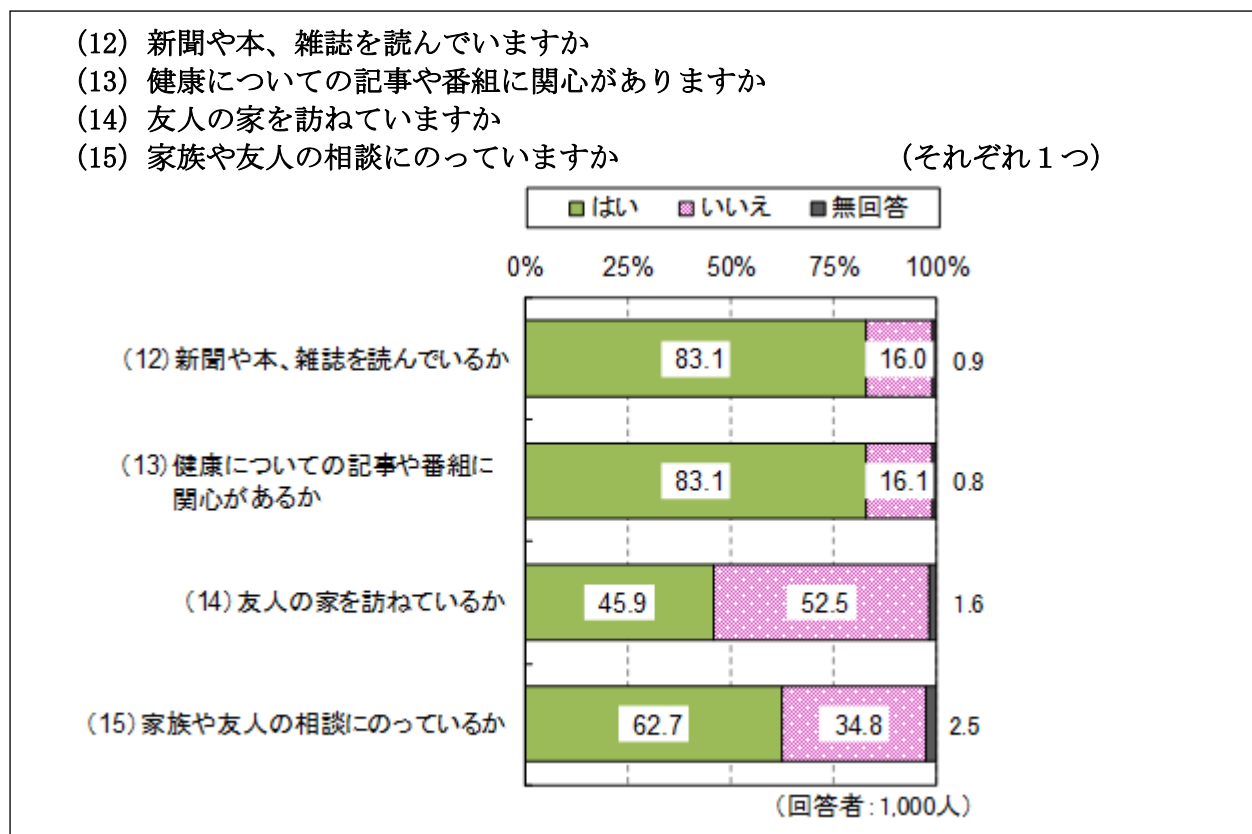


I A D L の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の18.7%が該当者となっている。

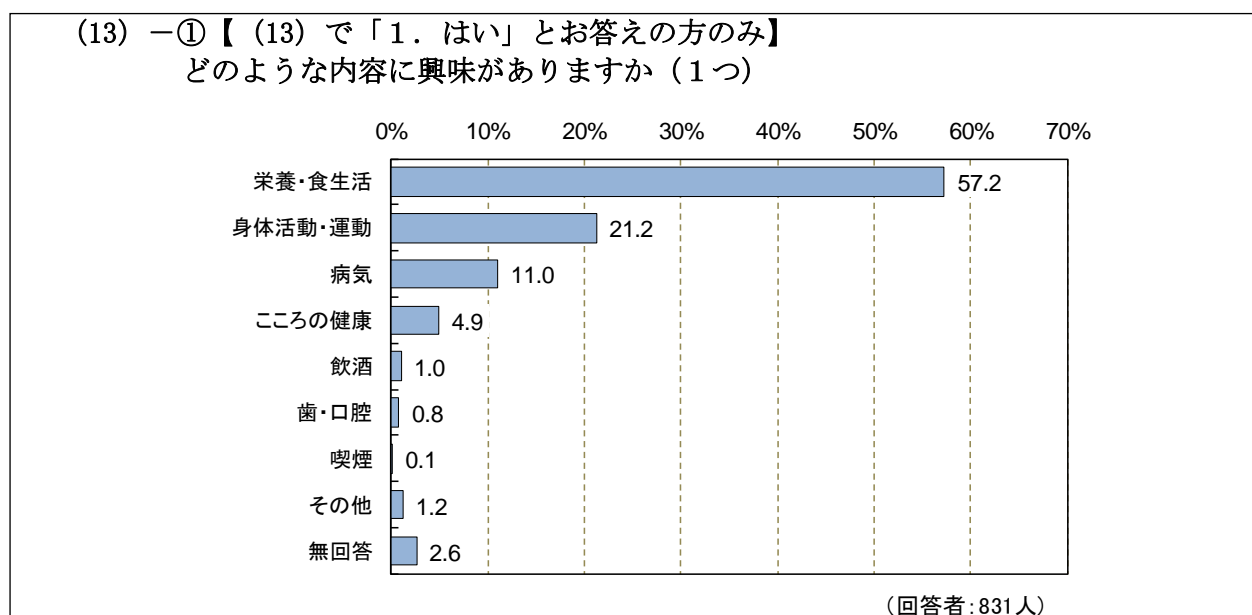
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の45.2%が該当者となっている。

男女別では、「男」の15.0%、「女」の21.4%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

居住地区別では、「木ノ下地区」の20.5%が最も多く、「下田地区」(19.0%)、「百石地区」(16.2%)と続いている。

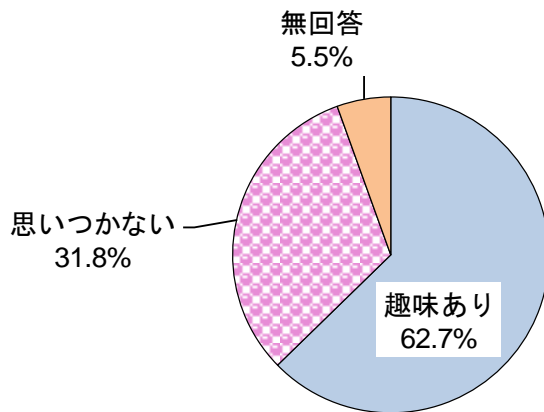


社会参加についての設問です。「はい」の回答割合が最も高かった項目は、「(12) 新聞や本、雑誌を読んでいるか」、「(13) 健康についての記事や番組に関心があるか」が共に83.1%となっている。以下、「(15) 家族や友人の相談にのっているか」(62.7%)、「(14) 友人の家を訪ねていますか」(45.9%)と続いている。



(13)で「1. はい」と回答した831人に、どのような内容に興味があるか尋ねると、「栄養・食生活」が57.2%と最も多く、次いで「身体活動・運動」(21.2%)、「病気」(11.0%)と続いている。

(16) 趣味はありますか (1つ)

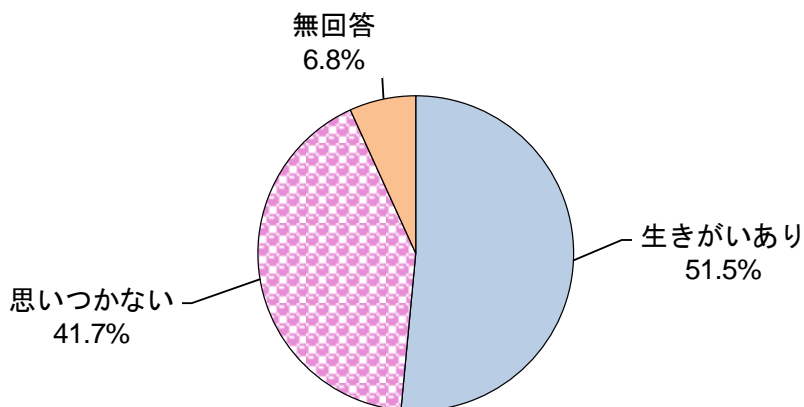


(回答者:1,000人)

趣味があるかは、「趣味あり」が62.7%、「思いつかない」が31.8%となっている。

また、趣味がある方の具体的な内容では、「カラオケ」、「グランドゴルフ」、「家庭菜園」、「園芸」、「手芸」、「釣り」、「読書」などの回答があった。

(17) 生きがいがありますか (1つ)



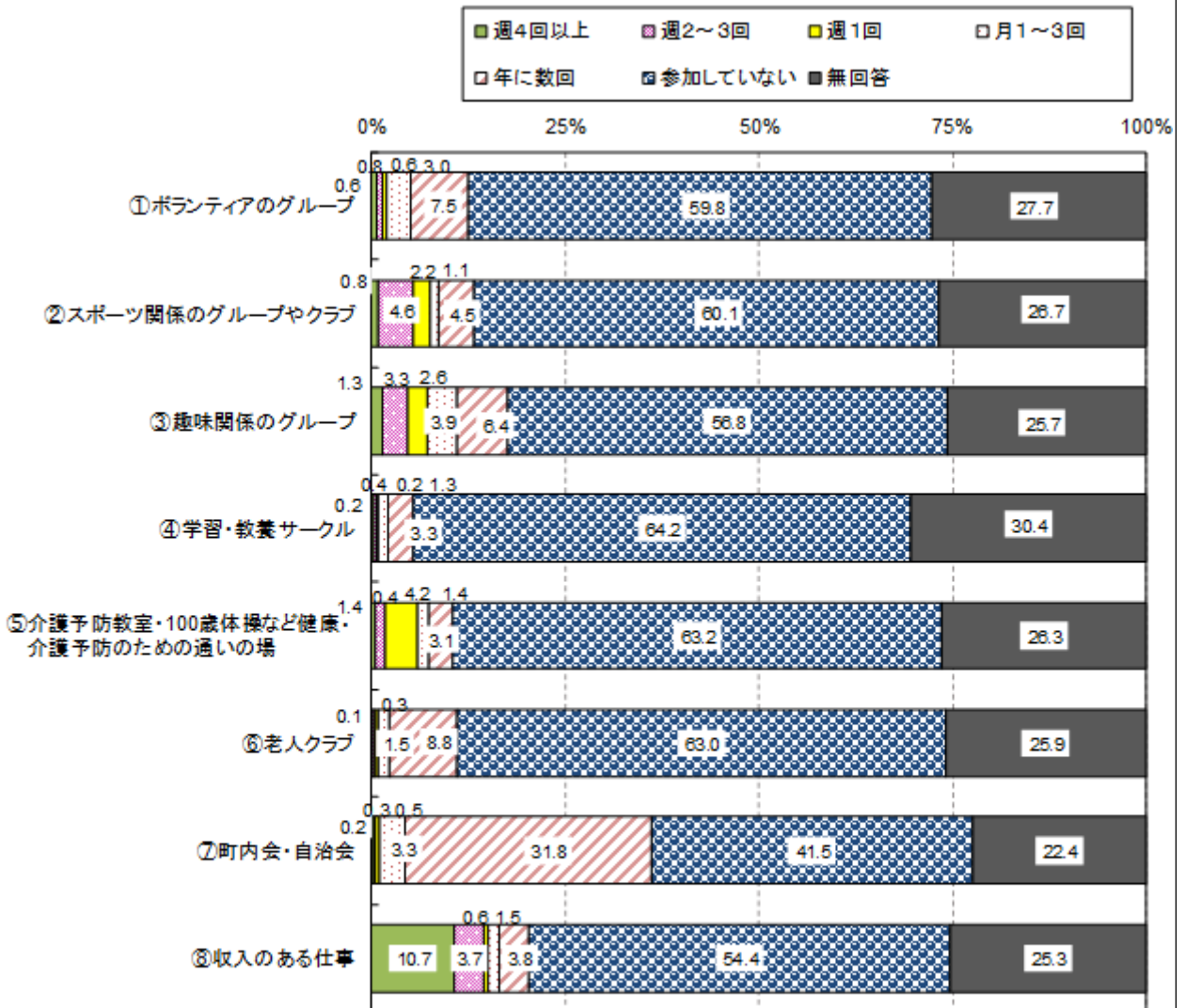
(回答者:1,000人)

生きがいがあるかは、「生きがいあり」が51.5%、「思いつかない」が41.7%となっている。

また、生きがいがある方の具体的な内容では、「趣味を楽しむ」、「孫、ひ孫の成長」、「仕事」、「家族」、「健康」、「旅行」などの回答があった。

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(それぞれ1つ)

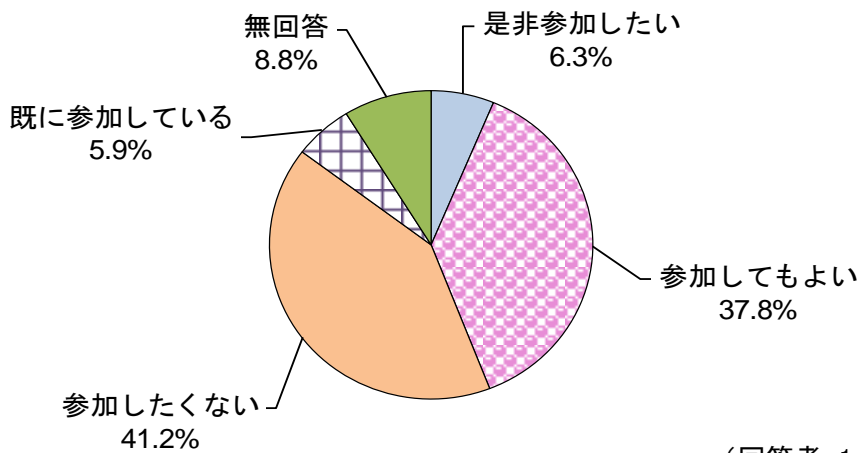


(回答者: 1,000人)

グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「⑦町内会・自治会」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、3割以上が参加している。

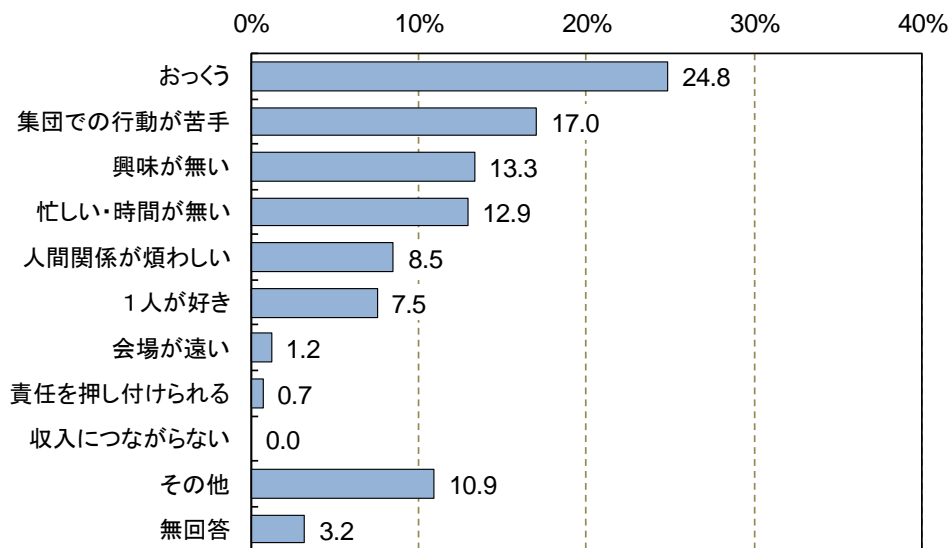
また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「④学習・教養サークル」(64.2%)となっている。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つ)



(回答者:1,000人)

(2) -①【(2)で「3. 参加したくない」とお答えの方のみ】
 参加したくない理由は何ですか (1つ)

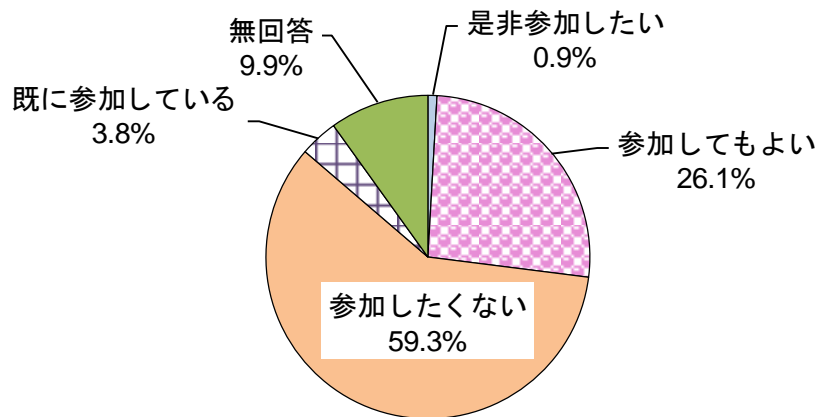


(回答者:412人)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「是非参加したい」(6.3%)、「参加してもよい」(37.8%)を合わせると、44.1%に参加意向がある。

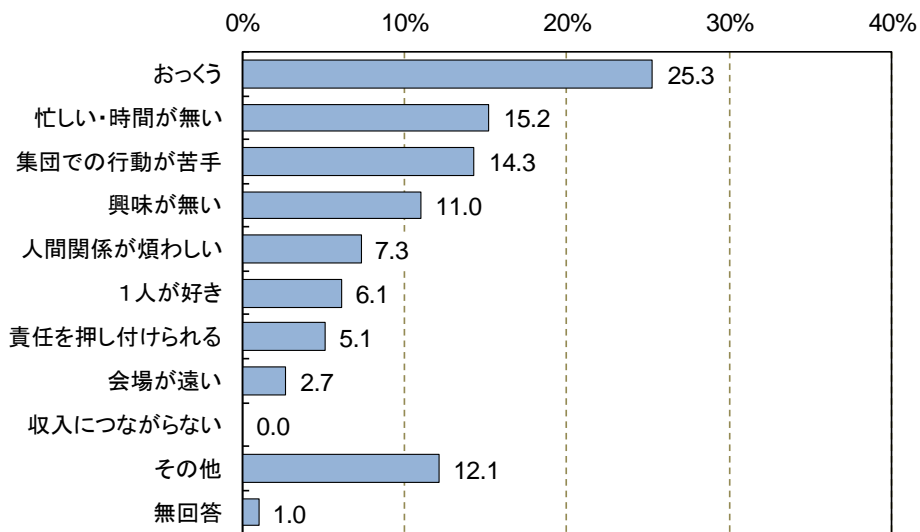
また、「参加したくない」と回答した412人に、参加したくない理由を尋ねると、「おっくう」が24.8%と最も多く、次いで「集団での行動が苦手」(17.0%)、「興味が無い」(13.3%)と続いている。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つ）



(回答者:1,000人)

(3) -①【(3)で「3. 参加したくない」とお答えの方のみ】
参加したくない理由は何ですか（1つ）



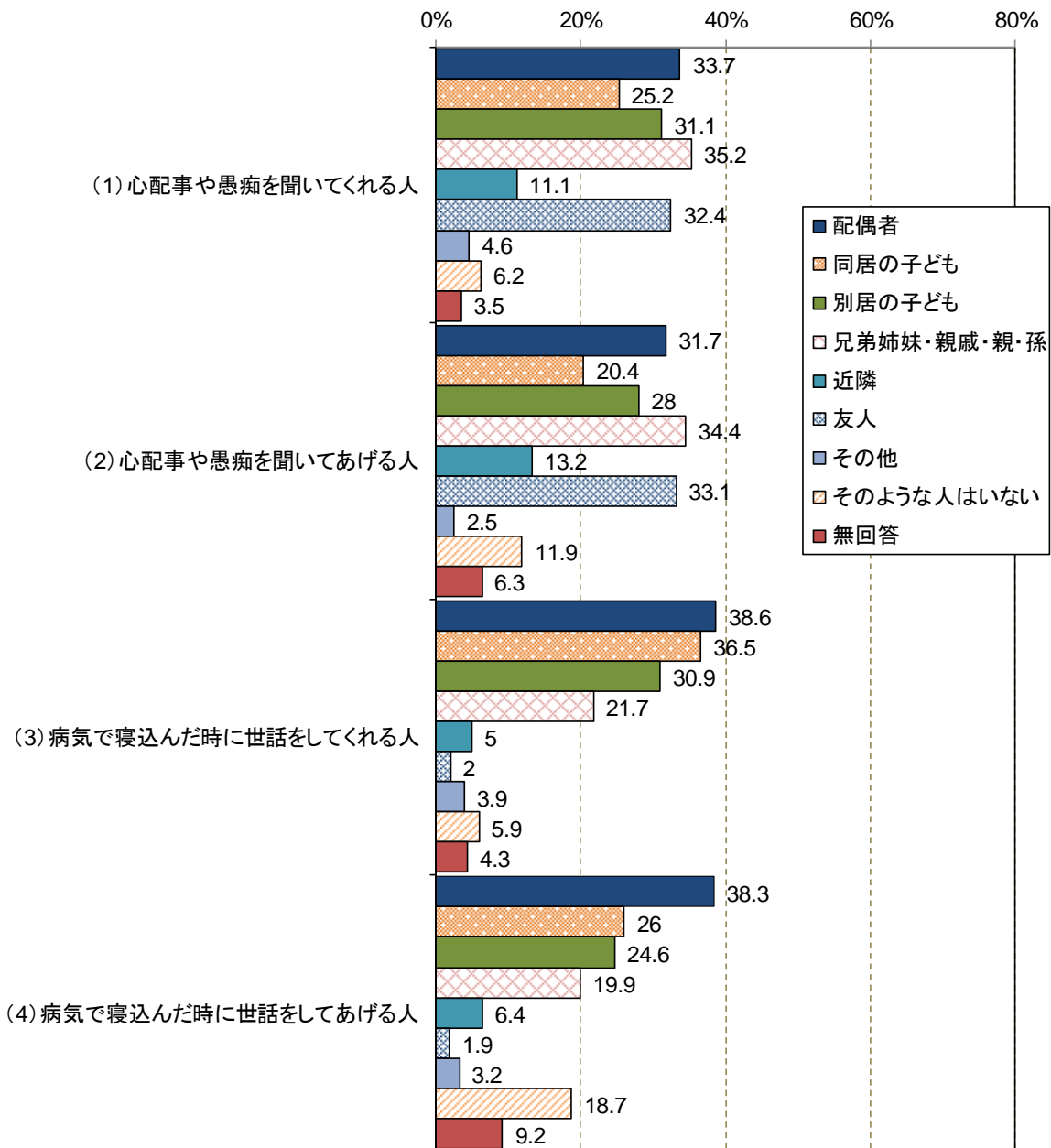
(回答者:593人)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいかでは、「是非参加したい」（0.9%）、「参加してもよい」（26.1%）を合わせると、27.0%に参加意向がある。

また、「参加したくない」と回答した593人に、参加したくない理由を尋ねると、「おっくう」が25.3%と最も多く、次いで「忙しい・時間が無い」（15.2%）、「集団での行動が苦手」（14.3%）と続いている。

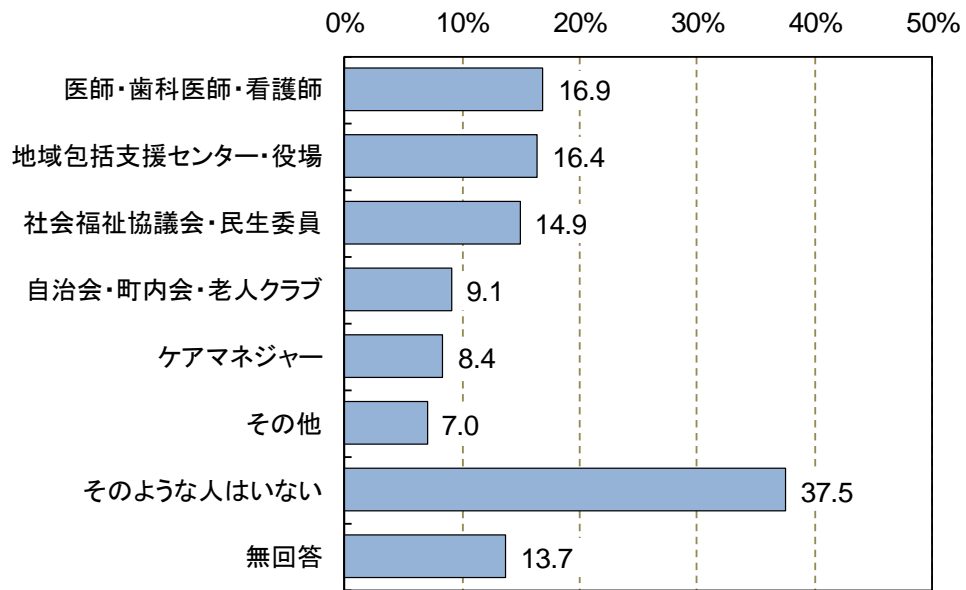
問6 たすけあいについて

- (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)



あなたとまわりの人の「たすけあい」については、「心配事や愚痴を聞いてくれる人」、「心配事や愚痴を聞いてあげる人」では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が最も多く、「病気で寝込んだときに世話をしてくれる人」、「病気で寝込んだときに世話をしてあげる人」では、「配偶者」が最も多くなっている。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

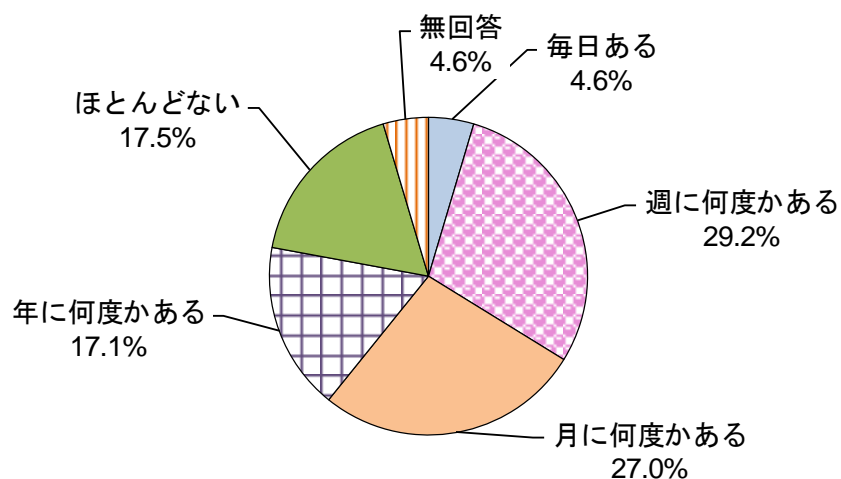


(回答者: 1,000人)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が16.9%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役場」(16.4%)、「社会福祉協議会・民生委員」(14.9%)と続いている。

また、37.5%が「そのような人はいない」と回答している。

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つ)

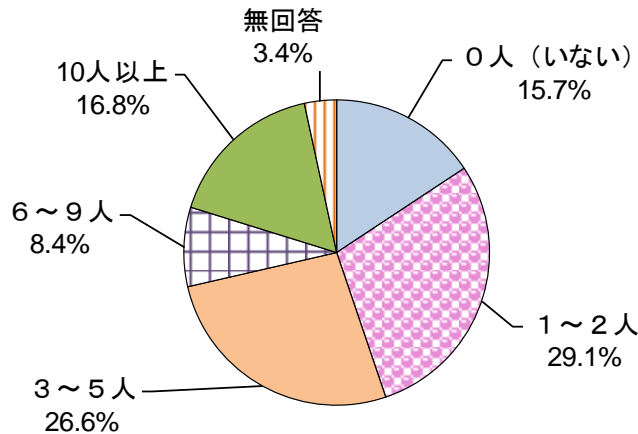


(回答者: 1,000人)

友人・知人と会う頻度は「週に何度かある」が29.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」(27.0%)、「年に何度かある」(17.1%)と続いている。

また、「ほとんどない」の回答も17.5%あった。

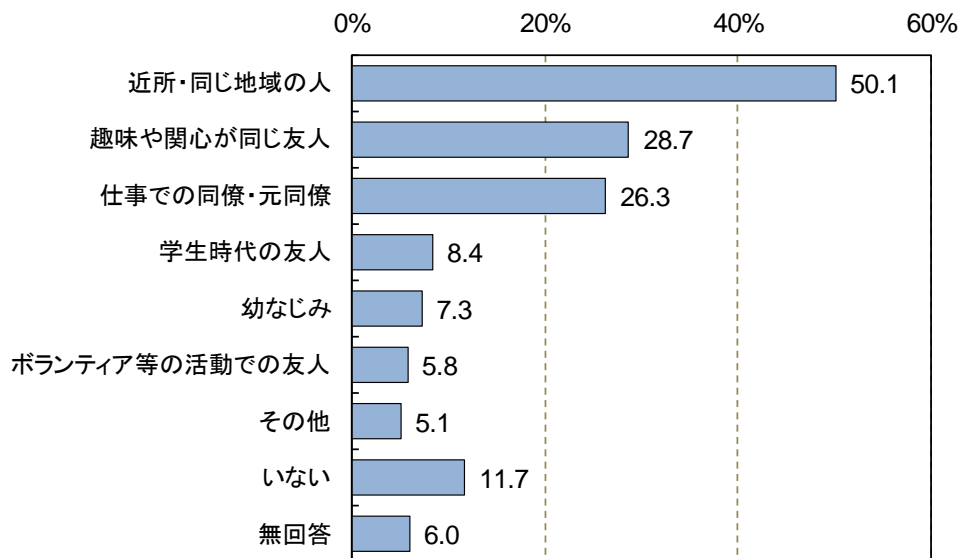
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします(1つ)



(回答者:1,000人)

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、「1～2人」が29.1%と最も多く、次いで「3～5人」(26.6%)、「10人以上」(16.8%)、「6～9人」(8.4%)と続いている。

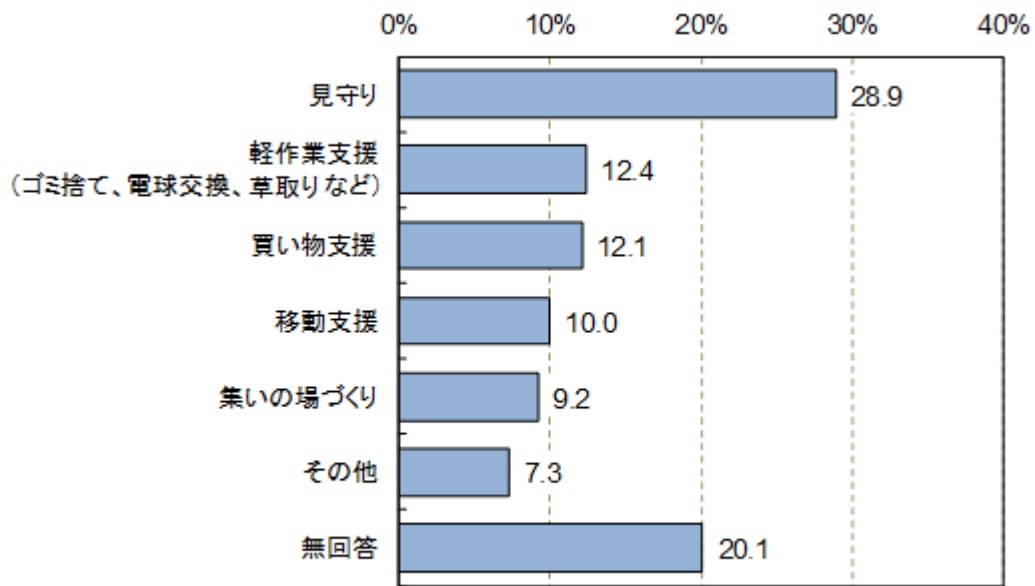
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)



(回答者:1,000人)

よく会う友人・知人はどんな関係かは、「近所・同じ地域の人」が50.1%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(28.7%)「仕事での同僚・元同僚」(26.3%)と続いている。

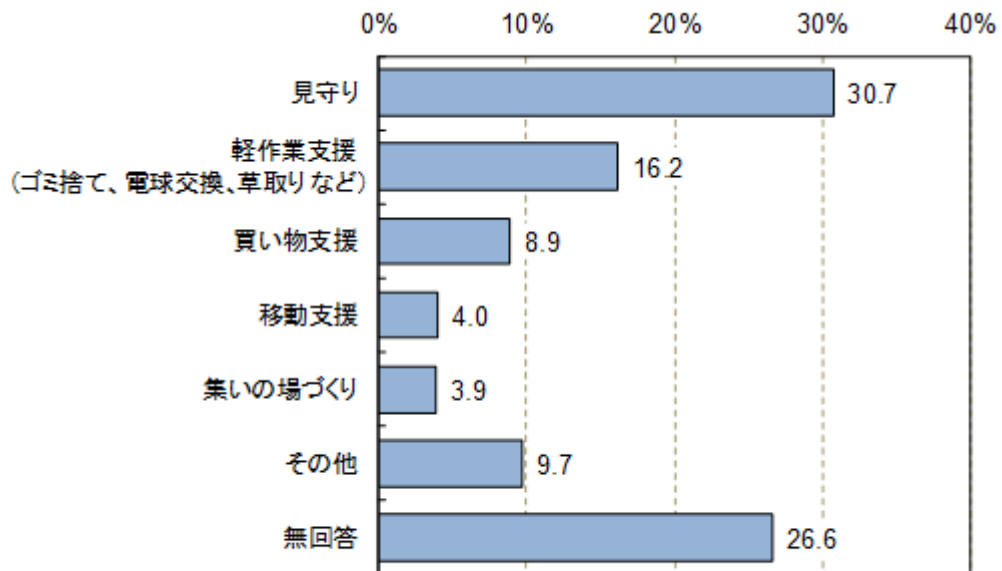
(9) あなた自身が1番必要だと感じる支え合いはなんですか(1つ)



(回答者:1,000人)

あなた自身が1番必要だと感じる支え合いは、「見守り」が28.9%と最も多く、次いで「軽作業支援(ゴミ捨て、電球交換、草取り など) (12.4%)」「買い物支援」(12.1%)と続いている。

(10) あなた自身ができる支え合いはなんですか(1つ)

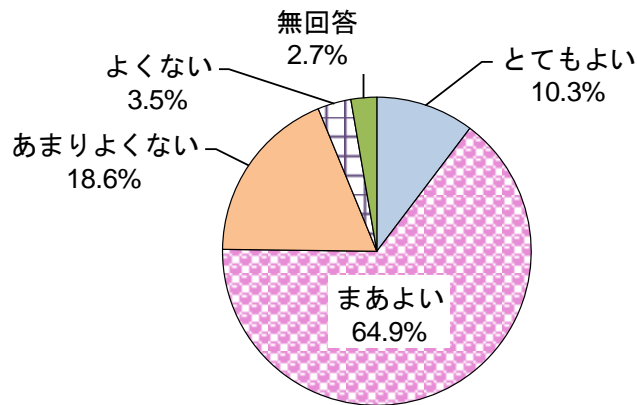


(回答者:1,000人)

あなた自身ができる支え合いは、「見守り」が30.7%と最も多く、次いで「軽作業支援(ゴミ捨て、電球交換、草取り など) (16.2%)」「買い物支援」(8.9%)と続いている。

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つ)

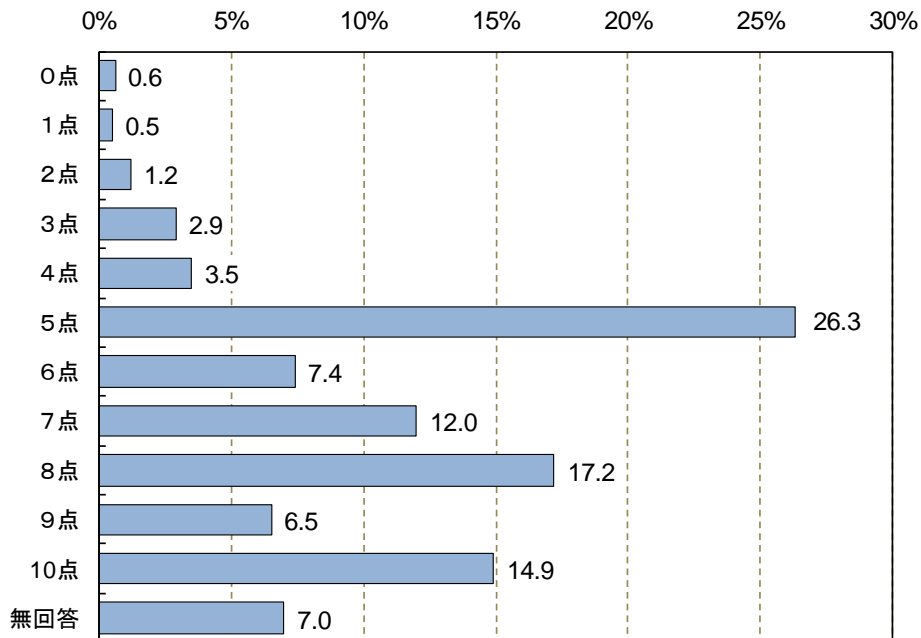


(回答者: 1,000人)

現在の健康状態は、「とてもよい」(10.3%)、「まあよい」(64.9%)を合わせると、75.2%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」(3.5%)、「あまりよくない」(18.6%)を合わせると、22.1%が健康状態はよくないと回答している。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (1つ)

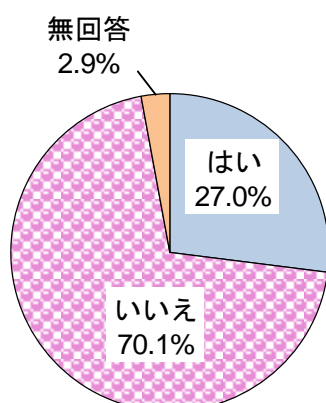
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



(回答者: 1,000人)

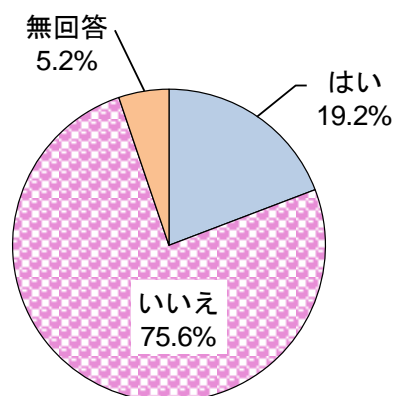
現在どの程度幸せかは、ちょうど中間にあたる「5点」が26.3%と最も多く、次いで「8点」(17.2%)、「10点」(14.9%)、「7点」(12.0%)と続いており、5点以上の回答が8割以上となっている。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つ)



(回答者:1,000人)

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つ)

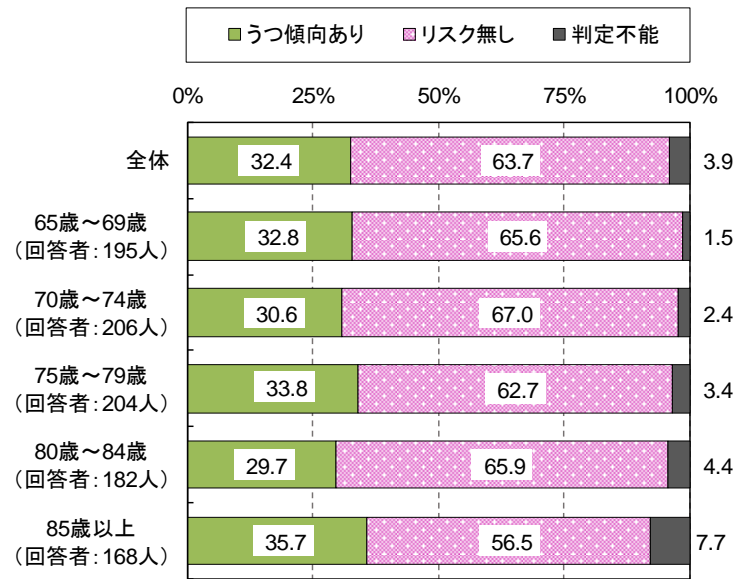


(回答者:1,000人)

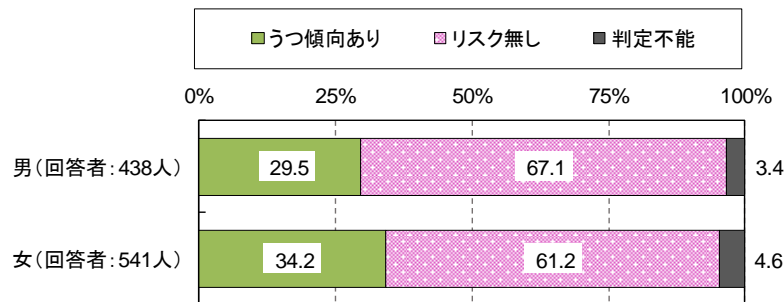
(3) (4) はうつ傾向を問う設問です。各項目の該当割合は、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか」(27.0%:「はい」)、「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか」(19.2%:「はい」)となっており、いずれか1つの設問に該当すると、うつ傾向と判定される。

◆うつ傾向について

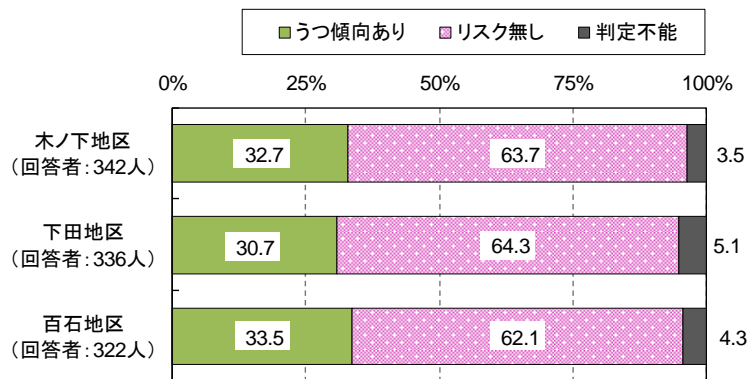
●年齢別うつ傾向



●男女別うつ傾向



●居住地区別うつ傾向



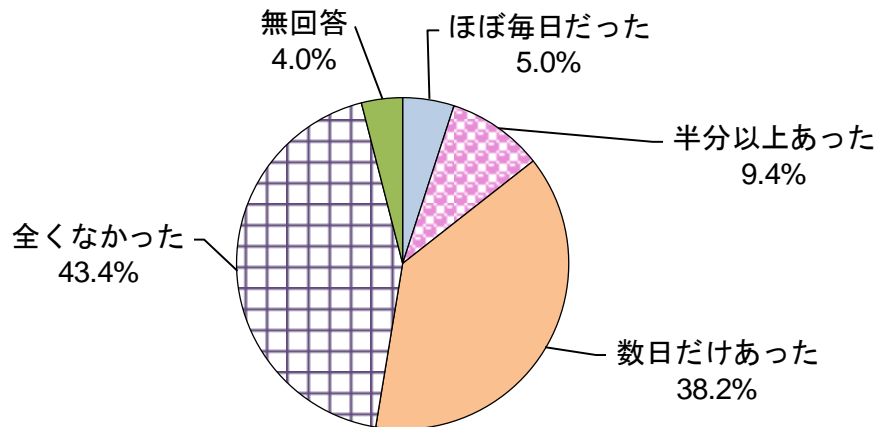
うつ傾向は、全体の32.4%が該当者となっている。

年齢別では、65歳～85歳以上の全年代で3割前後が該当者となっている。

男女別では、「男」の29.5%、「女」の34.2%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

居住地区別では、「百石地区」の33.5%が最も多く、「木ノ下地区」(32.7%)、「下田地区」(30.7%)となっている。

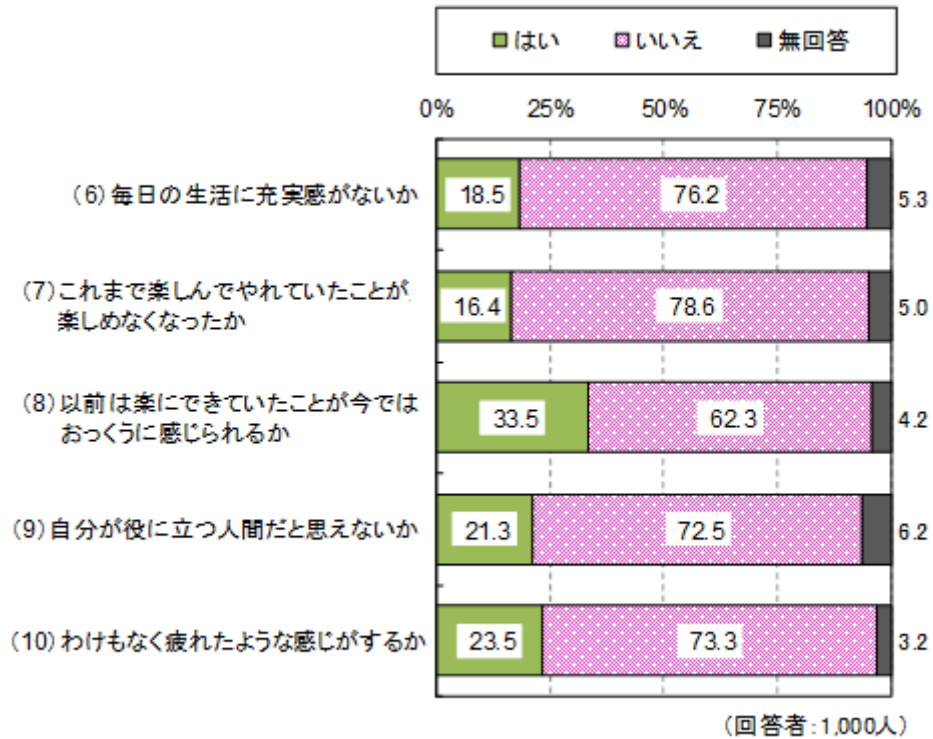
(5) この1か月間で、普段より2時間以上早く目が覚めて、その後眠れないことがありましたか(1つ)



(回答者:1,000人)

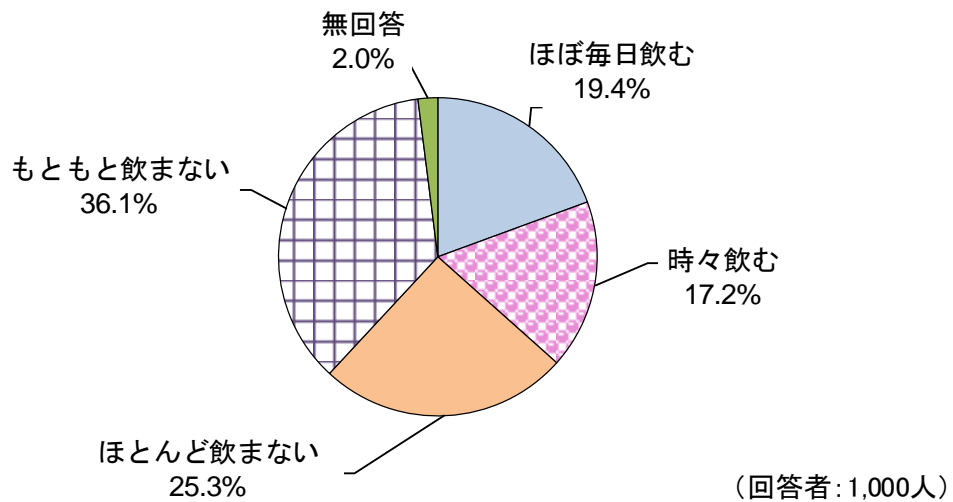
普段より2時間以上早く目が覚めて、その後眠れないことがあるかについては、「全くなかった」が43.4%で最も多く、次いで「数日だけあった」(38.2%)、「半分以上あった」(9.4%)、「ほぼ毎日だった」(5.0%)となっている。

- (6) この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じますか
 (7) この1か月間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか
 (8) この1か月間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じるようになりましたか
 (9) この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じますか
 (10) この1か月間、わけもなく疲れを感じることはありませんか (それぞれ1つ)



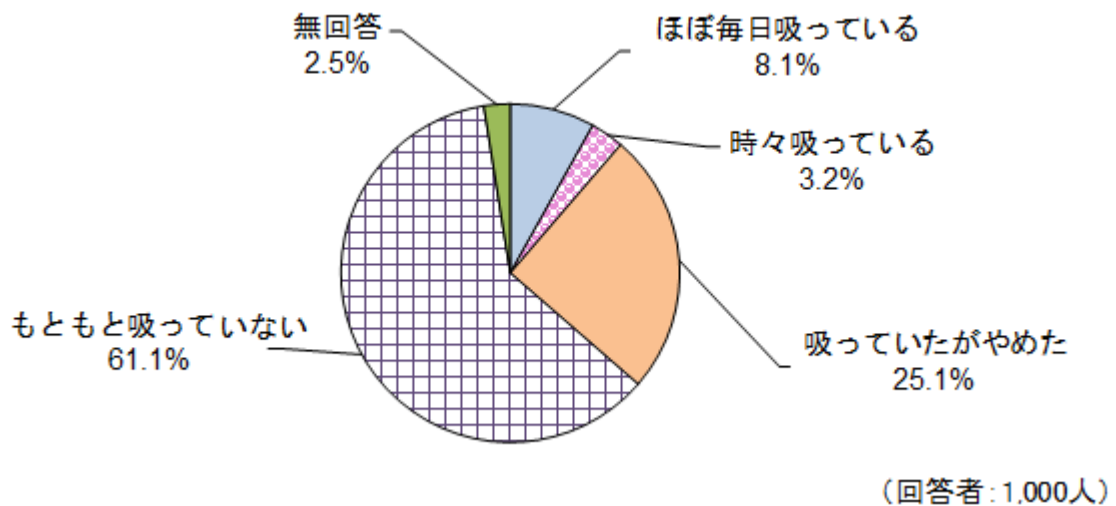
この1か月の状況について「はい」の回答割合が最も高かった項目は、「(8) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられるか」で33.5%となっている。以下「(10) わけもなく疲れたような感じがするか」(23.5%)、「(9) 自分が役に立つ人間だと思えないか」(21.3%)、「(6) 毎日の生活に充実感がないか」(18.5%)、「(7) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったか」(16.4%)と続いている。

(11) お酒は飲みますか (1つ)



飲酒については、「もともと飲まない」が36.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(25.3%)、「ほぼ毎日飲む」(19.4%)、「時々飲む」(17.2%)となっている。

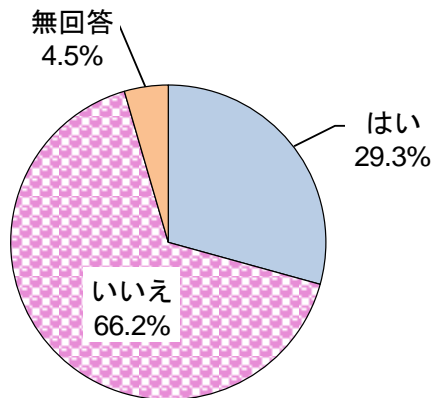
(12) タバコは吸っていますか (1つ)



喫煙については、「もともと吸っていない」が61.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(25.1%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.1%)、「時々吸っている」(3.2%)となっている。

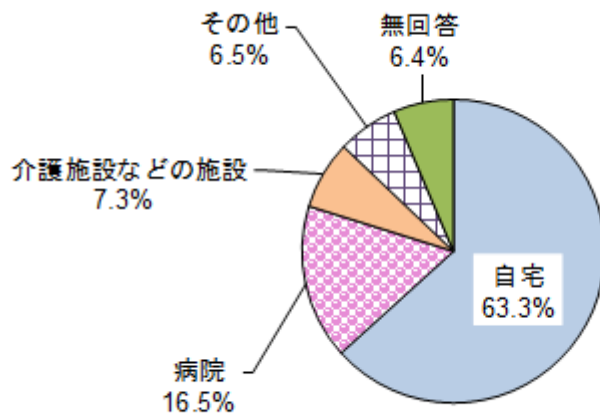
問8 終活について

(1) 終活について何か考えていること、準備していることはありますか (1つ)



(回答者:1,000人)

(2) 人生の最期の時をどこで迎えたいですか (1つ)



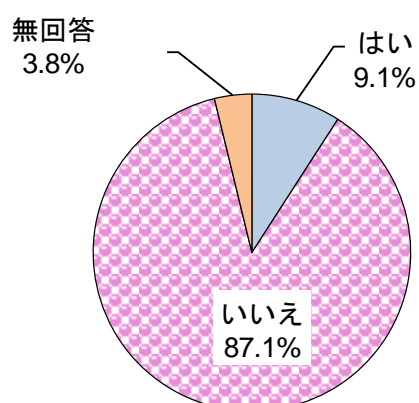
(回答者:1,000人)

終活（人生の最期に向けた活動）について考えていること、準備をおこなっているかは「はい」が29.3%、「いいえ」が66.2%となっている。

また、人生の最期をどこで迎えたいかは、「自宅」が63.3%で最も多く、次いで「病院」（16.5%）、「介護施設などの施設」（7.3%）となっている。

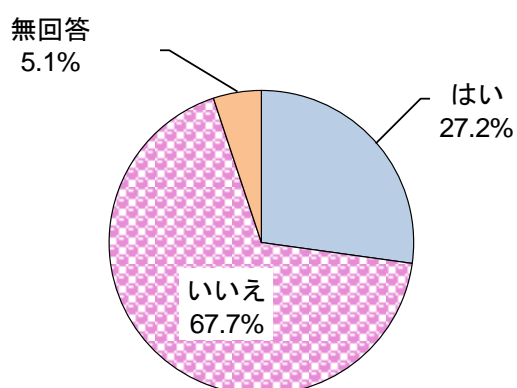
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つ)



(回答者: 1,000人)

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つ)



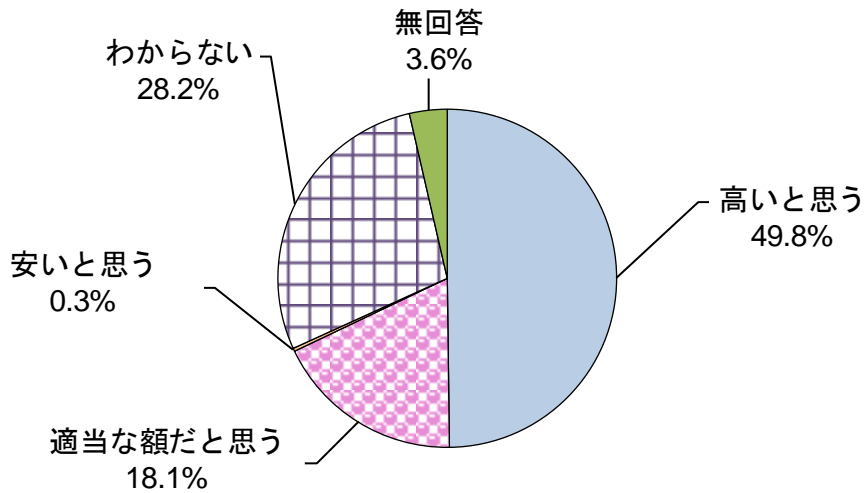
(回答者: 1,000人)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは「はい」が9.1%、「いいえ」が87.1%となっている。

また、認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が27.2%、「いいえ」が67.7%となっている。

問10 おいらせ町の介護保険料について

(1) 現在の介護保険料(基準額 月額6,750円)についてどのように思いますか(1つ)
 (参考) 全国平均5,869円、青森県平均6,588円

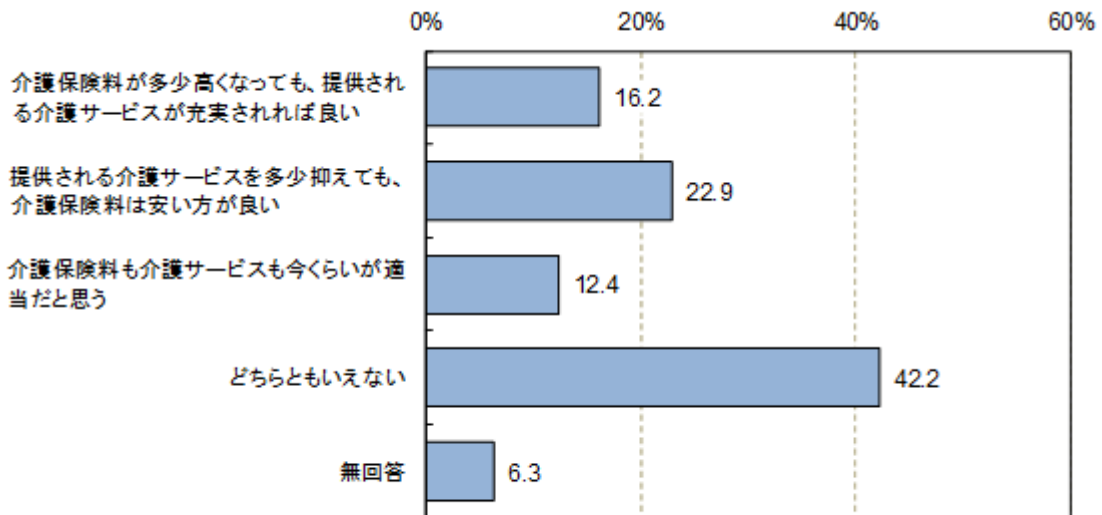


(回答者:1,000人)

現在の介護保険料については、「高いと思う」が49.8%で約半数を占め、次いで「適当な額だと思う」(18.1%)、「安いと思う」(0.3%)と回答している。

また、約3割が「わからない」と回答している。

(2) 介護保険料は、要介護認定者数の増加や利用回数の増加、介護サービスの充実に伴って高くなっていきます。介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか(1つ)

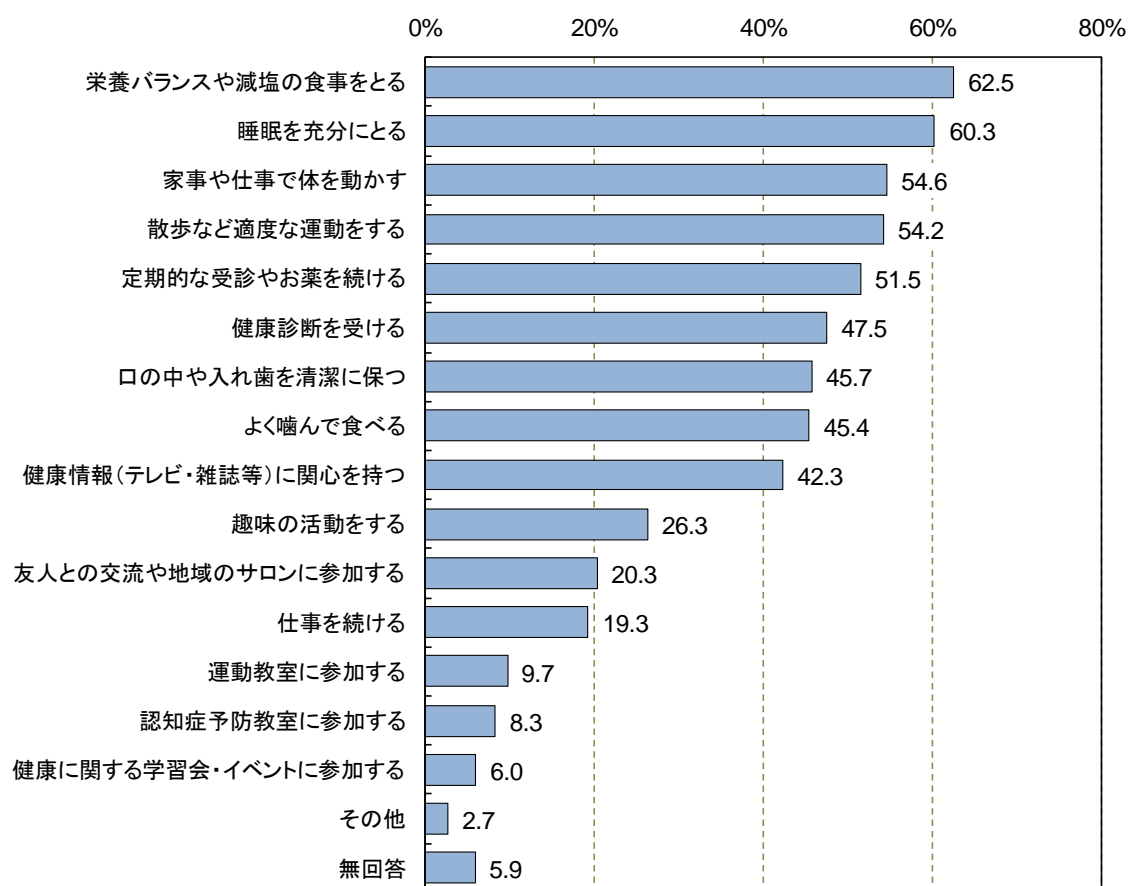


(回答者:1,000人)

介護保険料と介護サービスのあり方については、「提供される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は安い方が良い」が22.9%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなって、提供される介護サービスが充実すれば良い」(16.2%)と回答している。

また、4割以上が「どちらともいえない」と回答している。

(3) 介護保険料を高くしないようにしていくためには、要介護状態にならないようにすることが大切です。健康づくりのために気を付けていることはありますか（いくつでも）



(回答者: 1,000人)

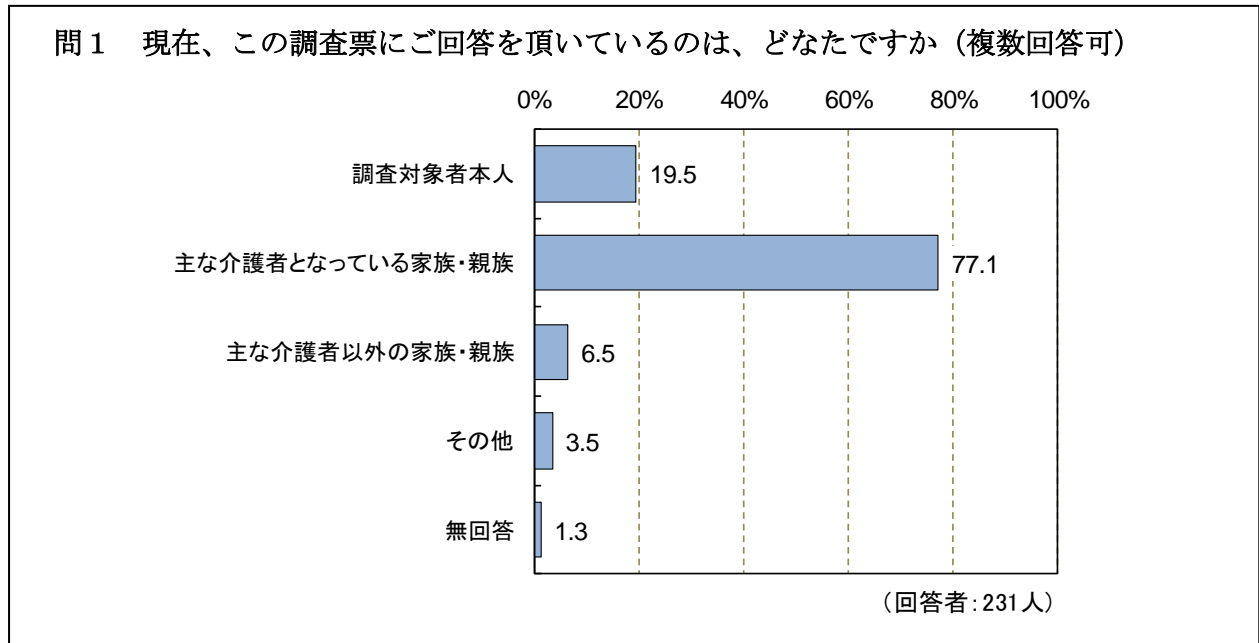
健康づくりのために気を付けていることは、「栄養バランスや減塩の食事をとる」が62.5%で最も多く、次いで「睡眠を充分にとる」(60.3%)、「家事や仕事で体を動かす」(54.6%)、「散歩など適度な運動をする」(54.2%)と続いている。

Ⅲ 在宅介護実態調査

Ⅲ 在宅介護実態調査

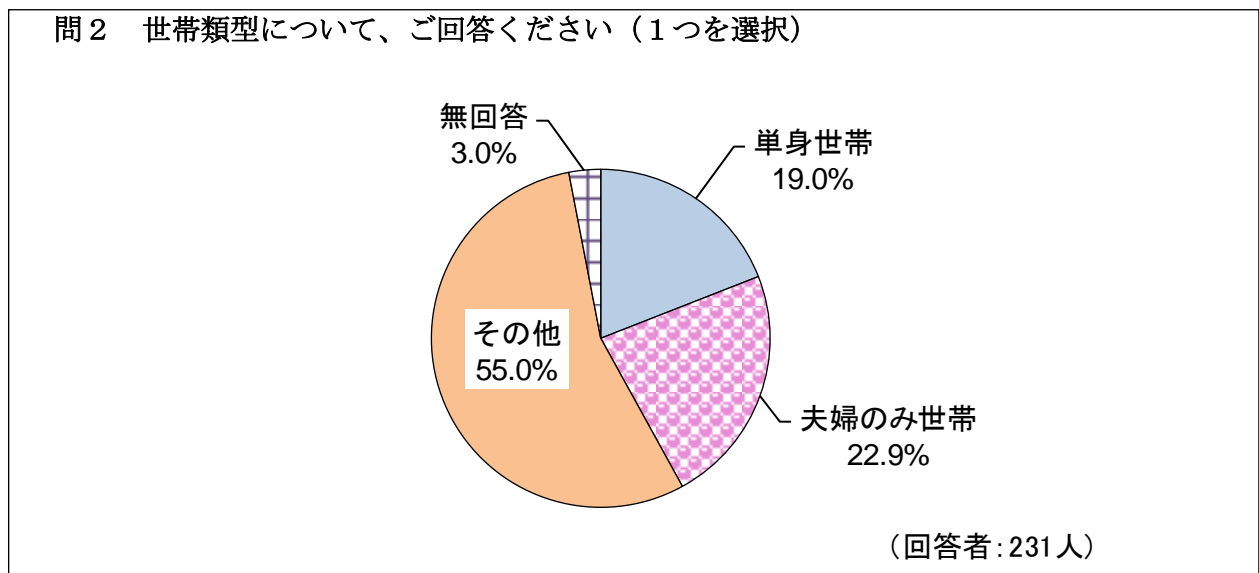
1 A票 調査対象者本人について

(1) 調査表記入者



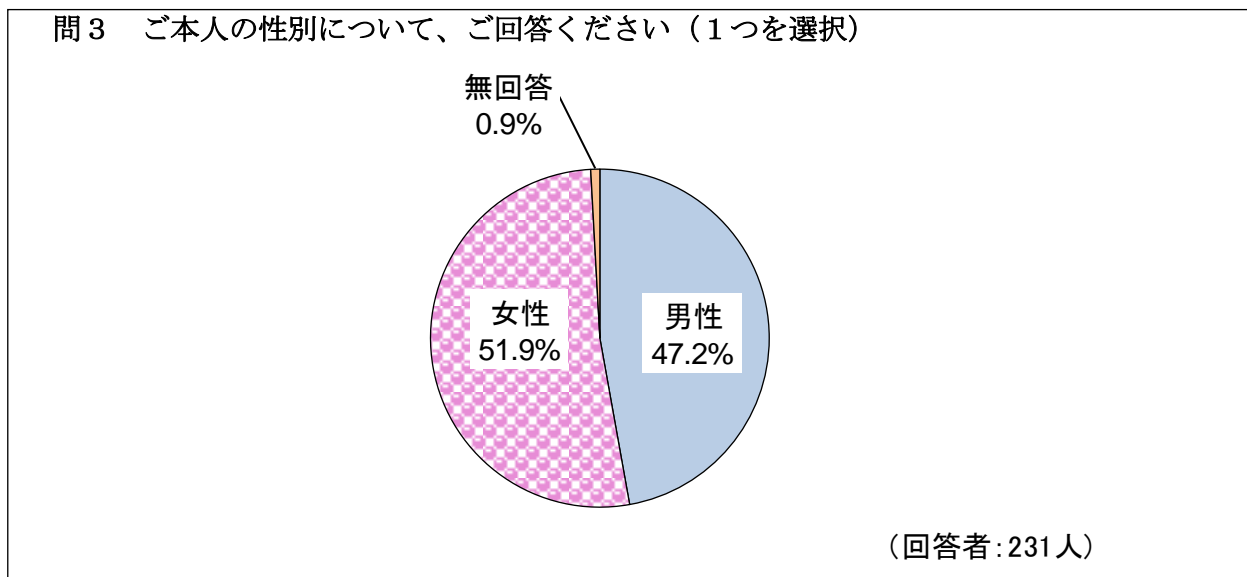
調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が77.1%、「調査対象者本人」が19.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が6.5%となっている。

(2) 世帯



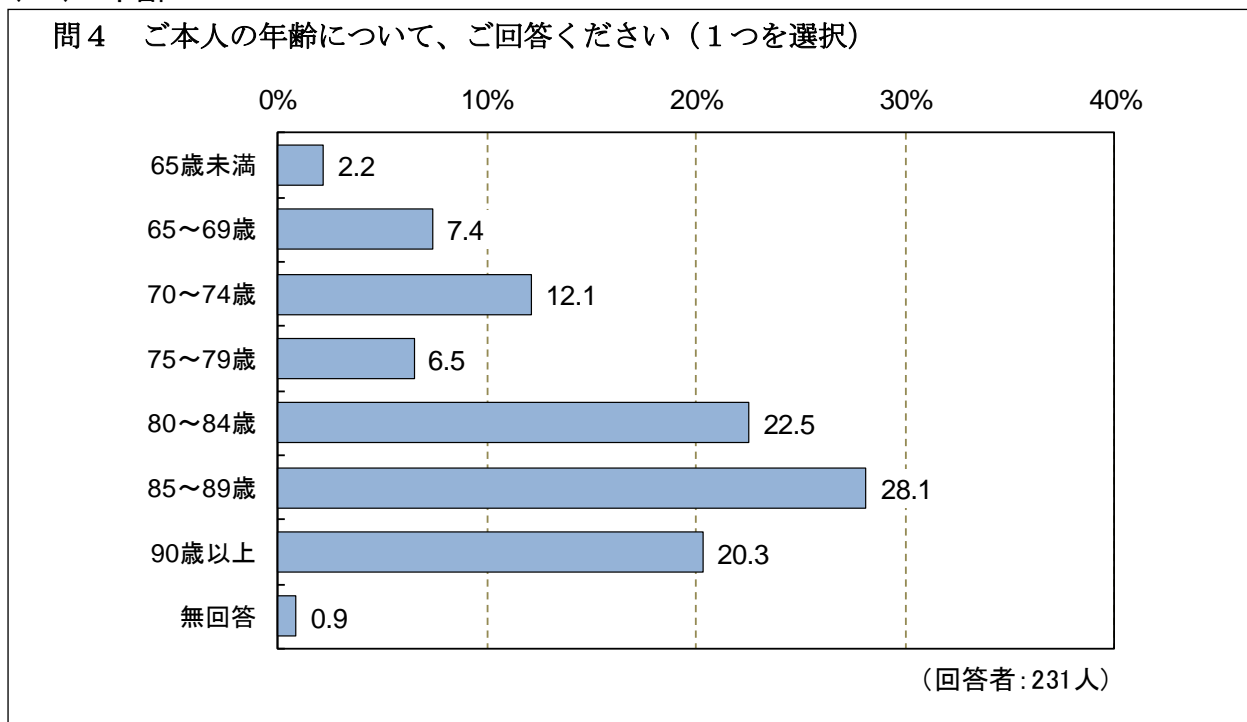
世帯は、「単身世帯」が19.0%、「夫婦のみ世帯」が22.9%、「その他」が55.0%となっている。

(3) 性別



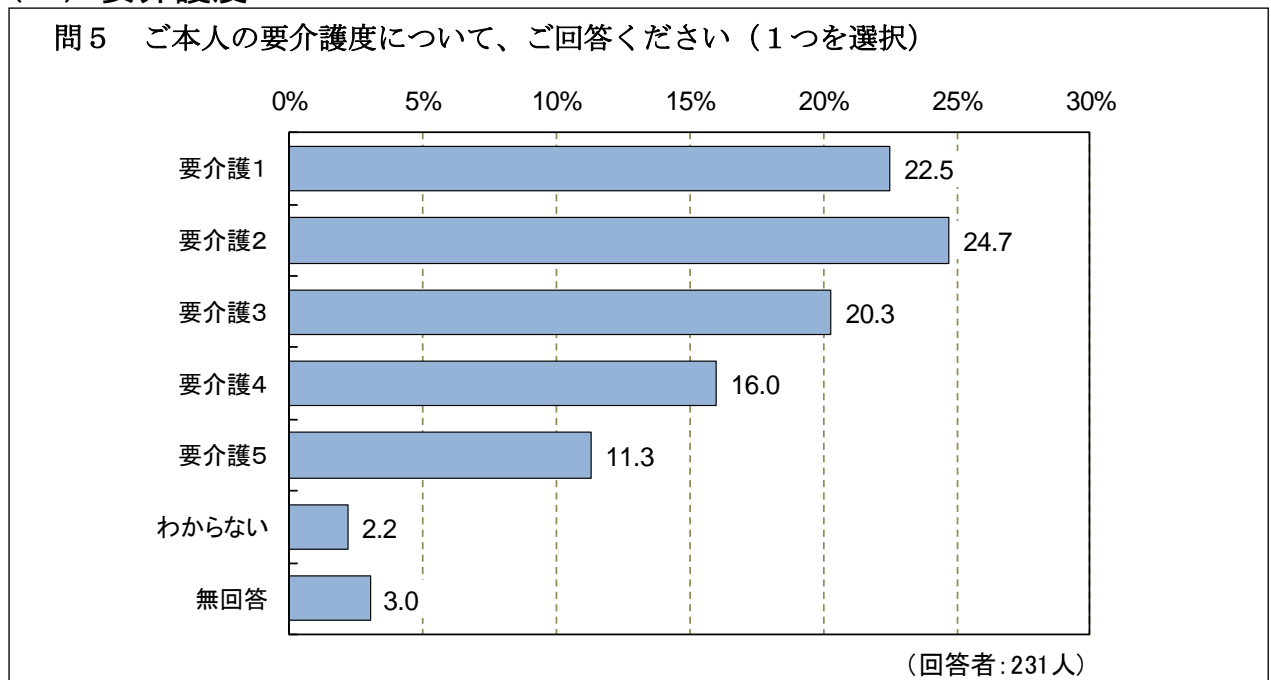
性別は、「男性」が47.2%、「女性」が51.9%となっている。

(4) 年齢



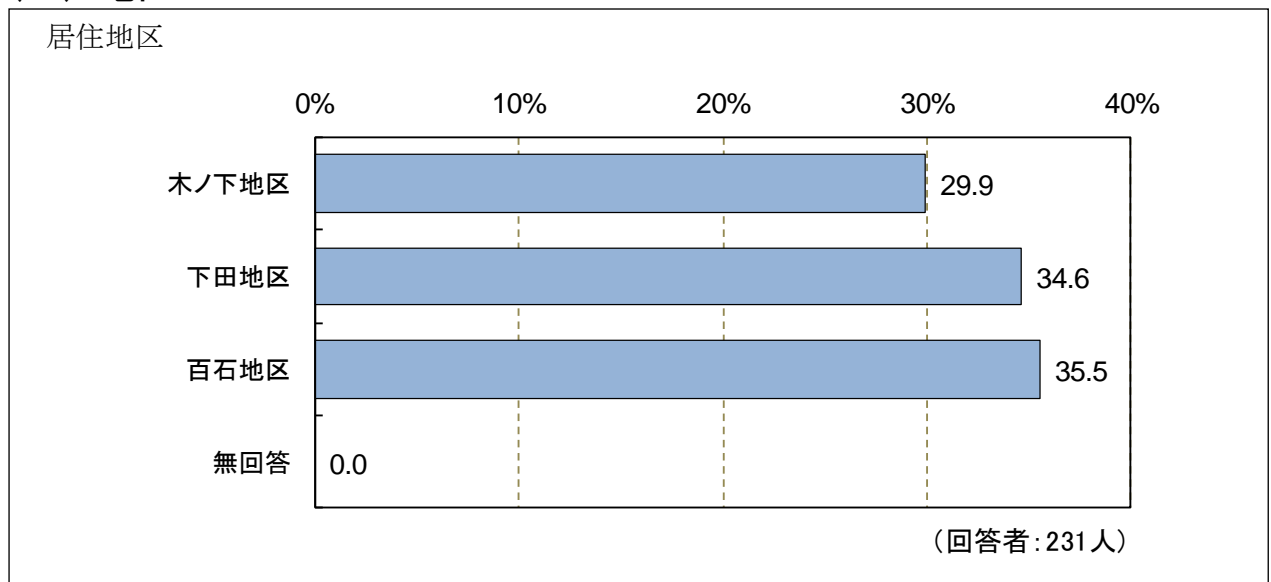
年齢は、「85～89歳」が28.1%で最も多く、次いで「80～84歳」（22.5%）、「90歳以上」（20.3%）、「70～74歳」（12.1%）、「65～69歳」（7.4%）、「75～79歳」（6.5%）、「65歳未満」（2.2%）となっている。

(5) 要介護度



要介護度は、「要介護2」が24.7%と最も多く、次いで、「要介護1」（22.5%）、「要介護3」（20.3%）、「要介護4」（16.0%）、「要介護5」（11.3%）となっている。

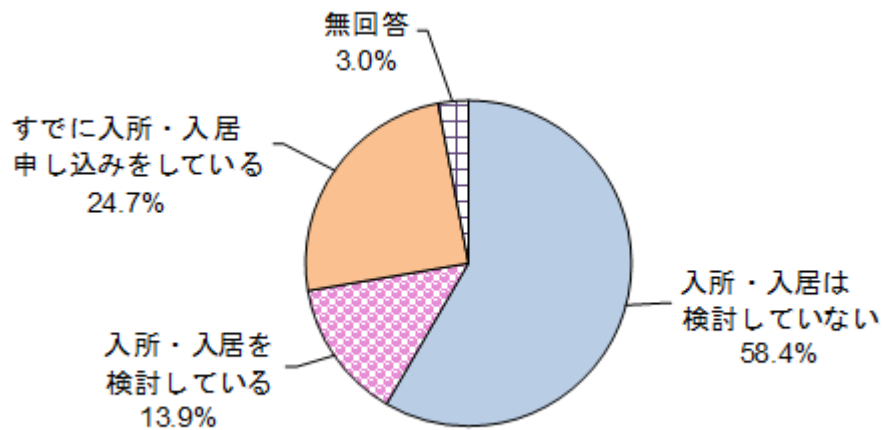
(6) 地区



居住地区は、「百石地区」が35.5%と最も多く、次いで「下田地区」（34.6%）、「木ノ下地区」（29.9%）となっている。

(7) 施設等への入所・入居の検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

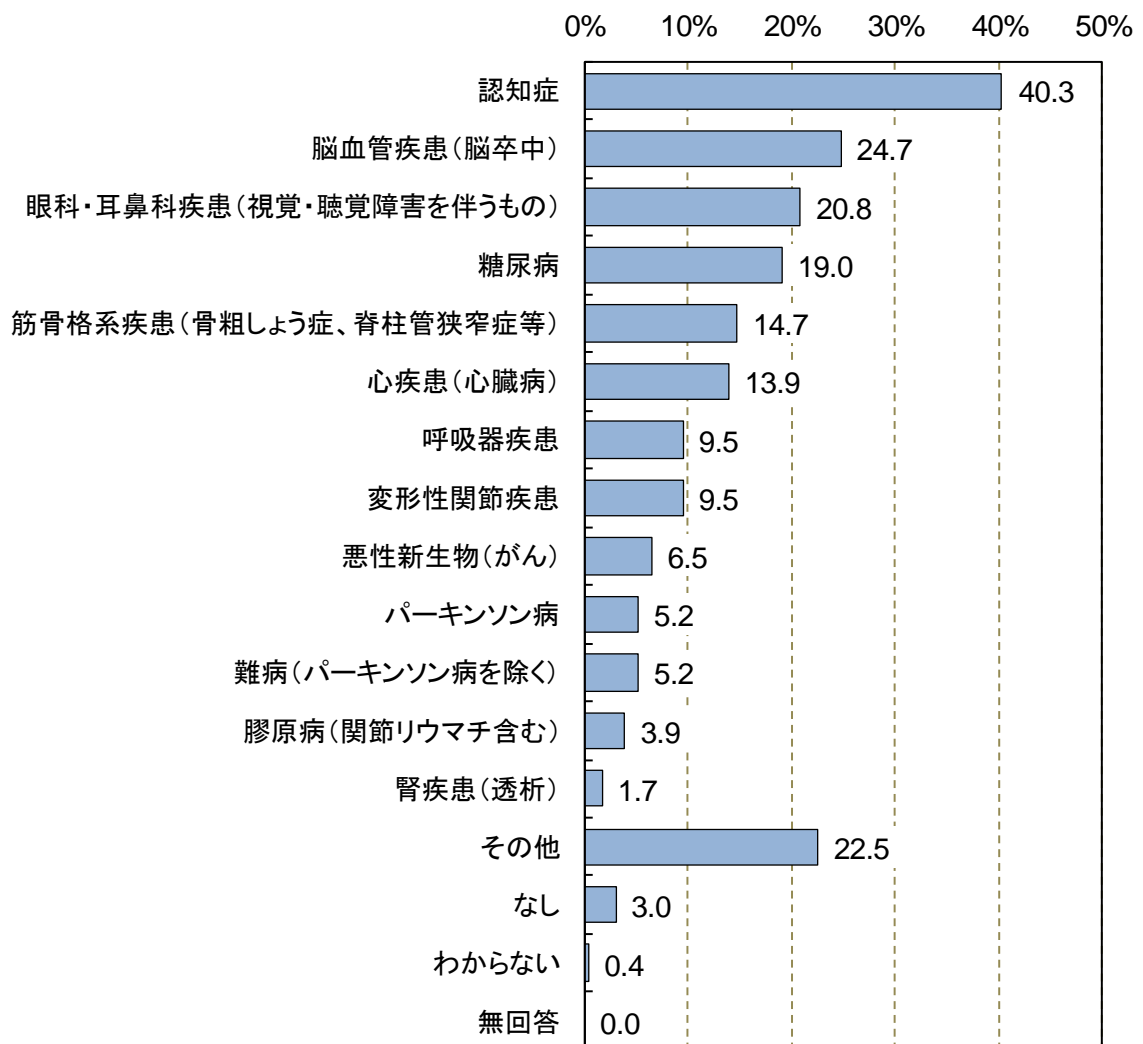


(回答者:231人)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が58.4%と最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」(24.7%)、「入所・入居を検討している」(13.9%)となっている。

(8) 現在抱えている傷病について

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）

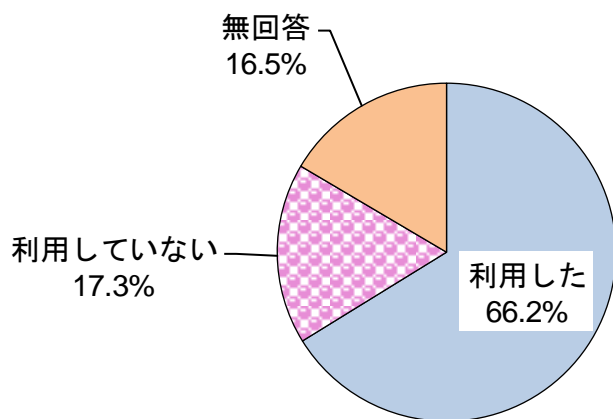


(回答者: 231人)

現在抱えている傷病は、「認知症」が40.3%と最も多く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」（24.7%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（20.8%）と続いている。また、3.0%が「なし」と回答している。

(9) 介護保険サービスを利用について

問8 令和元年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)



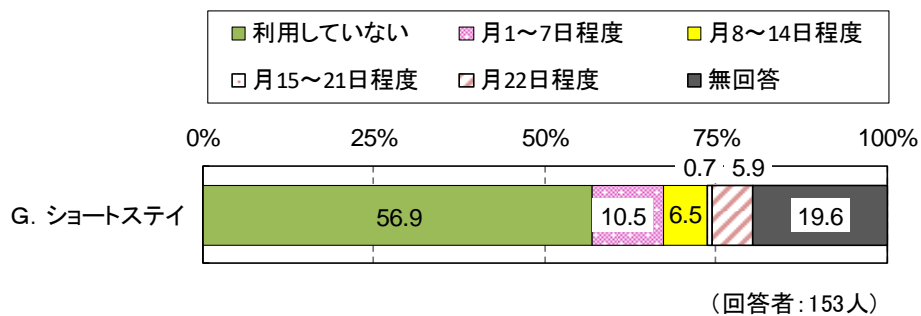
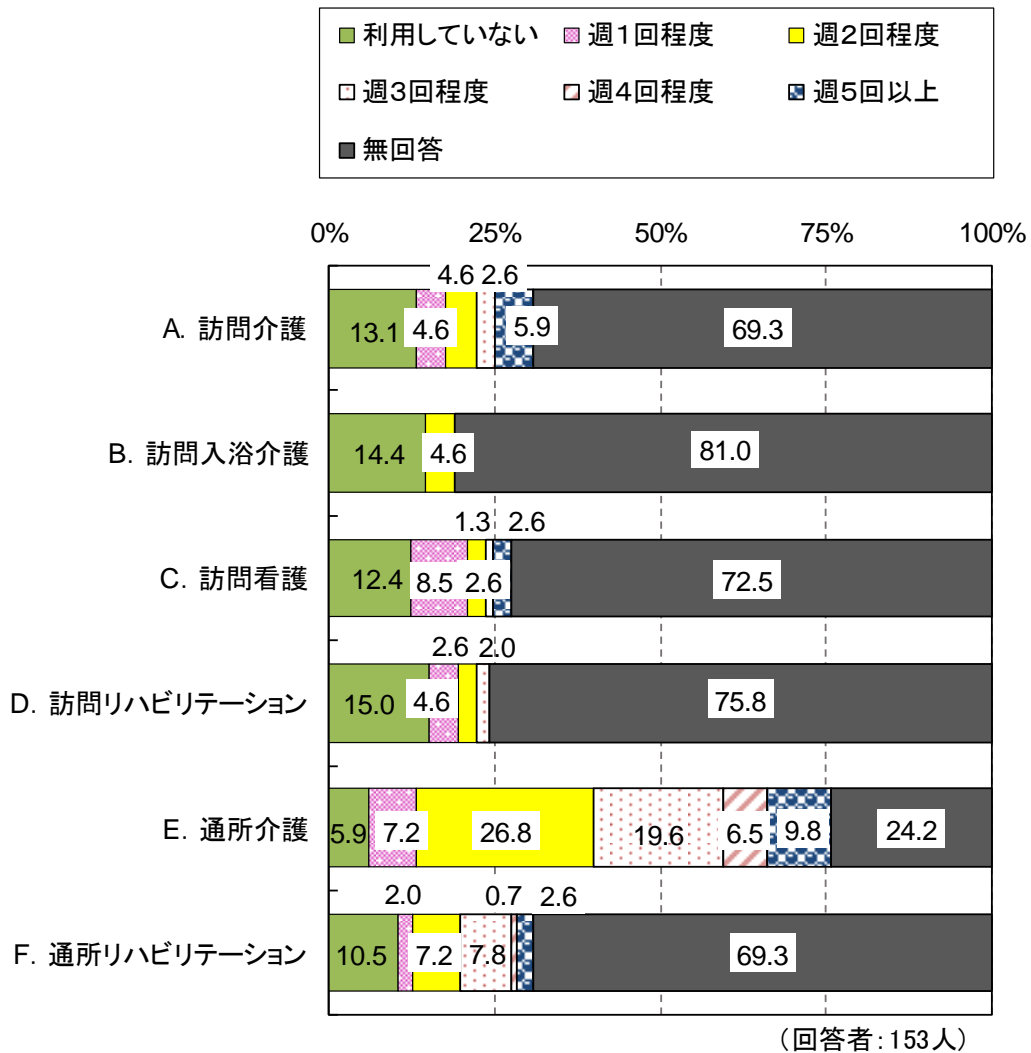
(回答者: 231人)

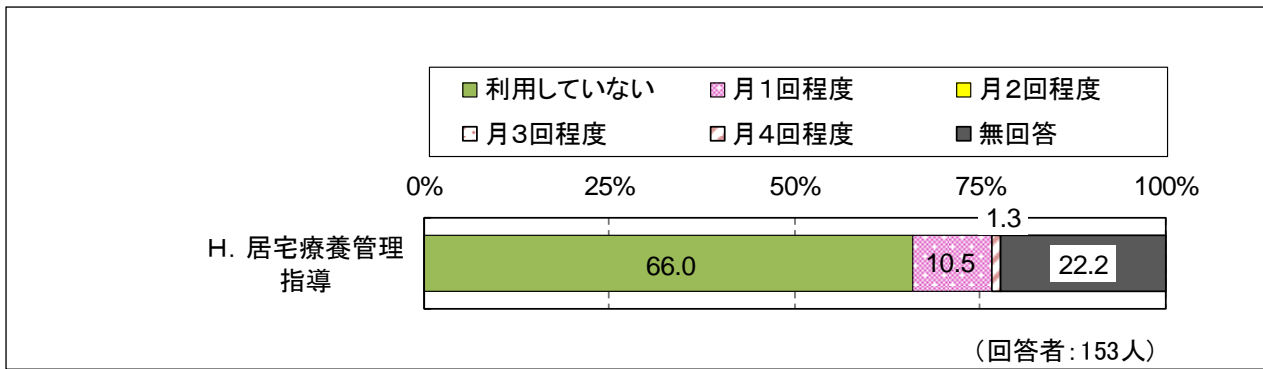
令和元年10月の1か月の間に、介護保険サービスを利用したかは、「利用した」が66.2%、「利用していない」が17.3%となっている。

(10) 介護保険サービスを利用状況について

問9 問8で「1.」と回答した方にお伺いします

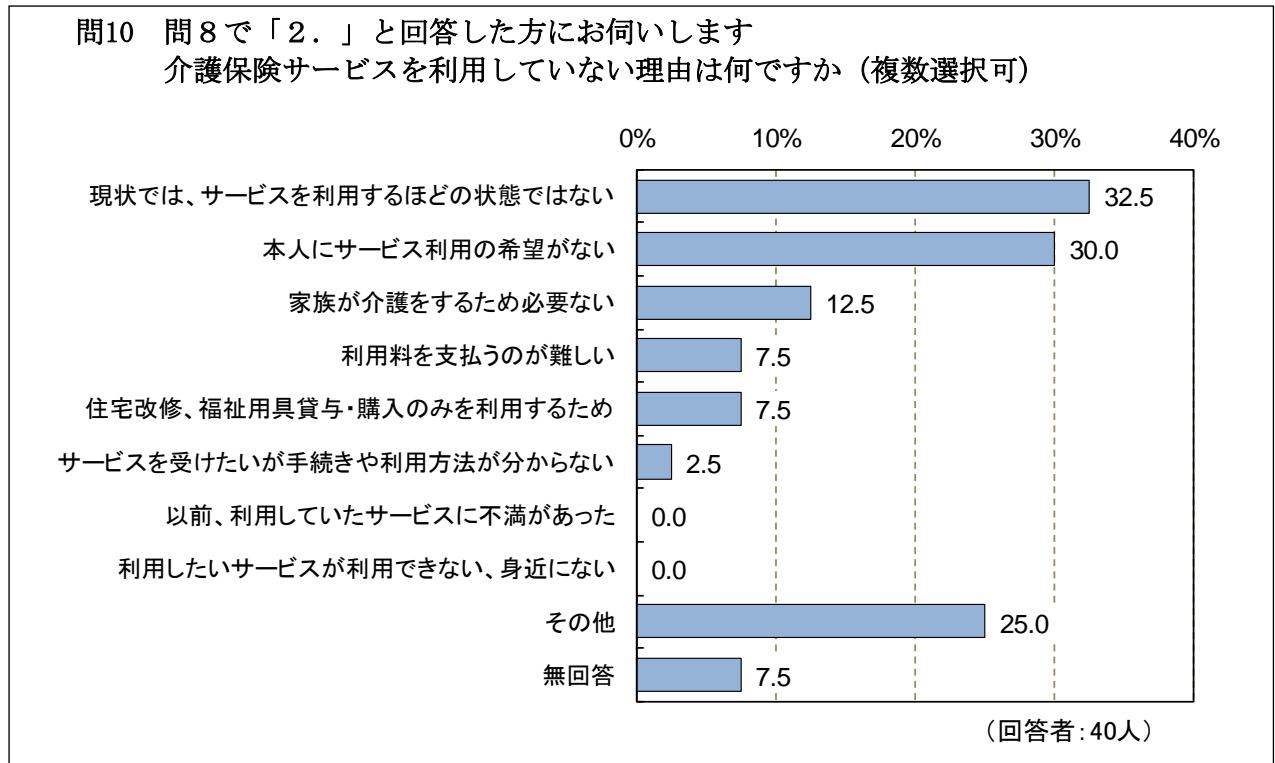
以下の介護保険サービスについて、令和元年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）





各サービスの利用状況は、上記の通りとなっている。

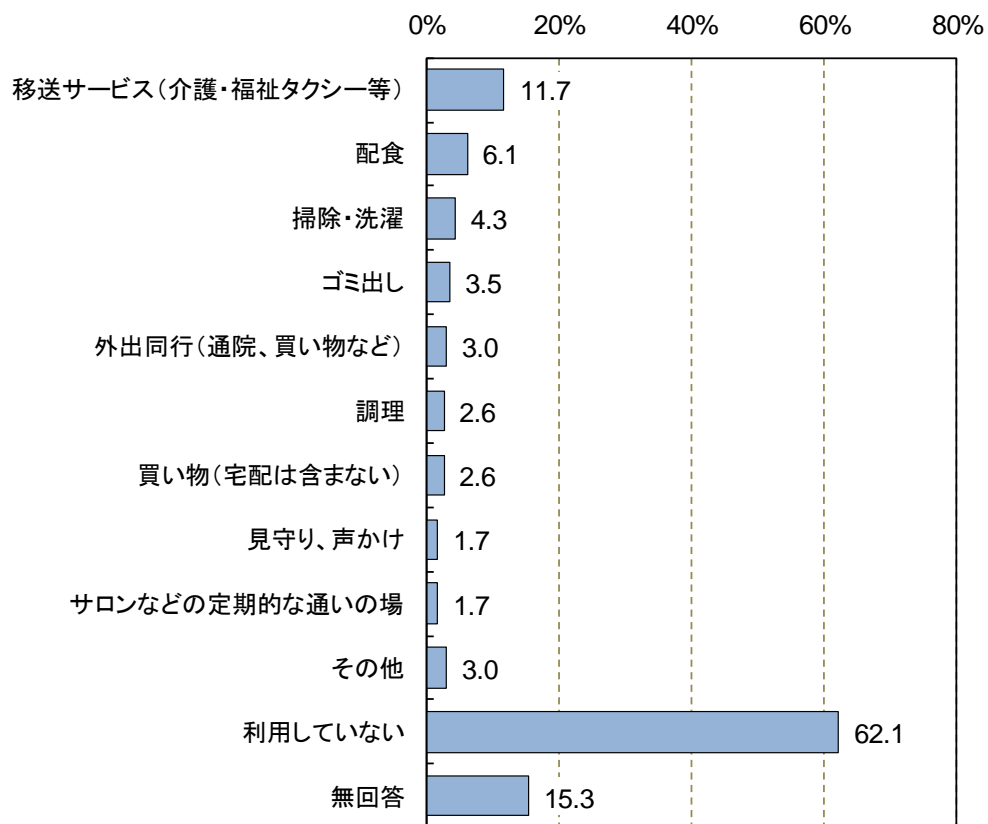
(11) 介護保険サービスを利用していない理由



問8で「2. 利用していない」と回答した40人に、介護保険サービスを利用していない理由を尋ねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が32.5%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（30.0%）、「家族が介護をするため必要ない」（12.5%）と続いている。

(12) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて

問11 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



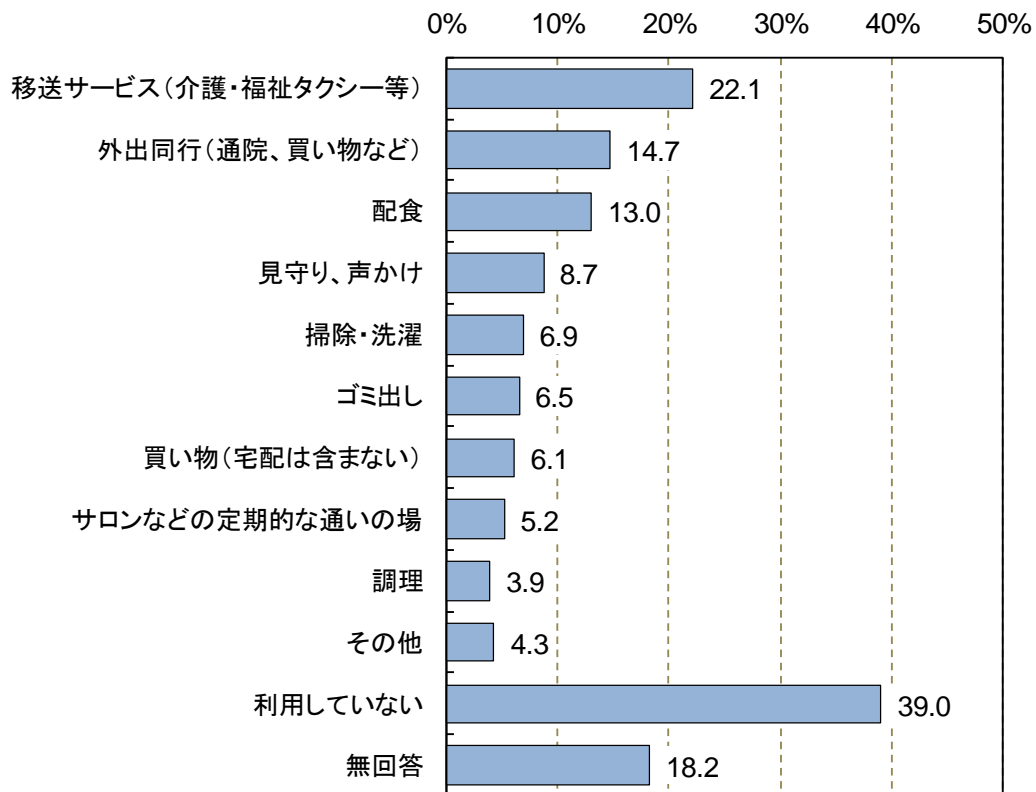
(回答者: 231)

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.7%で最も多く、次いで「配食」（6.1%）、「掃除・洗濯」（4.3%）、「ゴミ出し」（3.5%）と続いている。

また、62.1%は「利用していない」と回答している。

(13) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

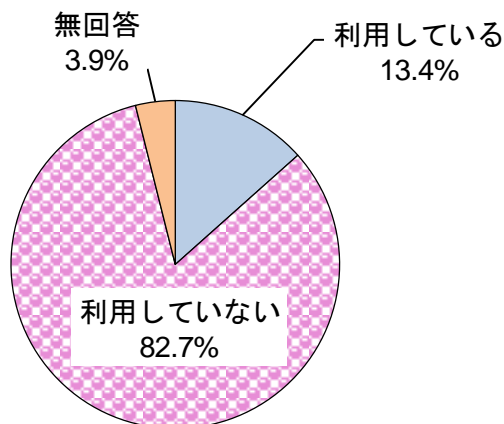


(回答者:231人)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.1%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（14.7%）、「配食」（13.0%）、「見守り、声かけ」（8.7%）と続いている。

(14) 訪問診療について

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



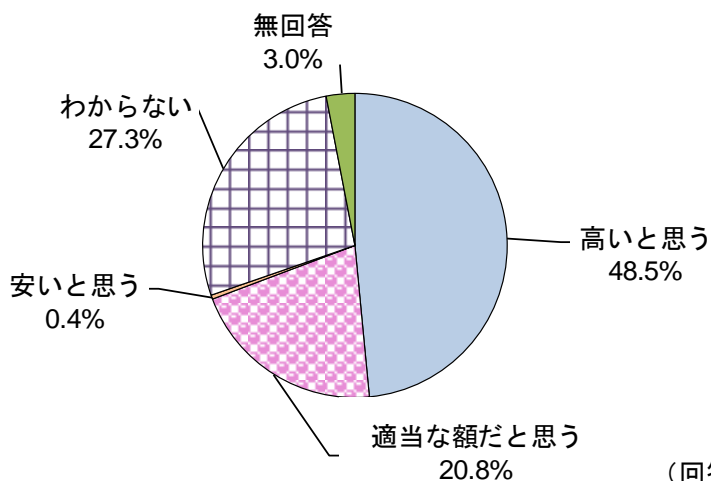
(回答者:231人)

現在、訪問診療を利用しているかは、13.4%が「利用している」と回答している。

(15) 介護保険料について

問14 現在の介護保険料（基準額 月額6,750円）についてどのように思いますか。（1つ）

※参考 全国平均 5,869円、青森県平均6,588円



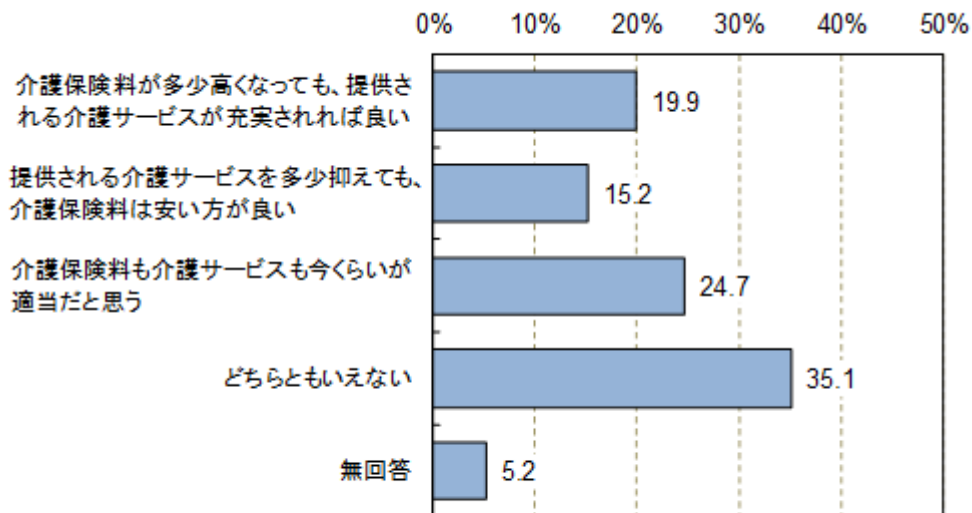
(回答者:231人)

現在の介護保険料（基準額 月額6,750円）についてどう思うかでは、「高いと思う」が48.5%で最も多く、次いで「適当な額だと思う」（20.8%）、「安いと思う」（0.4%）と回答している。

また、27.3%が「わからない」と回答している。

(16) 介護保険料と介護サービスのあり方について

問15 介護保険料は、要介護認定者数の増加や利用回数の増加、介護サービスの充実に伴って高くなっていきます。介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか。（1つ）

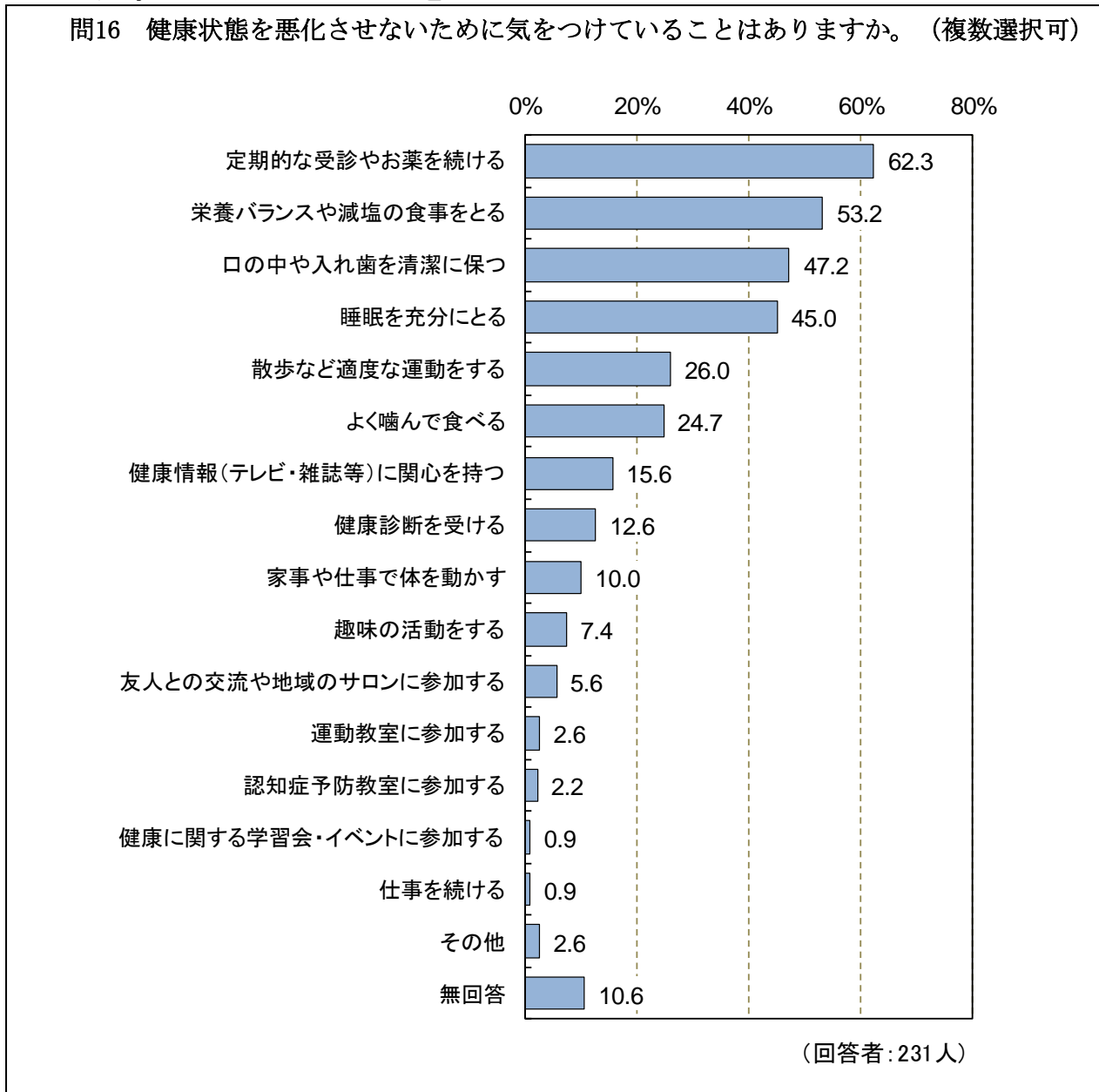


(回答者:231人)

介護保険料と介護サービスのあり方については、「介護保険料も介護サービスも今くらいが適当だと思う」が24.7%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実すれば良い」（19.9%）、「提供される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は安い方が良い」（15.2%）となっている。

また、35.1%が「どちらともいえない」と回答している。

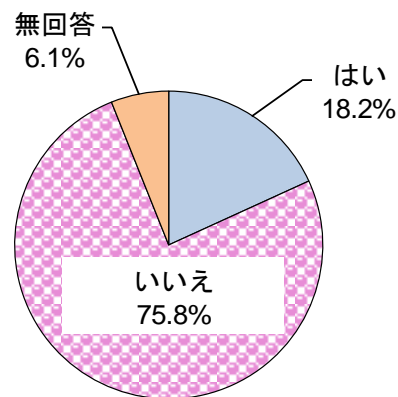
(17) 健康づくりのために気をつけていること



健康づくりのために気をつけていることは、「定期的な受診やお薬を続ける」が62.3%で最も多く、次いで「栄養バランスや減塩の食事をとる」(53.2%)、「口の中や入れ歯を清潔に保つ」(47.2%)、「睡眠を充分にとる」(45.0%)と続いている。

(18) 終活について

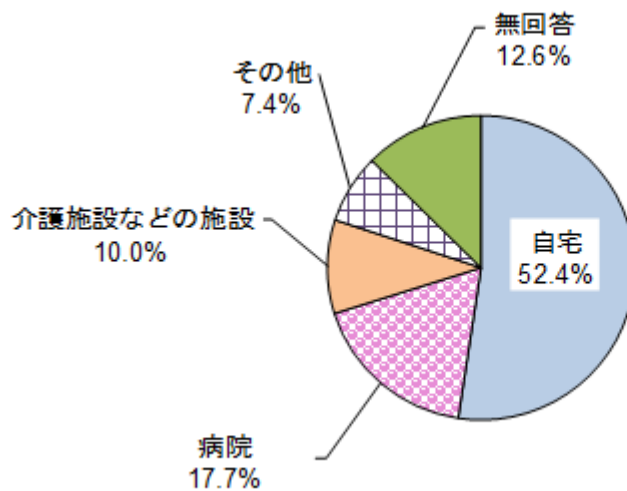
問17 終活について何か考えていること、準備していることはありますか。(1つ)



(回答者:231人)

終活（人生の最期に向けた活動）について考えていること、準備をおこなっているかは「はい」が18.2%、「いいえ」が75.8%となっている。

問18 人生の最期の時をどこで迎えたいですか。(1つ)

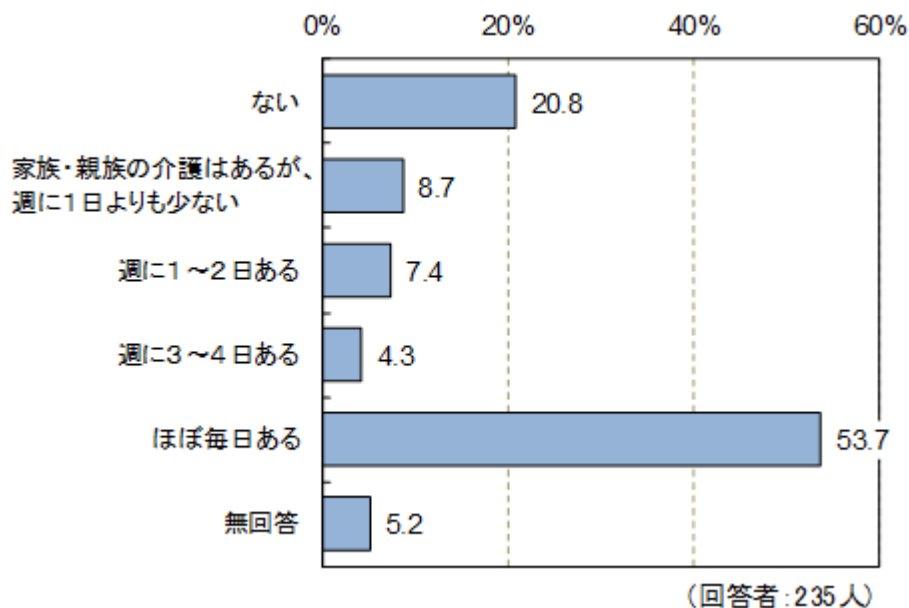


(回答者:231人)

人生の最期をどこで迎えたいかは、「自宅」が52.4%で最も多く、次いで「病院」(17.7%)、「介護施設などの施設」(10.0%)となっている。

(19) ご家族やご親族の方からの介護について

問19 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



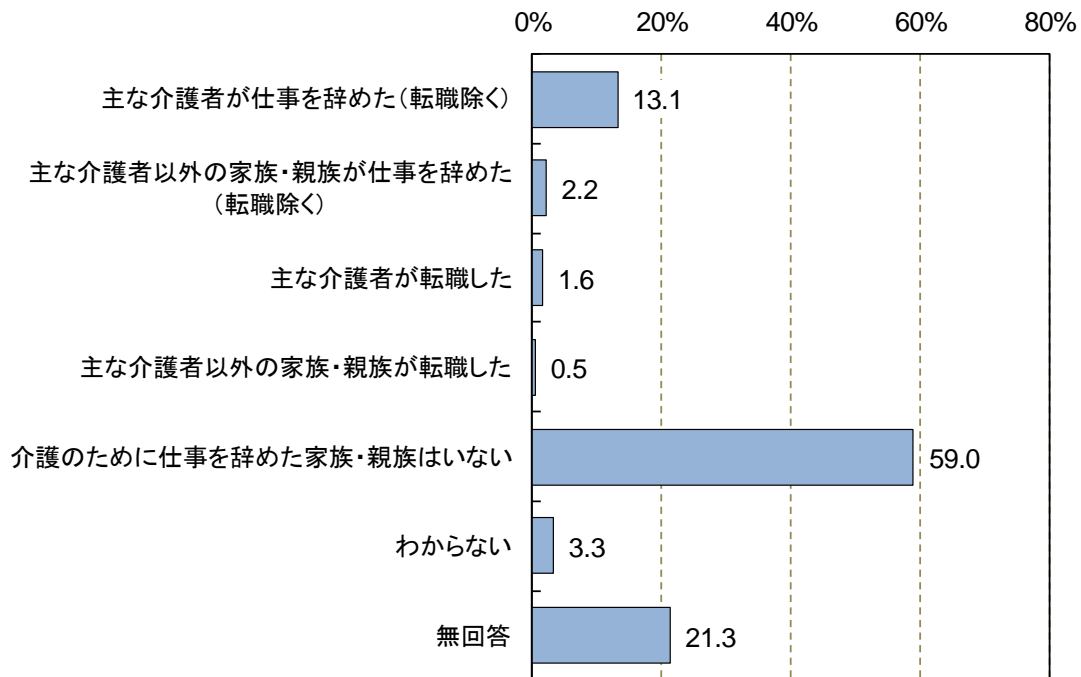
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が53.7%となっている。その他、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」（8.7%）、「週に1～2日ある」（7.4%）、「週に3～4日ある」（4.3%）となっており、7割以上が家族や親族からの介護を受けている。

また、20.8%が「ない」と回答している。

2 B票 主な介護者について

(1) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

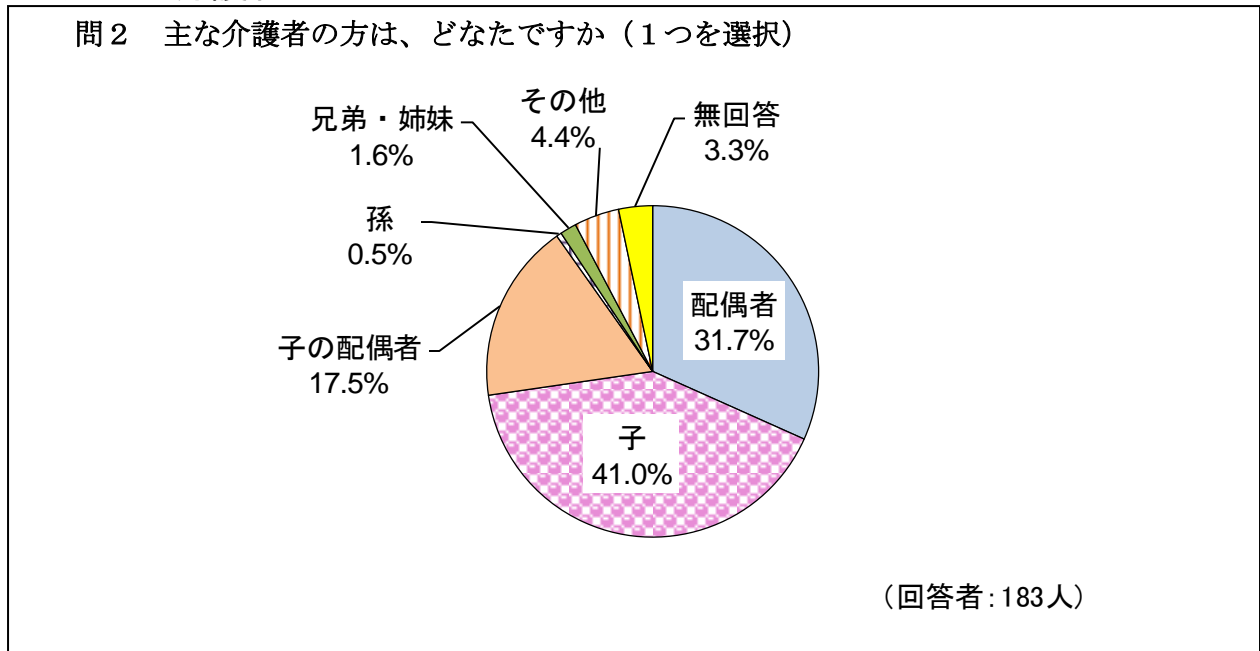


(回答者: 183人)

家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、59.0%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

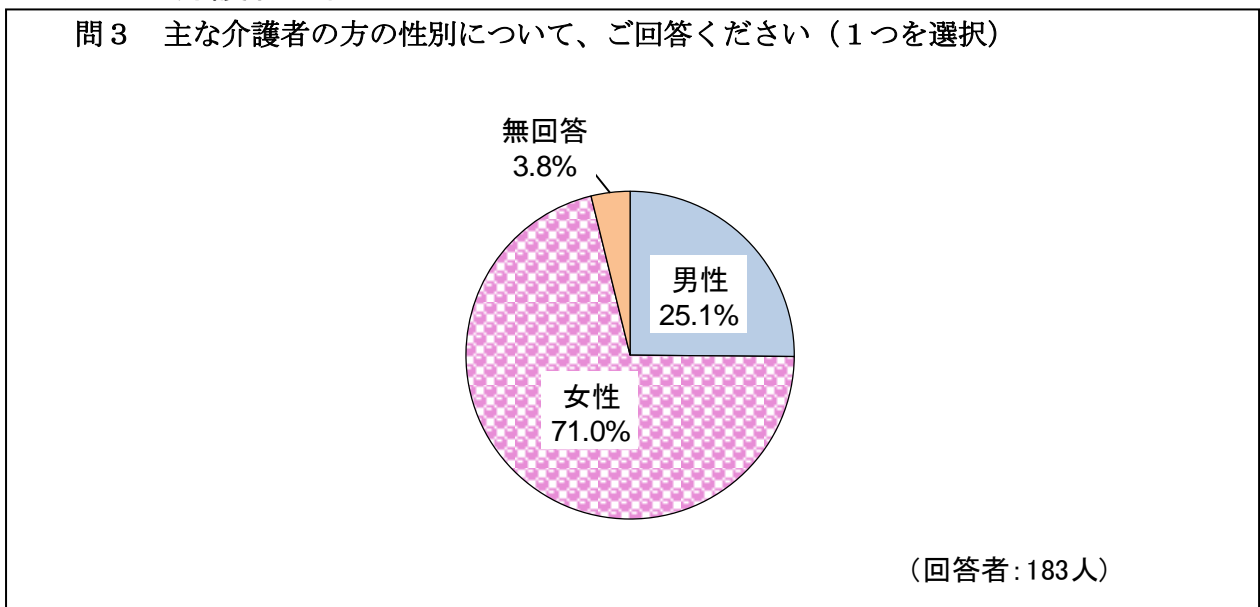
その他、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（13.1%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（2.2%）、「主な介護者が転職した」（1.6%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.5%）となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が17.4%いる。

(2) 主な介護者



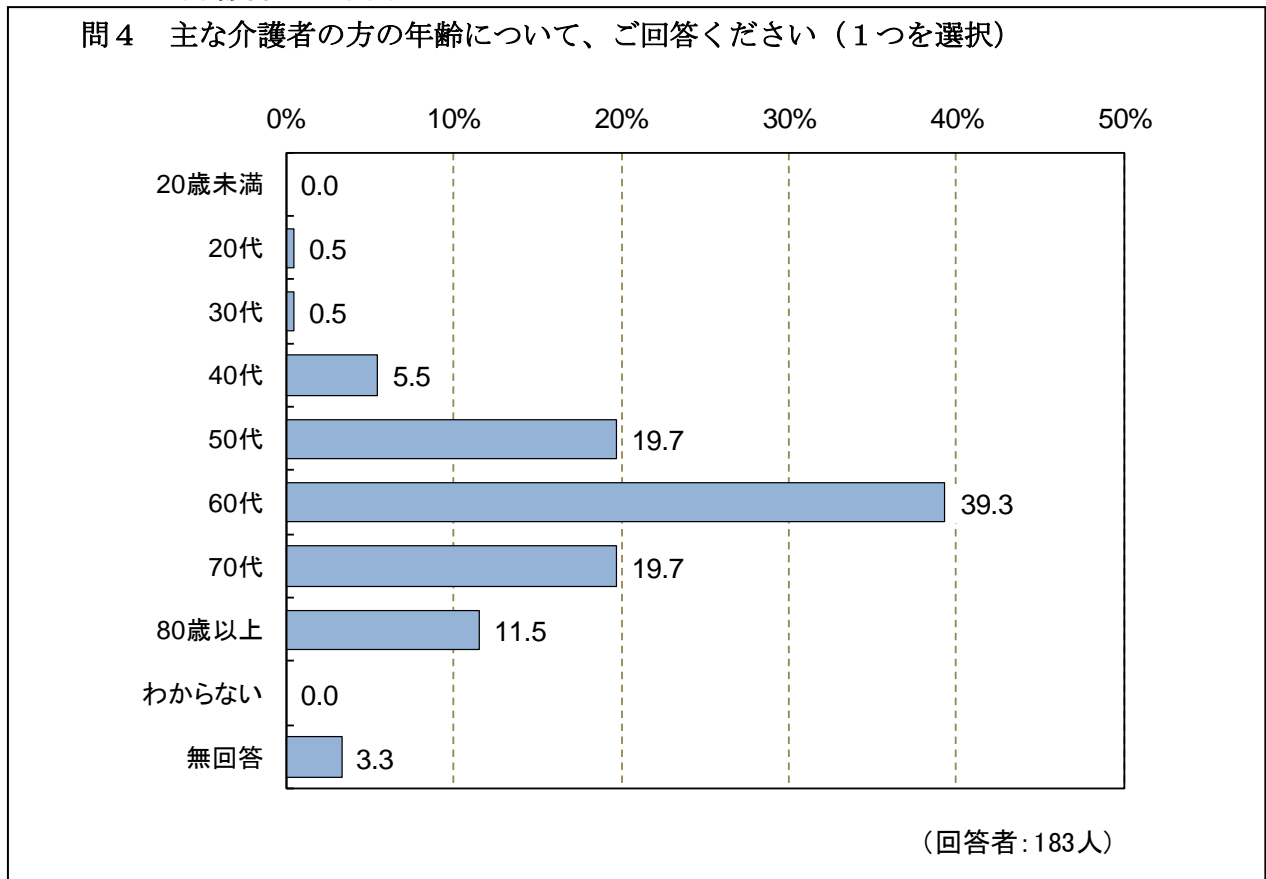
主な介護者は、「子」が41.0%と最も多く、次いで「配偶者」（31.7%）、「子の配偶者」（17.5%）と続いている。

(3) 主な介護者の性別



主な介護者の性別は、「男性」が25.1%、「女性」が71.0%となっている。

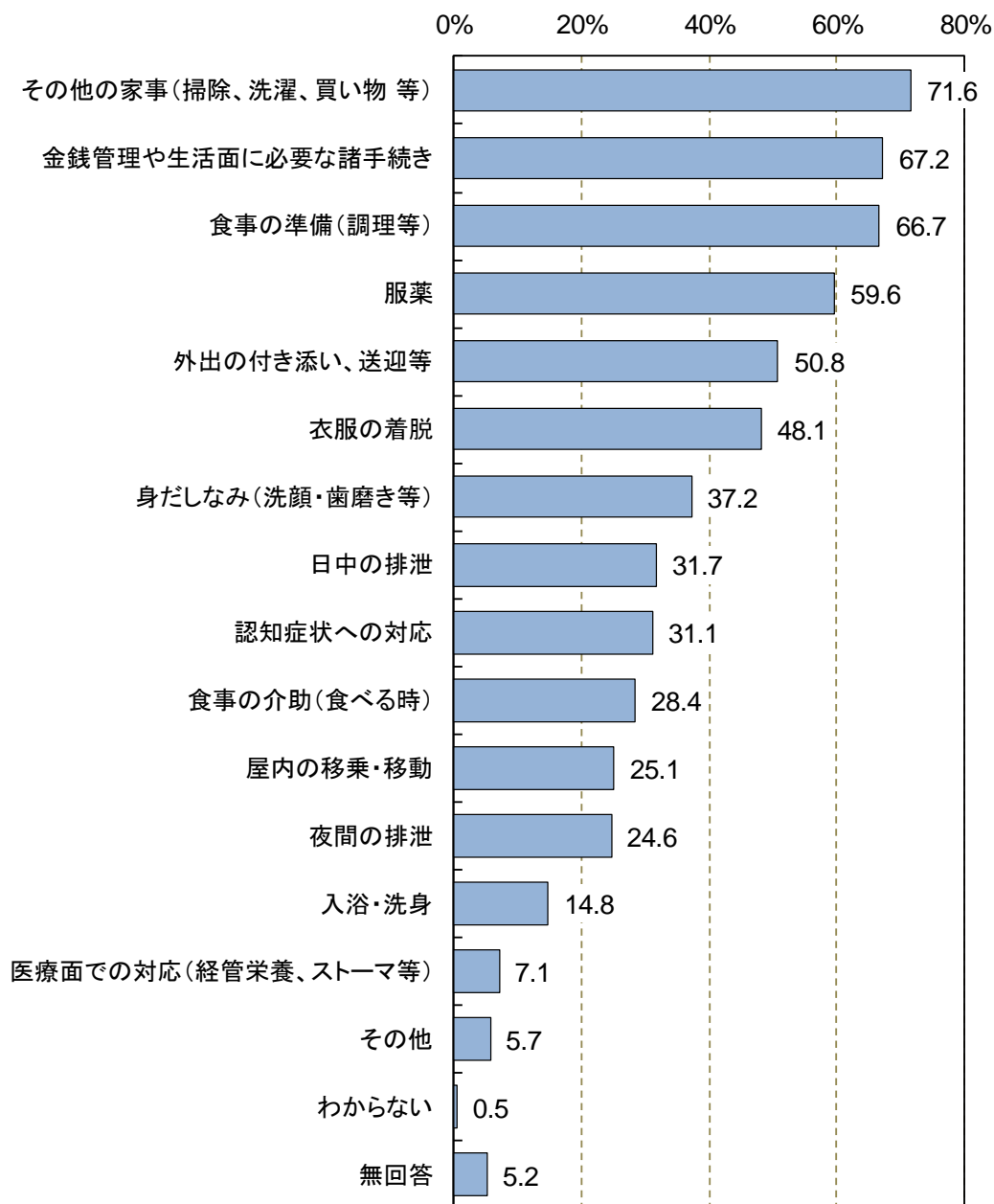
(4) 主な介護者の年齢



主な介護者の年齢は、「60代」が39.3%で最も多く、次いで「50代」、「70代」（ともに19.7%）、「80歳以上」（11.5%）と続いている。

(5) 主な介護者の方が行っている介護等について

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

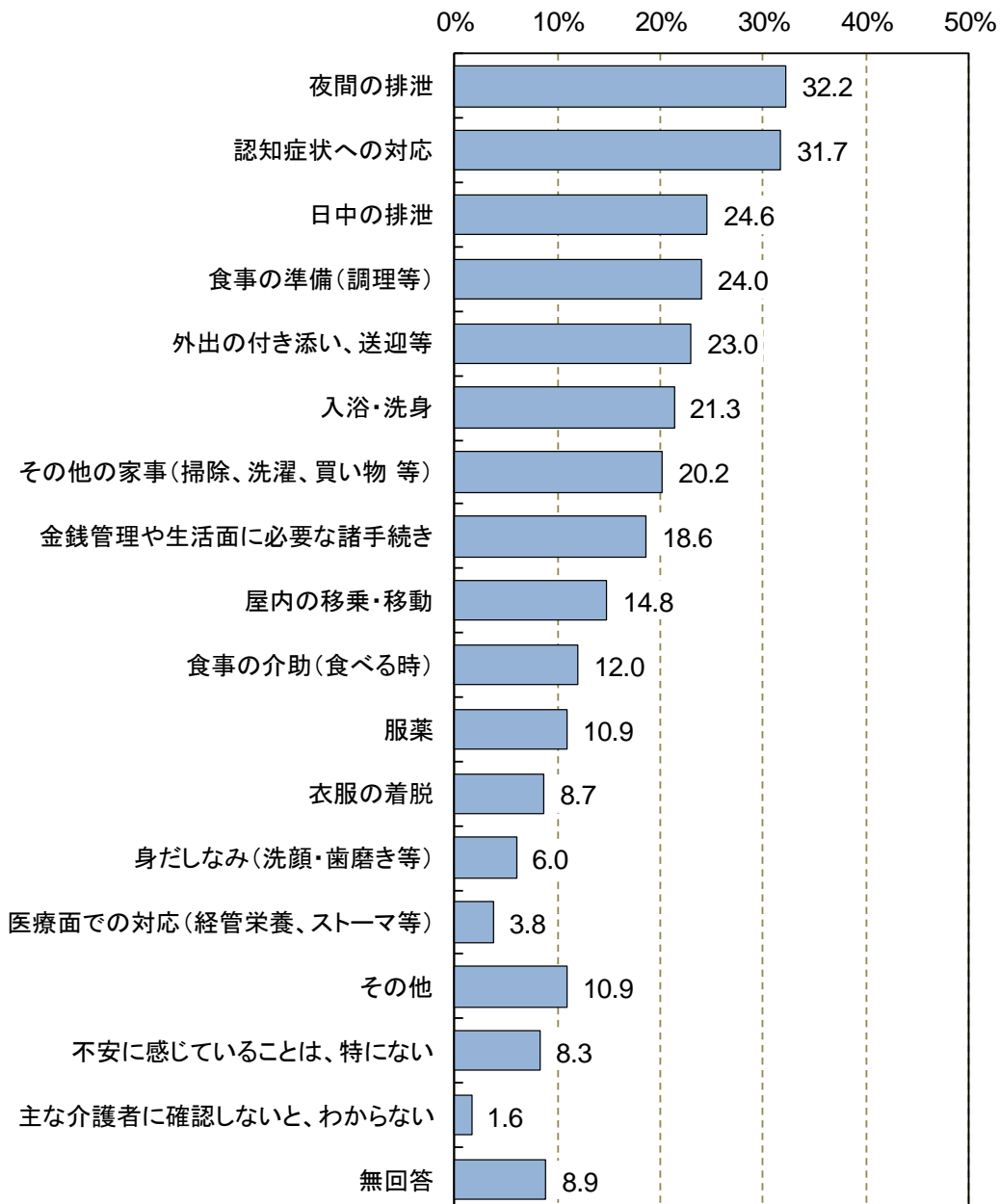


(回答者:183人)

主な介護者が行っている介護等の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が71.6%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（67.2%）、「食事の準備（調理等）」（66.7%）、「服薬」（59.6%）と続いている。

(6) 主な介護者の方が不安に感じる介護等について

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

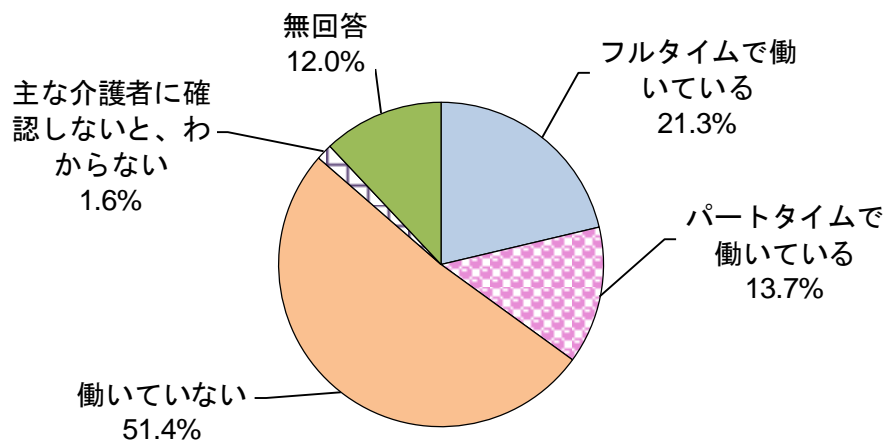


(回答者:183人)

主な介護者が不安に感じる介護等の内容は、「夜間の排泄」が32.2%で最も多く、次いで「認知症状への対応」(31.7%)、「日中の排泄」(24.6%)、「食事の準備(調理等)」(24.0%)と続いている。

(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

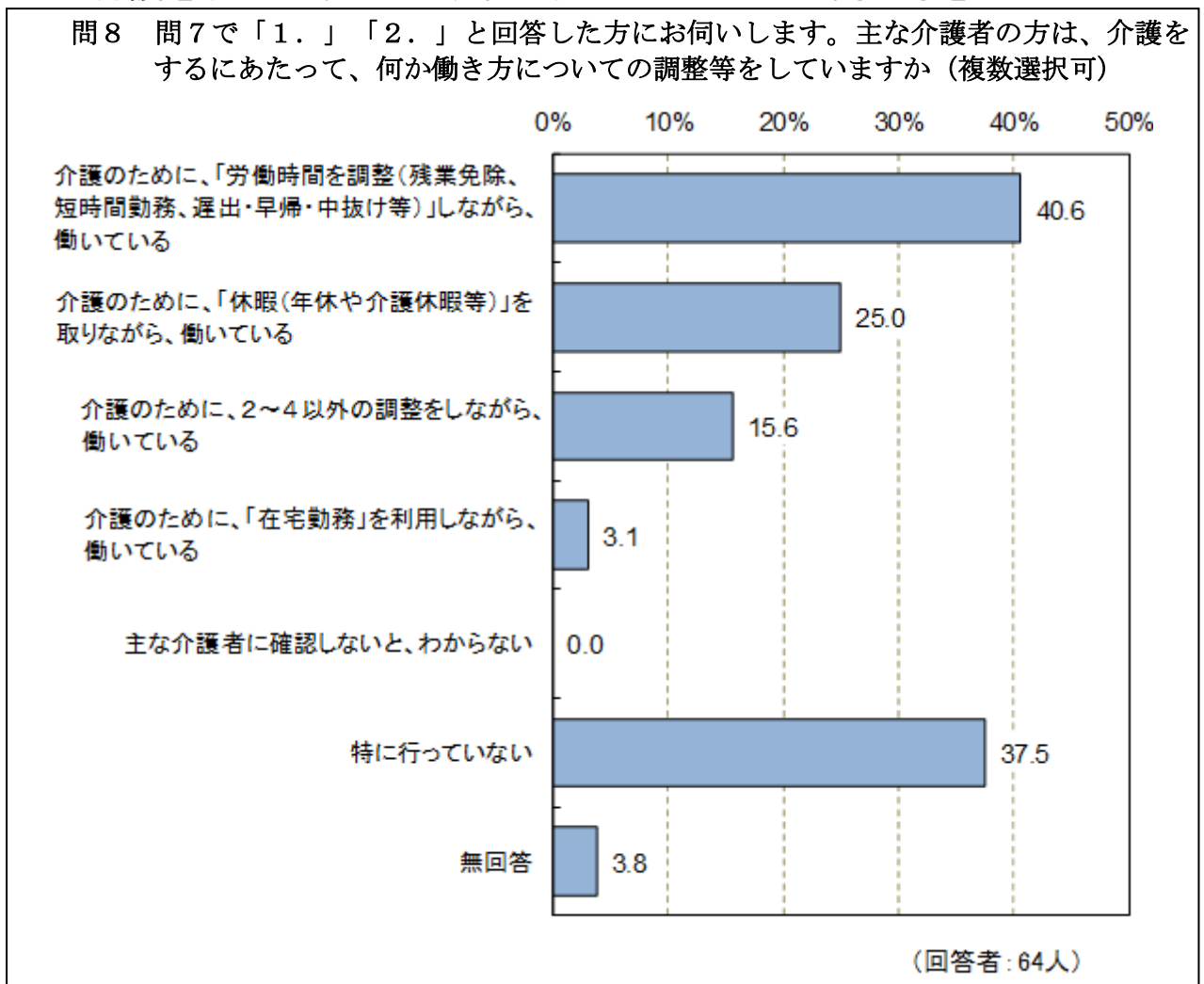


(回答者:183人)

主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21.3%、「パートタイムで働いている」が13.7%となっている。

また、51.4%が「働いていない」と回答している。

(8) 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか

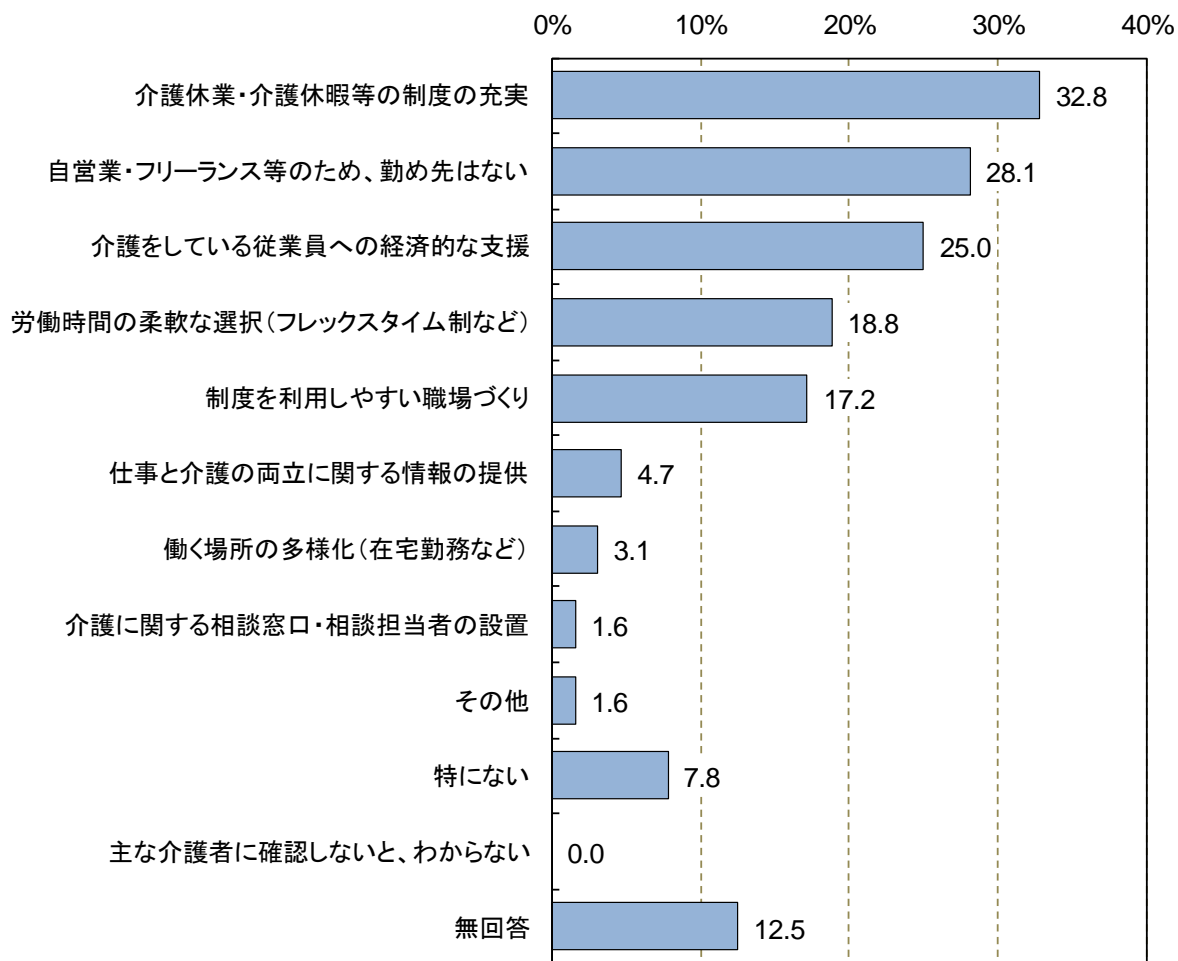


問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した64人に介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか尋ねると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.6%と最も多く、次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（25.0%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（15.6%）、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（3.1%）となっている。

また、37.5%が「特に行っていない」と回答している。

(9) 仕事と介護の両立に効果がある支援について

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

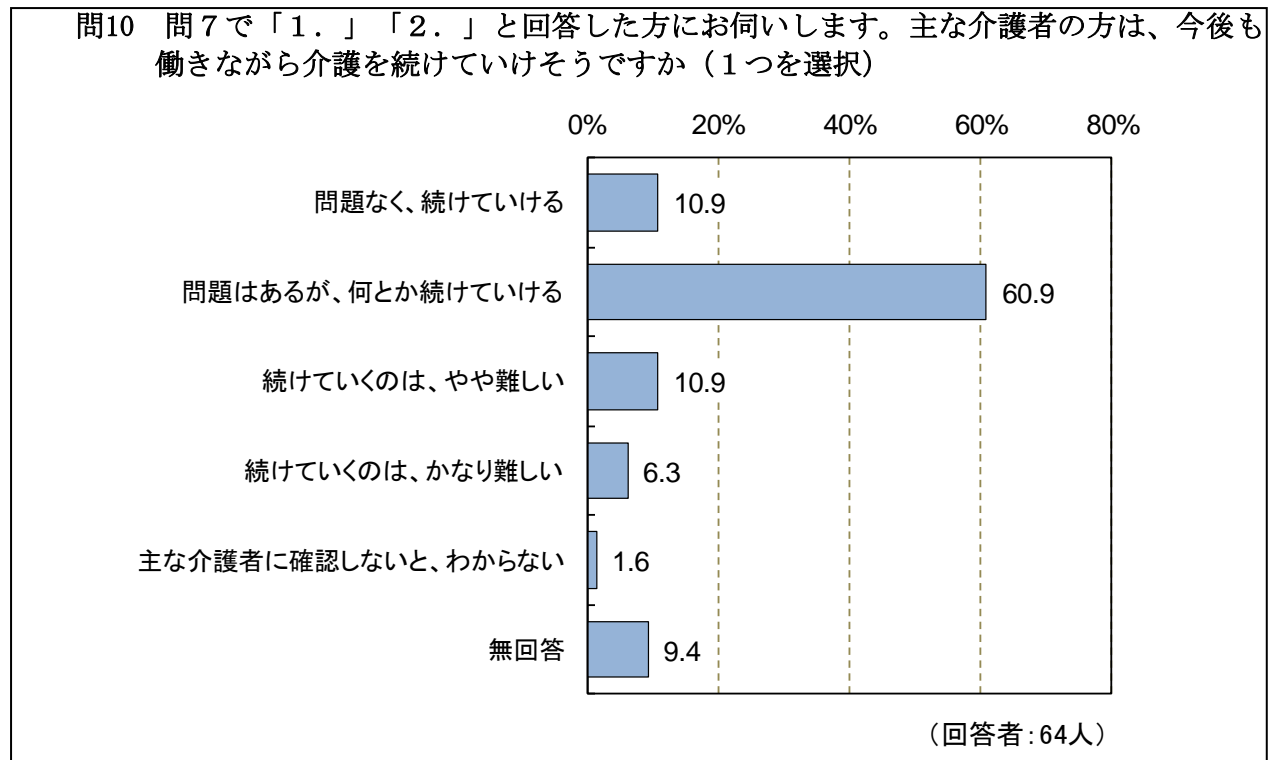


(回答者:64人)

問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した64人に、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.8%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」(25.0%)「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(18.8%)と続いている。

また、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」という回答が28.1%あった。

(10) 今後も働きながら介護を続けていけそうか



問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した64人に、今後も働きながら介護を続けていけそうか尋ねると、「問題なく、続けていける」（10.9%）、「問題はあるが、何とか続けていける」（60.9%）を合わせると71.8%は続けていけると回答している。

また、「続けていくのは、やや難しい」（10.9%）、「続けていくのは、かなり難しい」（6.3%）を合わせると17.2%は続けていくのは難しいと回答している。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
及び
在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和2年3月

発行：おいらせ町

企画・編集：介護福祉課
